

第七條 組合員選舉區ノ所屬ハ現在住居ノ地トス但組合區域内ニ住居セサルモノハ選舉區ノ所屬關係土地家屋ノ所在地トシ其數選舉區ニ涉リ關係土地家屋ヲ有スルモノ、所屬ハ管理者ノ指定ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第八條 組合會議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス若シ議員ノ數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
退任ノ議員ハ再選セラル、コトヲ得

第九條 組合會議員中缺員アルトキハ定期改選ノ時期ニ於テ補缺選舉ヲ行フ若シ管理者又ハ組合會ニ於テ臨時補缺ヲ必要ト認ムルトキハ臨時選舉ヲ行フヘシ但補缺議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十條 組合會議員ノ選舉ヲ行フ毎ニ組合管理者ハ每選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製シ組合内ニ公告ノ上便宜ノ場所ニ於テ七日間關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ同期限内ニ之ヲ組合管理者ニ申立ヘシ組合管理者ハ審査ノ上名簿ヲ修正ス可キトキハ之ニ修正ヲ加ヘ選舉前五日ヲ限リ確定名簿トス之ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ關スルコトヲ得ス
關係者ノ異議ニ依リ選舉人名簿ニ修正ヲ加ヘタルトキハ其旨組合内ニ公告スヘシ

第十一條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ選舉ノ場所日時及選舉スヘキ議員ノ員數

ヲ慣行ノ公告式ニ依リ組合内ニ公告スヘシ其公告ハ遅クモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第十二條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ各選舉區毎ニ關係者中ヨリ選舉係何名ヲ選任シ自己若シハ代理者其係長ト爲リ會場ノ取締ニ任スヘシ

第十三條 組合會議員ノ選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ但法人ハ代表者婦女無能力者ハ代人ヲ以テスヘシ其代人ハ組合會議員ノ被選舉權ヲ有スルモノニ限ル又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ携常シテ代理ノ證トナスヘシ

選舉區域外ニ居住スル者ハ代人又ハ書面ヲ以テ投票ヲ爲スコトヲ得
第十四條 組合會議員ノ選舉ヲ終リタルトキハ組合管理者ハ當選人ニ其當選ノ旨ヲ告知シ當選人ハ其當選ヲ承諾スルヤ否又一人ニシテ數區ニ於テ當選シタルトキハ何レノ選舉ニ應スヘキヤ否ヤヲ七日以内ニ組合管理者ニ申報スヘシ若シ其期限内ニ申報ヲ爲サ、ルトキハ當選ヲ辭シタルモノト見做シ順次投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

第十五條 組合會議員ノ當選人定リタルトキハ組合管理者ハ組合内ニ當選人ノ住所氏名ヲ公告スヘシ

第十六條 組合會議員ノ選舉ニ關シテハ前各條ノ外町村制第二十一條第二十二條第二十三條第二

十六條第二十七條第二十九條第三項ヲ適用ス

當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ効力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ組合會之ヲ議決ス

第十七條 組合會ハ毎年何回何月ニ於テ通常會ヲ開ク

第十八條 組合會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及役員選舉ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ組合會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス

第十九條 組合ニハ委員何名ヲ置ク其擔任スル事務左ノ如シ

一 何々

第二十條 委員ハ組合員ニシテ組合會議員ノ被選舉權アル者ニ限ル

第二十一條 委員ノ任期ハ三年トス但退任ノ委任ハ再選セラル、コトヲ得

第二十二條 組合ノ會計ハ其年四月ヨリ翌年三月マテヲ以テ一周年度トス

第二十三條 組合事業ノ必要ニ依リ現品夫役ヲ賦課セントスルトキハ豫メ相當ノ價格ヲ定メテ之ヲ賦課スルモノトス但特別ノ必要アル場合ヲ除クノ外本人ノ便宜ニ任ヒ代人ヲ出シ又ハ金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二十四條 組合員所有ノ土地家屋ニ異動アルトキハ直ニ組合管理者ニ届出ヘシ

何々普通水利組合規約

第一條 當組合ハ水利組合條例第三條ニ依リ何(用水)(惡水)(何樋)ニ至ル事件ヲ理處スルモノトス

第二條 組合關係ノ區域ハ左ノ如シ但組合員名簿及反別地價仕譯簿ハ別冊ノ通 (別冊客ス)

何市町村

何 町

内

何 大字

何 字

何 村

第三條 組合會ノ議員ハ何人トシ左ノ區域ニ依リ之ヲ選舉ス

何市大字何々

議 員 何 人

何町何村及何村大字何

議 員 何 人

何町何村及何村大字何何々

議 員 何 人

第四條 組合員ハ公權剝奪若クハ停止中ノ者ヲ除クノ外總テ組合會議員ノ選舉權ヲ有ス

第五條 組合員ニシテ滿二十歲以上ノ男子ハ總テ組合會議員ノ被選舉權ヲ有ス但公權剝奪若クハ停止中ノ者及治産ノ禁ヲ受クル者ハ此限リニアラス

第六條 左ニ掲クル者ハ組合會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬縣郡ノ官吏
- 一 警察官吏

第七條 組合員選舉區ノ所屬ハ現在住居ノ地トス但シ組合區域内ニ居住セサルモノ選舉區ノ所屬ハ關係土地ノ所在地トシ其數選舉區ニ涉リ關係土地ヲ有スルモノ、所屬管理者ノ指定ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第八條 組合會議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス若シ議員ノ數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
退任ノ議員ハ再選セラル、コトヲ得

第九條 組合會議員中欠員アルトキハ定期改選ノ時期ニ於テ補欠選舉ヲ行フ若シ管理者又ハ組合會ニ於テ臨時補欠ヲ必要ト認ムルトキハ臨時選舉ヲ行フヘシ但補欠議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十條 組合會議員ノ選舉ヲ行フ毎ニ組合管理者ハ每選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製シ組合内ニ公告ノ上便宜ノ場所ニ於テ七日間關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ同期限内ニ之ヲ組合管理者ニ申立ヘシ組合管理者ハ審査ノ上名簿ヲ修正ス可キトキハ之ニ修正ヲ加ヘ選舉前五日ヲ限り確定名簿トス之ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ關スルコトヲ得ス
關係者ノ異議ニ依リ選舉人名簿ニ修正ヲ加ヘタルトキハ其旨組合内ニ公告スヘシ

第十一條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ選舉ノ場所日時及選舉スヘキ議員數ヲ慣行ノ公告式ニ依リ組合内ニ公告スヘシ其公告ハ遅クとも選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第十二條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ各選舉區毎ニ關係者中ヨリ選舉掛何名ヲ選任シ自己若クハ代理者其係長トナリ會場ノ取締ニ任スヘシ

第十三條 組合會議員ノ選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ但法人ハ代表者婦女無能力者ハ代人ヲ以テスヘシ其代人ハ組合會議員ノ被選舉權ヲ有スルモノニ限ル又一人ニシテ數人代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ携帶シテ代理ノ證トナスヘシ

第十四條 組合會議員ノ選舉ヲ終リタルトキハ組合管理者ハ當選人ニ其當選ノ旨ヲ告知シ當選人ハ其當選ヲ承諾スルヤ否又一人ニシテ數區ニ於テ當選シタルトキハ何レノ選舉ニ應スヘキヤ否

ヲ七日以内ニ組合管理者ニ申報スヘシ若シ其期限内ニ申報ヲ爲サ、ルトキハ當選ヲ辭シタルモ
ノト見做シ順次選舉ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

第十五條 組合會議員ノ當選人定リタルトキハ組合管理者ハ組合内ニ當選人ノ住所氏名ヲ公告ス
ヘシ

第十六條 組合會議員ノ選舉ニ關シテハ前各條ノ外町村制第二十一條第二十二條第二十三條第二
十六條第二十七條第二十九條第三項ヲ適用ス

當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其
人ノ當選ハ効力ヲ失フモノトス

其要件ノ有無ハ組合會之ヲ議決ス

第十七條 組合會ハ毎年何回何月ニ於テ通常會ヲ開ク

第十八條 組合會ハ書配ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及役員選舉ノ顛末並ニ出席議員ノ氏名ヲ記
録セラルヘシ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ

組合會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス

第十九條 組合ニハ委員何名ヲ置ク其擔任スル事務左ノ如シ

一 何々

第二十條 委員ハ組合員ニシテ組合會議員ノ被選舉權アル者ニ限ル

第二十一條 委員ノ任期ハ三年トス但退任ノ委員ハ再選セラル、コトヲ得

第二十二條 組合ノ會計ハ其年四月ヨリ翌年三月マテヲ以テ一周年度トス

第二十三條 組合事業ノ必要ニ依リ現品夫役ヲ賦課セントスルトキハ豫メ相當ノ價格ヲ定メテ之
ヲ賦課スルモノトス但特別ノ必要アル場合ヲ除クノ外本人ノ便宜ニ任セ代人ヲ出シ又ハ金圓ヲ
以テ之ニ代ヘシムルコトヲ得

第二十四條 組合員所有ノ土地ニ異動アルトキハ直ニ組合管理者ニ届出ツヘシ

◎甲第七號 (明治三十二年四月十二日)

郡役所 市役所 町村役場

水利組合事務報告例左ノ通相定ム

水利組合事務報告例

第一條 水利組合ノ管理町村長ヨリ郡長ニ又管理郡市長ヨリ知事ニ報告スヘキ事項ハ別表ノ通ト
ス但第七乃至第十管理町村長ノ報告ハ郡長ヲ經由シ知事ニ差出スヘシ

第二條 報告書ハ一紙毎ニ紙頁ヲ改メ紙末ニ年月日宛名ヲ記シ署名捺印スヘシ

件名	報告書ニ具スヘキ要件	發送日期
		郡市役所 町村役場

- 一 水利組合會議員選舉告示
- 二 水利組合會議員選舉ノ結果
- 三 水利組合會議員選舉ノ効力若クハ議員ノ資格ニ關スル異議ノ議決
- 四 水利組合會ノ開閉
- 五 水利組合會議決諸件 （文例中別ニ明シアルモノハ其明文ニ依ル）
- 六 水利組合會議決ノ執行停止及再議ニ付シタル事件
- 七 水利組合ノ起債及其償還
- 八 水利組合費ノ豫算
- 九 水利組合費ノ決算
- 十 組合財産調

選舉錄 謄本	即	即日	即	即日
異議ノ大要若クハ謄本並議決書交付ノ月日	即	即日	即	即日
開會ハ招集ノ告示	即	即日	即	即日
閉會ハ招集ノ告示	即	即日	即	即日
決議書及其ノ會議ノ狀況	即	即日	即	即日
事實ノ大要及其ノ理由	即	即日	即	即日
起債ノ都度其金額利率起債月日	即	即日	即	即日
償還ノ都度其金額利率償還月日	即	即日	即	即日
市町村歳入歳出豫算調製式ニ依ル	内	決議後五日以内	内	決議後五日以内
豫算表式ニ依ル	會計年度後四ヶ月以内	會計年度後四ヶ月以内	會計年度後四ヶ月以内	會計年度後四ヶ月以内
市町村財産調書式ニ依ル	會計年度後三ヶ月以内	會計年度後三ヶ月以内	會計年度後三ヶ月以内	會計年度後三ヶ月以内

第六章

衆議院議員選舉

●縣令第三十九號

明治三十五年六月十三日

衆議院議員選舉手續左ノ通定ム

- 第一條 選舉人投票所ニ入ルトキハ受付掛ニ申告シ到着番號札ヲ受取ルヘシ投票管理者ハ到着番號札ノ順序ニ從ヒ選舉人ヲ呼出シ其ノ住所姓名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シ投票簿ニ捺印セシメ選舉用紙ヲ交付スヘシ
- 第二條 投票函ノ第一蓋第二蓋ノ輪ハ投票所管理者投票立會人各封印スヘシ
- 第三條 選舉法第五十六條ニ依リ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムル者アルトキハ其住所姓名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シテ入場セシムヘシ
- 第四條 選舉法第六十八條ニ依リ選舉會ニ參觀ヲ求ムル者ハ其ノ選舉人タルヘキ市町村長ノ證明書ヲ持參スヘシ
- 市町村ニ於テハ前項ノ證明ヲ願出テタルトキハ其住所姓名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シテ下附ノ手續ヲ爲スヘシ

●告示第五十一號

(明治三十五年六月二十三日)

明治三十四年内務省令第二十九號ニ依ル衆議院議員選舉投票用紙ハ西ノ内四ツ切ト定ム

●縣令第四十一號

(明治三十五年六月十三日)

衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用額及支給規程明治三

十四年勅令第八十六號衆議院議員選舉法施行令第三十二條ニ依リ左ノ通定ム

衆議院議員選舉立會人、開票立會人及選舉立會人

職務ノ爲受クヘキ費用額及支給規程

第一條 衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用ハ流車賃、車馬賃、日當、宿泊料ノ四種トシ別表ニ依リ之ヲ支給ス

第二條 流車賃ハ哩數、車馬賃ハ里數、日當ハ日數、宿泊料ハ夜數ニ應シ之ヲ支給ス

第三條 流車賃、車馬賃ハ總テ順路ノ行程ニ依リ其ノ總數ヲ通算シテ之ヲ支給ス但シ一位未滿ノ端數ノ路程ハ切捨トス

(別表)

流車賃	一哩	車馬賃	一里	日當	一日	宿泊料	一夜
金	四	錢	拾	金	五	拾	錢
金	拾	錢	五	金	五	拾	錢
金	四	錢	拾	金	五	拾	錢
金	四	錢	拾	金	五	拾	錢

●訓令甲第十七號

(明治三十五年六月十三日)

郡役所 市役所 町村役場

明治三十三年三月法律第七十三號衆議院議員選舉法及同三十四年十月勅令第八十六號同施行令ニ關シ其取扱方及書式等別紙之通定ム

第一條 衆議院議員選舉人名簿調製後ニ於テ選舉人中死亡又ハ選舉權ヲ失ヒタルモノアルトキハ

町村長ハ其時々氏名及事由ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二條 天災時變其他ノ事故ニ因リ選舉人名簿ヲ亡失又ハ毀損シ使用スルコトヲ得サルニ至リタルトキハ其事由ヲ詳記シ郡市ニ在テハ直ニ町村ニ在テハ郡長ヲ經由シテ知事ニ具申スヘシ

第三條 衆議院議員選舉法第三十條ニ依リ投票所ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左記事項ヲ詳具シ及圖面ヲ添ヘ市ノ投票管理者ハ直ニ町村ノ投票管理者ハ郡長ヲ經由シテ之ヲ申請スヘシ

一 市役所町村役場以外ニ投票所ヲ設ケントスル理由

一 投票所ヲ設ケントスル市町村名大字名小字名及番地

一 投票所ニ充ツヘキ建物ノ種類(寺院學校等ノ區別)

一 投票所ヨリ投票區内四至人家ノ最遠距離

一 建物ノ圖面(各室ノ區分及投票所ニ使用スル區域並出入口門戸障壁等ノ位置ヲ明示シタルモノ)

第四條 衆議院議員選舉法第五十一條ニ依リ開票所ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其開票所ニ關シ

前條ノ事項ヲ詳具シ及圖面ヲ添ヘ申請スヘシ

第五條 衆議院議員選舉法第四十四條ニ依ル届書ハ町村ニ在テハ郡長ヲ經由スヘシ

第六條 衆議院議員選舉法第七七條ニ依リ臨時ニ立會人ヲ選任シタルトキハ直ニ其氏名ヲ投票管

理者ニ在テハ郡市長ニ開票管理者ニ在テハ知事ニ報告スヘシ
 第七條 衆議院議員選舉法施行令第三條ニ依リ郡長ニ於テ投票管理者ヲ指名シタルトキハ其職氏名ヲ投票區域内ニ告示シ同時ニ知事ニ報告スヘシ
 第八條 衆議院議員選舉法施行令第三條ニ依リ町村長ニ於テ選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スルハ選舉ノ期日五日以前ニ於テスヘシ
 第九條 投票管理者ハ少クトモ選舉二十日前投票所ノ事務ニ從事スヘキ吏員ヲ指定シ直ニ其職氏名ヲ市ニ在テハ知事ニ町村ニ在テハ郡長ニ報告スヘシ報告後異動アリタルトキ亦同シ
 第十條 衆議院議員選舉法第六十一條ノ報告書全施行令第十條ノ投票所入場券及到着番號札、明治三十四年十月内務省訓令第十四號第十二條ノ投票所開票所門戶ニ掲クヘキ標札ハ左配樣式ニ依リ調製スヘシ

衆議院議員選舉法第六十一條ノ報告書樣式
 衆議院議員選舉開票結果報告書 (用紙美濃紙)

得票總數	被選舉人氏名	住	所	生	年	月
何千何百点何	某	何	何	何	何	何
何千何百点何	某	何	何	何	何	何
何千何百点何	某	何	何	何	何	何

全	全	全	全	全	全	全
---	---	---	---	---	---	---

一 選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數 何千何百何十人
 外 選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ投票所ニ至リ投票シタルモノ 何 人
 右報告候也

年月日 選舉長 知事 宛 静岡縣何郡(市)開票管理者 職 氏 名 印

(被選舉人ノ住所、生年月ハ明瞭ナルモノ、外掲クルニ及ハス)
 投票所入場券樣式 (用紙西ノ内紙十二切)

選舉人名簿	選舉人名簿	選舉人名簿	選舉人名簿
簿、番號	選舉人名簿	住所氏名	投票所
第 號			

表

裏

選舉人ハ此券表面氏名ノ下ニ實印ヲ捺シ投票ノ當日持參シ之ト引換ニ到着番號札ヲ受取リ投票所ニ入場スヘシ
 明治 年 月 何郡(市)町村衆議院議員選舉投票管理者 職 氏 名 印

到着番號札様式 (用紙西ノ内紙十六切)

投票所到着第 番

投票所標札様式 (寸法適宜)

静岡縣何郡(市)町村衆議院議員選舉投票所

一 市町村中二ヶ以上ノ投票所ヲ設ケタルトキハ市町村ノ下何(大字名)ト割書スヘシ

一 數町村ノ區域ニ依リ一ノ投票所ヲ設ケタルトキハ郡ノ下何町ト割書スヘシ

開票所標札様式 (寸法適宜)

静岡縣何郡(市)衆議院議員選舉開票所

●訓令甲第九號

(明治三十五年三月二十八日)

郡市役所 町村役場

明治三十三年三月法律第七十三號衆議院議員選舉法ニ依ル選舉用物品交付取扱規程左ノ通定ム

衆議院議員選舉用物品交付取扱規程

第一條 衆議院議員選舉人名簿、投票簿、投票ノ用紙及封筒並投票函ハ縣廳ニ於テ調製ノ上郡市長ニ交付ス郡長ハ之ヲ町村長及投票管理者ニ配付スヘシ

第二條 郡市長ハ衆議院議員選舉人名簿用紙ノ所要枚數ヲ取調毎年七月三十一日迄ニ第一號書式ニ依リ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ

第三條 市町村長ニ於テ衆議院議員選舉人名簿ヲ調製シ殘餘ノ用紙アリタルトキハ市長ニ於テハ直ニ知事ニ町村長ニ於テハ選舉人名簿送付ト同時ニ第二號書式ニ依リ郡長ニ返還スヘシ
前項殘餘ノ用紙ハ郡長之ヲ取纏メ選舉人名簿確定後五日以内ニ第二號書式ニ依リ精算報告書ヲ知事ニ差出スヘシ但殘餘ノ用紙中使用シ得サル分ハ棄却シ使用シ得ヘキ分ハ郡役所ニ留置キ翌年ノ用ニ充ツルモノトス

第四條 郡市長ハ衆議院議員選舉ノ場合ニ於テハ投票簿、投票ノ用紙及封筒ノ所要枚數ヲ取調總選舉ニ在テハ勅命公布後五日以内補缺選舉ニ在テハ告示後三日以内ニ第三號書式ニ依リ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ

第五條 投票管理者ハ投票終了ノ後投票簿、投票ノ用紙及封筒ノ使用數並殘餘數ヲ取調市ニ在テハ直ニ知事ニ町村ニ在テハ投票函送致ト同時ニ第四號書式ニ依リ郡長ニ返還スヘシ
郡長ニ於テ前項用紙ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ五日以内ニ第四號書式ニ依リ精算報告

書ヲ差出スヘシ但殘餘ノ用紙中使用シ得サル分ハ棄却シ使用シ得ヘキ分ノ中投票簿用紙ハ郡役所ニ留置キ次回選舉ノ用ニ充テ投票ノ用紙及封筒ハ精算報告書ト共ニ縣廳へ返還スヘシ

第六條 投票函ハ郡市長之ヲ保管シ郡長ハ選舉ノ都度投票管理者ニ交付スヘシ

第七條 投票函ノ修繕ヲ要スルモノアルトキハ毎年六月三十日迄ニ其費額及員數ヲ取調知事ニ報告スヘシ

附 則

臨時選舉ニ方リテ修繕ヲ要スルモノアルトキハ選舉告示後直ニ其費額及員數ヲ報告スヘシ

第八條 明治三十五年三月勅令第四十號ニ依リ調製スヘキ衆議院議員選舉人名簿用紙ハ郡長ニ於テ調製配付スヘシ

第一號書式

衆議院議員選舉人名簿用紙請求書

一何百枚

内 譯

市 町 村 名	選 舉 人 名	所 要 枚 數
、 、 、 、 、		

合 計	、 、 、 、 、	
-----	-----------	--

豫 備 (凡ソ一割以内ヲ程度トス)

外 何 枚
右 及 請 求 候 也

年 月 日

郡 (市) 長

知 事 宛

第二號書式

衆議院議員選舉人名簿用紙精算(報告)書

一何百枚

受 高

内

何 枚

使 用 高

差 引

何 枚

殘 高

内

何 枚

使用シ得ヘキ分(白紙ヲ指ス)

使用シ得サル分(背換汚損等ノ分ヲ指ス)

何 枚

右及返還(報告)候也

年 月 日

郡 (市) (町村) 長

知事(郡長)宛

第三號書式

衆議院議員選舉諸用紙請求書

一何 百枚

投票用紙

但選舉人員何百人分及豫備何枚

(此豫備ハ凡ソ選舉人員ノ一割以内トス)

一何 百枚

投票簿用紙

但選舉人員何百人分及豫備何枚

(此豫備ハ凡ソ選舉人員ノ一割以内トス)

一何 枚

封筒

右及請求候也

年 月 日

郡 (市) 長

第四號書式

知 事 宛

衆議院議員選舉諸用紙精算書

一何 枚

投票簿用紙受高

内

何 枚

使 用 高

差 引

何 枚

殘 高

内

何 枚

使用シ得ヘキ分(白紙ヲ指ス)

何 枚

使用シ得サル分(背換汚損等ノ分ヲ指ス)

一何 枚

投票用紙受高

内

何 枚

選舉人へ交付高

差 引

何 枚

内

殘 高

何 枚

使用シ得ヘキ分(白紙ヲ指ス)

何 枚

使用シ得サル分(書換汚損等ノ分ヲ指ス)

一何 枚

封筒受高

内

何 枚

選舉人へ交付高

差引

何 枚

殘 高

内

何 枚

使用シ得ヘキ分(白紙ヲ指ス)

何 枚

使用シ得サル分(書換汚損等ノ分ヲ指ス)

右及返還候也

年月日

郡(市)(投票管理者)長

知事(郡長)宛

第三編 兵 事

第一章 徵兵及志願兵

◎訓兵第三十六號 (明治二十二年八月三日)

徵兵事務條例第六十八條ニ依リ現役免除ノ儀出願ノ者アルトキハ市町村長ニ於テ左ノ調査ヲ調製シ該願書ニ添テ差出サシムヘシ

右訓示ス

一 戸籍寫

一 職業ノ現狀

一 諸般ノ收入金

一 財産調

一 負債ノ多寡

一 國稅地方稅町村稅ノ納額(種類ヲ區別)

一 官ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫

右之外自活シ能ハサル證明ノ材料トナルヘキモノ

◎甲第十六號 (明治二十二年十一月二十七日)

郡役所 市役所 町村役場

附籍者ニシテ徵兵適齡ノトキハ戸主ト家族ヲ問ハス戸主ヨリ家族ノミ他へ附籍ノ場合ニ在テハ本

籍戶主ヨリ徵兵令第二十五號ノ届書ヲ差出サシメ本籍ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セシム可シ

乙第四號 (明治二十五年四月七日)

郡役所 市役所

徵兵身躰検査ノ際壯丁ノ身長ハ大隊區徵兵署事務員ニ於テ測定スヘキ儀ト心得ヘシ

乙第三號 (明治三十年六月十九日)

郡役所 市役所

徵兵令第十三條第三項ニ據リ六週間陸軍現役兵ニ服スヘキ者取扱手續左ノ通改正ス

陸軍六週間現役兵取扱手續

第一條 官立府縣立師範學校ヲ卒業シ公立小學校ノ教員トナリタル者本籍ト寄留トナ間ハスアルトキハ郡市長

ハ徵兵事務條例施行細則第一様式ニ準シ六週間現役兵壯丁名簿ヲ作り毎年四月一日四月一日以後ニ係ル者ハ其時當廳ヘ差出スヘシ

但寄留者ニシテ本文ニ當ル者ノ名簿ニ要スル事故アリタルトキハ本籍地ノ郡市長ヘ直ニ照會スヘシ

本項様式名簿中明治何年壯丁名簿トアルヲ明治何年六週間現役兵壯丁名簿ト改書シ又住所ノ區

畫ニハ本籍郡市町村番地寄留郡市町村番地ヲ併記シ就職校名ハ何郡市何學校就職ト備考區畫中

ニ明記スヘシ

第二條 本縣尋常師範學校附屬小學校教員ニシテ前條ニ當ル者アリタルトキハ其本籍郡市町村番

地族籍氏名並ニ寄留郡市町村番地ヲ同校長ヨリ静岡市長ヘ通知スルヲ以テ市長ハ總テ本手續ニ

據リ取扱フヘシ

第三條 縣廳ハ郡市長ヨリ差出シタル名簿ニ由リ六週間現役兵名簿ヲ作り之ヲ當該聯隊區司令官

ニ送り検査ノ手續等ヲ協議シ其検査日時ハ本人就職ニ在ル小學校所在地ノ郡市長ヲ經テ相達ス

ヘシ

第四條 縣廳ハ聯隊區司令官ヨリ検査成績ノ通知ヲ受ケタルトキハ受檢者在職小學校所在地ノ郡

市長ニ移牒スルヲ以テ其合格者ヲシテ入營期日即チ其年六月一日午前八時本人就職ニ在ル小學

校所在地ヲ包括スル聯隊區ノ歩兵聯隊本部ヘ出頭自己ノ氏名ヲ届出指揮ヲ受ケシムヘシ

第五條 検査合格ノ者入營ニ際シ疾病其ノ他ノ事故ニテ入營シ難キ者ハ其事故ヲ詳記シタル届書

疾病ノ者ハ醫師ノ診断書添付ヲ在職小學校所在地郡市長ヘ差出サシメ郡市長ハ該届書ヲ前條聯隊本部ヘ送付シ

同時ニ其氏名及事故ヲ詳記シテ當廳ヘ報告スヘシ

第六條 六週間現役兵條例第二條ニ依リ三日以内ニ入營シ難キ者ハ翌年更ニ検査ノ上徵集セラル

ヘキニ付本人在職小學校所在地ノ郡市長ハ翌年更ニ本達シノ手續ヲナスヘシ

第七條 六週間現役兵検査場へ往復旅費及ヒ入營旅費ハ一般徴兵旅費同様本人在職ノ小學校所在地ヨリ検査場又ハ入營地迄ノ里數ニ應シ其小學校所在地ノ郡市長ニ於テ支給スヘシ
但滿期歸郷旅費ハ一般兵卒ノ歸郷旅費ヲ當該聯隊ニ於テ支給セラル

●甲第十七號 (明治三十年五月二日)

郡役所 市役所 町村役場

現役砲兵輸卒及現役輜重輸卒ニシテ疾病犯罪等ノ爲メ入營シ難キ者ノ取扱方左ノ通定メラル

- 一 疾病犯罪ノ爲メ入營シ難キ者ハ漸次次期ニ繰下ケ入營セシメ其終期ニ於テ入營シ難キ者ハ次年徴募ノ現役兵ト同時ニ入營セシムヘシ
- 二 其事故繼續シ若クハ再發シ次年二期仙臺弘前札幌金澤ノ各衛戍地ニ在テハ第一期以後ニ至ルモ仍ホ入營シ難キ者アルトキハ徴兵検査ノ際身躰検査ヲ爲シ徴集ニ適スル者ハ前項ノ例ニ依リ取扱ヒ其徴集ニ適セサル者ハ徴集免除若クハ兵役免除ノ處分ヲ爲ス
- 三 入營テ次年ニ繰下ケタル爲メ所要人員超過スル時ハ抽籤番號ノ最も高キ者ヨリ漸次次期ニ繰下ケ終期ニ於テ仍ホ要員ニ超過スルトキハ次年ニ繰下ケヘシ

●甲第三十一號 (明治二十四年七月二十一日)

郡役所 市役所 町村役場

海軍志願兵召集ノ節ハ其時々相違シ候得共或ハ期限切迫等ノタメ其志願ヲ遂クル能ハサリシ者有之哉ニ相聞候處右ハ必竟平素ニ於テ其旨趣貫徹セサル哉ノ憾ナシトセス本縣ノ如キ沿海ノ地方ニ於テハ一層注意ス可キ儀ニ付便宜誘導ノタメ別冊海軍志願兵便覽下付候條一般ニ熟知セシメ今後召集ノ期ニ際シテハ無躊躇申出候様豫テ諭示致スヘシ (別冊省ク)

第二章 召集及徴發

●訓令甲第十號 (明治三十五年三月三十一日)

郡役所 警察署 警察分署 市役所 町村役場

陸軍召集及馬匹徴發事務取扱規程左ノ通相定メ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス
但明治三十三年十二月本縣訓令甲第三十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

陸軍召集及馬匹徴發事務取扱規程

第一章 總 則

第一條 本規程中條例トアルハ陸軍召集條例、細則トアルハ陸軍召集條例施行細則、事務細則トアルハ馬匹徴發事務細則ヲ云フ

第二條 本規程ノ事務取扱ハ別ニ例規アルモノ、外ハ以下各條ヲ遵行スヘシ

第二條 本規程ノ事務取扱ニ關スル書類ハ必ス他ノ書類ト類別シ堅固ニシテ鎖鑰ノ設ケアルニ重箱ニ藏置スヘシ

第二章 準備

第四條 警察署長(警察分署長ヲ包ム)ハ郡市長町村長ト協議シ被召集人ノ應召経路ニ軍用旅舎ヲ選定スヘシ

第五條 警察署長ハ軍用旅舎ニ看板(第一様式)及標旗(細則第六様式)標燈(細則第七様式)ヲ準備セシメ時々之ヲ點檢シ若シ破損等ノモノアルトキハ速ニ修理セシムヘシ但看板ハ平常之ヲ掲ケシムヘシ

第六條 警察署長ハ郡市長ト協議シ官金護衛ノ爲メ警察官ヲ派遣スルノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第七條 警察署長ハ市町村長ト協議シ平素橋梁アル河川ト雖モ臨時渡船ヲ要スヘキ虞アル場所ニハ發令ニ際シ應召員並ニ徵發馬匹ノ通行ニ支障ナカラシムル様其方法ヲ豫定シ置クヘシ

第八條 警察署長ハ郡長町村長ト協議シ徵發馬匹差出場所ニ至ル途中ニ馬匹操業者ノ宿泊所、馬繋場、飲水場等ヲ豫定シ置クヘシ

第九條 警察署長ハ軍用旅舎ニ動員下令ノ告知、軍用旅舎案内標ノ揭示並ニ召集事務所、召集旅費支給場、應召員乗車停車場、馬匹差出場所、同宿泊所、通行ノ沿道橋梁渡船場其他人馬集合

ノ地ニ警察官ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ

但警察官派遣ノ場所ニ付テハ尙ホ郡市長ト協議スヘシ

第十條 本規程ノ事務取扱ニ關シ左ノ書類及物品ヲ備ヘ置クヘシ

- 一 陸軍召集(馬匹徵發)事務準備目錄書(召集ト徵發トナ區別シ其準備シタ)
- 二 返信用電報頼信紙(動員令並ニ召集諸役仕捕命令)町村役場ニハ通知ノ返信ニ用ユルモノトス)之ヲ要セス
- 三 動員令通達書(細則第一様式)ニ準ス)ニハ之ヲ要セス
- 四 桐油袋(動員令通達書、召集令狀、馬匹徵發通達書等ノ濕潤ヲ防クニ用ヰルモノトス)但「ブリキ」製若クハ木製ノ文箱ヲ用ヰルモ妨ナシ
- 五 風呂敷(使丁用トス)
- 六 角燈(使丁用トス)
- 七 證明書用紙(自第二様式至第五様式)
- 八 使丁使用區分調(第六様式ニ準ス)
- 九 陸軍々用旅舎案内標(第七様式)應召員ニ軍用旅舎ノ所在ヲ知ラシムル爲メ市町村内ノ要地ニ建ツルモノトス)ニハ之ヲ要セス
- 十 傳染病患者所在注意標(第八様式)應召員應召途中傳染病患者ノ所在ヲ避ケル爲メ市町村内ノ要地ニ建ツルモノトス)ニハ之ヲ要セス
- 十一 矢立(若クハ鉛筆)朱黒肉池(使丁用)郡役所警察署ニハ之ヲ要セス

第十一條 條例第二十六條第二十八條ニ依リ附與スヘキ證明書ハ第二第三樣式ニ條例第三十條第三十一條ニ依リ附與スヘキ證明書ハ第四樣式ニ準シ調製シ置クヘシ

第十二條 事務細則第三十二條ニ依リ附與スヘキ證明書ハ第五樣式ニ準シ調製シ置クヘシ

第十三條 所要ノ使丁ヲ特約シ受書(第九樣式ニ準ス)ヲ徵シ置クヘシ

第十四條 使丁ハ身元確實身體強健ナルモノヲ撰定シ且平時ヨリ心得書ヲ交付シ置キ動員實施ニ方リ過誤ナキヲ期スヘシ但警察署ニ在テハ第十號樣式ニ準據スヘシ

第三章 實 施

第十五條 警察署長ハ動員令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直チニ動員令通達書用紙ニ所要ノ記入ヲ爲シ豫定ノ方法ヲ以テ派出所又ハ駐在所ニ通達スヘシ

第十六條 警察署長ハ第六條乃至第九條措辦ノ爲メ警察官ヲ派遣スヘシ

第十七條 警察署長ハ通行ノ沿道中ニ傳染病患者アルトキハ注意標ヲ適當ノ地ニ揭示シ應召員ヲシテ該部落ヲ避ケ得ルノ措置ヲナスヘシ

第十八條 軍用旅舍案内標並ニ傳染病患者所在注意標揭示ノ場所ニハ必要ニヨリ点燈スヘシ

第十九條 召集及徵發事務ノ爲メ使用セラレタル使丁ヨリ道路橋梁ノ破壊又ハ其他ノ事故ニヨリ保護ヲ乞フモノアリタルトキハ特ニ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第二十條 應召員並ニ徵發馬匹ノ通行ニ際シテハ努メテ便宜ヲ與フヘシ

第二十一條 證明書ノ下付ヲ乞フモノアルトキハ調査ノ上證明書用紙ニ所要ノ記入ヲ爲シ速ニ相當證書ヲ附與スヘシ但條例第三十一條ニ依リ届出ルモノアルトキハ其召集部隊ニ到着シ能ハサルモ最寄軍隊ニ到ルコトヲ得ルモノニハ事由證明書(第四樣式ニ準ス)ヲ附與シ該軍隊ニ向テ出發セシムヘシ

附 則

第二十二條 臨時演習召集ニハ第三章ヲ准用シ定期演習召集並ニ教育召集ニハ第十五條第十六條第二十一條但書ヲ除クノ外同章ヲ適用スヘシ

第一樣式

軍用旅舍看板



第二様式

證明書

縣郡(市)町(村)

豫(後)備役何兵一(二)等卒

何 某

右者何年何月何日召集ノ通報ヲ受ケ何月何日何時當地ヲ出發シタルモノニ相違無之此段證明候也

年號月日

何警察署官
(何駐在所)

氏 名印

第三様式

證明書

縣郡(市)町(村)

豫(後)備役何兵一(二)等卒

何 某

右者何年何月何日ヨリ所在不明(拘留中)(處刑中)ノモノニ相違無之此段證明候也

年號月日

何警察署官
(何駐在所)

氏 名印

第四様式

縣郡(市)町(村)

豫(後)備役何兵何等卒

何 某

右者何月何日迄ニ何地何部隊ニ到着スヘキ筈ノ處暴風雨(何々)ノ爲メ何日ヨリ何日迄何川交通遮斷當地ニ滞在シ何日何時當地ヲ出發シタル者ニ相違無之此段證明候也

年號月日

郡(市)町(村)長 氏

名印

何警察署官
(何駐在所) 氏

名印

第五様式

證明書

縣郡(市)町(村)何某所有

乘(輓)(駄)馬

壹 頭

毛色何々 何尺何寸

右疾病(何々)ノ爲メ徴發ニ應スル能ハサルコトヲ證明候也

年號月日

(何警察署官
(何駐在所)官 氏

名 印

第六様式

使丁使用區分調

(圖解省ク)

備考

最遠ノ場所へ派遣スル使丁ノ到着シ得ル時間内ニ全區域へ配達シ終ル様計畫スルモノトス

第七様式

陸軍軍用旅舎案内標

寸法適宜

陸軍軍用旅舎案内			
大字(又ハ字名)	屋號	舎主氏名	

第八様式

備考 漢字ノ傍ラニハ朱ヲ以テ假名ヲ付スヘシ

傳染病患者所在注意標

曲尺一尺五寸

曲 尺 二 尺

注 意

何町(村)何々沿道ニ
傳染病患者アリ是レ
ヨリ右(左)折シテ何
町(村)何々ヲ通行ス
ル事

何警察署
(何駐在所)

備考

- 一 漢字ノ傍ニハ朱ヲ以テ假名ヲ付スヘシ
- 二 不動文字ハ豫メ記入シ置クヘシ

第九様式

印紙

御 受 書

非常御用ニヨリ御呼出有之候節ハ夜間風雨ノ別ナク何時ナリトモ直チニ出頭御用相務メ可申萬
一私儀病氣等ニテ出頭難仕候節ハ使丁ノ心得ヲ承知致居候何町村何々何番地何某ヲ以テ代人ト
定メ決シテ御用相缺キ申間敷此段御受申上候也

何郡(市)町(村)何々何番地

明治年月日

宛

何 某印

第十様式

使丁之心得

- 一使丁ハ一時間一里半以上ノ行進速度ヲ以テ往ク可シ
- 一動員令通達書封筒ニ受領時刻ノ記入及受領證區畫ニ捺印ヲ受ケ持チ還ル可シ
- 一駐在所巡査不在ナルトキハ留守担当者ニ交付スルモノトス若シ出張先等へ送達ノ依頼アルモ決シテ之ニ應スヘカラス
- 一道路橋梁破壊ノ爲メ通行シ能ハサル場合及途中病氣其他ノ事故ニ依リ使命ヲ果ス能ハサルトキハ最寄町村役場警察官吏又ハ居民ニ請ヒ必ス使命ヲ果スノ處置ヲ爲スヘシ
- 一途中ニ於テハ決シテ飲酒スヘカラス

備考

必要ト認メタル事項ハ以上ノ外遺漏ナク記入スルモノトス

訓令甲第三十四號

(明治三十三年十二月七日)

郡役所 警察署 警察分署 市役所 町村役場

海軍召集事務取扱規程左ノ通相定ム

海軍召集事務取扱規程

第一章 總 則

- 第一條 本規程中條例トアルハ海軍召集條例施行細則トアルハ海軍召集條例施行細則ヲ云フ
- 第二條 本規程ノ事務取扱ハ別ニ例規アルモノ、外ハ以下各條ヲ遵行スヘシ
- 第三條 本規程ノ事務取扱ニ關スル書類ハ必ス他ノ書類ト類別シ其保管方堅固ニシテ内外共鎖鑰嚴重ナル二重箱ニ藏置スヘシ
- 第四條 本規程ノ事務取扱ニ關スル書類ニシテ秘密ニ屬スルモノヲ發送スルニハ其封筒ニ(召)字ヲ朱書シ且ツ親展書トナシ更ニ之ヲ他ノ封筒ニ納レ此封筒ニハ宛名ノ左傍ニ(至急)ノ文字ヲ附記スヘシ

第二章 準 備

第五條 召集實施ニ關スル取扱順序方法並ニ宿直吏員取扱順序等ヲ豫定シ實施ニ方リ遺漏ナキヲ期スヘシ

第六條 市町村長ハ警察署長ト協議シ國道縣道其他被召集人ノ應召經路ニ軍用旅舎ヲ選定シ其舍主ノ氏名等ハ様式第一ニヨリ毎年三月十日迄ニ市長ハ知事ニ報告シ警察署長ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

但軍用旅舎ヲ設クルノ必要ヲ認メサル部落ニ在テハ該期日迄ニ其旨郡長ヘ具申スヘシ

郡長ハ前項ニヨリ郡内ノ軍用旅舎人名書様式第一ヲ作り毎年三月十五日迄ニ知事ニ報告シ警察署長^{警察分署長ヲ含ム以下同シ}ニ通知スヘシ

前二項手續後異動ヲ生シタルトキハ其時々第一項第二項ノ手續ヲナスヘシ

第七條 市町村長ハ軍用旅舎ニ看板(様式第二)及標旗(施行細則様式第八)標燈(施行細則様式第九)ヲ準備セシメ時々之ヲ点檢シ若破損等ノモノアルトキハ速ニ修理セシメ且ツ看板ハ平常之ヲ掲ケシムヘシ

第八條 警察署長ハ海軍召集諸費出納官吏ト協議シ官金護衛ノ爲メ警察官ヲ派遣スルノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第九條 警察署長ハ市町村長ト協議シ平素橋梁アル河川ト雖モ臨時渡船ヲ要スヘキ虞アル場所ニ

ハ發令ニ際シ應召員ノ通行ニ支障ナカラシムル様其方法ヲ豫定シ置クヘシ

第十條 警察署長ハ軍用旅舎ニ召集發令ノ告知軍用旅舎案内標ノ揭示並ニ船運送業者ノ家宅召集旅費支給場沿道渡船場停車場等ニ警察官ヲ派遣スルノ準備ヲナスヘシ

但警察官派遣ノ場所ニ付テハ尙*郡市長ト協議スヘシ

第十一條 本規程ノ事務取扱ニ關シ左ノ書類及物品ヲ備ヘ置クヘシ

- 一 召集事務準備書類目録^(準備シタル書類及物品ヲ列記スルモノトス)
- 二 返信用電報頼信紙^{(召集令ノ返信ニ召集令狀ヲ保管セサル役場及保管スルモ電信ニ用ユルモノトス)ヨリ召集令ヲ送セラレザル處ニハ之ヲ要セズ}
- 三 召集令通達書^{(施行細則様式)市役所並ニ町村役(三十四年甲第)第十一ニ準ス(場ニハ之ヲ要セズ)七號ニテ改正)}
- 四 軍事警報ヲ揭示セシメサル達書(様式第三)^(市役所町村役場ニハ之ヲ要セズ)
- 五 桐油袋^{(様式第四召集令通達書召集令狀)等ヲ納ルルニ用ユルモノトス}
但(ブリキ)製若クハ木製ノ箱ヲ用フルモ妨ケナシ
- 六 風呂敷^{(着色寸法適宜)使テ用トス}
- 七 角燈^{(様式第五使)丁用トス}
- 八 證明書用紙(様式第六)
- 九 使丁使用區分調(様式第七)

十 海軍軍用旅舎案内標(様式第八應召員ニ軍川旅舎ノ所在ヲ知ラシ) 郡市役所町村役場
 十一 傳染病患者所在注意標(様式第九應召員應召途中傳染病患者ノ所在ヲ知) 郡市役所町村役場
 十二 矢立(若クハ 鉛筆) 朱黒肉池(使丁用) 郡役所警察署ニ
 第十三條 條例第三十二條第三十三條ニ依リ附與スヘキ證明書ハ様式第六ニ準シ調製シ置クヘシ
 第十四條 使丁ハ身元確實ナルモノヲ撰定シ且ツ其員數ハ最遠ノ場所ヘ一使丁ノ到着(直行)シ得ル時間内ニ全區域ヘ配達シ終ルヲ度トシ猶ホ十分二以上ノ豫備員ヲ豫定スヘシ
 第十五條 使丁ニハ平時ヨリ心得書(様式第十一ニ準ス)ヲ交付シ置キ召集實施ニ方リ過誤ナキヲ期スヘシ
 第十六條 第八條乃至第十條ニヨリ準備シタル事項ハ毎年三月二十日迄ニ報告スヘシ
 第三章 實 施
 第十七條 充員召集令其他必要ノ達ハ郡長並ニ警察署長ニ達ス
 郡長並ニ警察署長前項ノ達ヲ受ケタルトキハ豫定ノ方法ヲ以テ郡長ハ町村長ニ警察署長ハ所屬駐在所派出所巡查ニ達スヘシ
 第十八條 警察署長ハ第八條乃至第十條措辦ノ爲メ警察官ヲ派遣スヘシ

第十九條 警察署長ハ通行ノ沿道中傳染病患者アルトキハ注意標ヲ適當ノ地ニ揭示シ應召員ヲシテ該部落ヲ避ケ得ルノ措置ヲナスヘシ
 第二十條 軍用旅舎案内標並ニ傳染病患者所在注意標揭示ノ場所ニハ必要ニヨリ點燈スヘシ
 第二十一條 召集ノ爲メ使用セラレタル使丁ヨリ道路橋梁ノ破壊又ハ其他ノ事故ニヨリ保護ヲ乞フモノアリタルトキハ特ニ相當ノ便宜ヲ與フヘシ
 第二十二條 應召員ノ通行ニ際シテハ努メテ便宜ヲ與フヘシ
 第二十三條 證明書ノ下付ヲ乞フモノアリタルトキハ調査ノ上證明書用紙ニ所要ノ記入ヲ爲シ速ニ相當證書ヲ附與スヘシ
 附 則
 第二十四條 演習召集ニハ第三章ヲ準用スヘシ
 第二十五條 本規程ニ抵觸スル從前ノ規程ハ總テ之ヲ廢止ス
 様式第一

海軍軍用旅舎人名書		何郡(市)(町)(村)役所(役場)			
郡 市 名	町村大字番地	間 數	臺 數	家 號	舍 主 氏 名

様式第二

軍用旅舎看板

尺一尺曲

海軍軍用旅舎

曲尺三尺 木質適宜

様式第三

何第 號

何町(村)役場

(何駐在所派出所)

明治 年 月 日 充第 號 充員召集ハ軍事警報ヲ揭示セサル義ト心得ヘシ

明治 年 月 日

何郡役所
(何警察署)

様式第四

桐油袋

(雛形省ク)

様式第五

角 燈

(雛形省ク)

様式第六ノ一

證 明 書

縣郡(市)町(村)

豫備(後備)何等水兵 何

誰

右者何年何月何日ヨリ所在不明(拘留中)(處刑中)ノ者ニ相違無之此段證明候也

明治年月日

何警察署
何駐在所官 氏

名 印

様式第六ノ二

證 明 書

縣郡(市)町(村)

豫備(後備)何等何兵 何

誰

右ハ何月何日迄ニ何地何團ニ到着スヘキ筈ノ處暴風雨(何々)ノ爲メ何日ヨリ何日迄何川交通遮

斷當地ニ滞在シ何日當地ヲ出發シタルモノニ相違無之此段證明候也

様式第七

年月日

官職氏

名印

使丁使用區分調

何々役所(警察署)(役場)

町村名	發信先	距離	同上時間	經過路	摘要	使丁姓名

様式第八

海軍軍用旅舎案内標

寸法適宜

海軍軍用旅舎案内		
大字(又ハ字名)	屋號	舍主氏名

様式第九

備考 漢字ノ傍ラニハ朱ヲ以テ假名ヲ付スヘシ

傳染病患者所在注意標

曲尺一尺五寸

注意

何町(村)何々沿道ニ
傳染病患者アリ是レ
ヨリ右(左)折シテ何
村何々ヲ通行スル事
何警察署
(何駐在所)

備考

- 一 漢字ノ傍ニハ朱ヲ以テ假名ヲ付スヘシ
- 二 不動文字ハ豫メ記入シ置クヘシ

様式第十ノ一

印紙 御受書

私 義

非常御用ニ方リ御呼出有之候節ハ何時ナリトモ直チニ出頭御用相務メ可申萬一病氣等ニテ出頭難致候節ハ使丁ノ心得ヲ承知致居候何町村何番地何某ヲ以テ代人ト定メ決シテ御用相缺申間敷此段御受申上候也

何市(町)(村)何々何番地

年月日

何 之 誰 印

宛

様式第十ノ二

印紙

御 受 書

使 丁 何 人

右使丁ハ拙者ニ於テ引受非常御用ニ方リ御呼出有之候節ハ何時ナリトモ直チニ出頭御用爲相務可申萬一拙者不在ノトキハ使丁ノ心得ヲ承知致居候何町村何々何番地何某ヲ以テ拙者ノ代人ト相定メ前頭使丁ヲ差出シ決シテ御用相缺申間敷此段御受申上候也
但使丁ハ身元確實身體健全ノモノヲ選抜シ豫テ使丁ノ任務ヲ爲心得置可申候也

何郡(市)(町)(村)何々番地

年月日

宛

何 之 誰 印

様式第十一

使丁之心得

- 一 使丁ハ一時間一里半以上ノ行進速度ヲ以テ往クヘシ
- 二 封筒ニ受領時刻ノ記入及受領証區畫ニ捺印ヲ受ケ持チ還ルヘシ
- 三 受領者不在ナル時ハ留守担当者ニ交付スヘシ萬一出張先等へ送達ノ依頼アルモ決シテ之レニ應スヘカラス
- 四 途中ニ於テ使命ヲ果ス能ハサル事故出來スル時ハ最寄役場警察署駐在所又ハ居民ニ乞ヒ必ス使命ヲ果スノ取扱ヲ爲スヘシ

(右ノ外必要ト認ムル事項ハ遺漏ナク記載スルモノトス)

●訓令甲第十四號 (明治三十三年六月十五日)

郡役所 市役所 警察署 町村役場

陸軍豫備役後備役補充兵役ニ在ル者ニシテ召集事務ヲ管掌スル官吏及公吏郡長郡市町村書記及之レニ準スヘキ者ト爲リ
戰時餘人ヲ以テ代フ可ラサル者ハ其官名若クハ職名兵役ノ種類氏官名兵卒ハ兵種等級氏名及本籍住所ヲ在

職郡市役所警察署町村役場ニ於テ左ノ書式ニ據リ取調毎年十月二十日迄ニ當隨郡役所ヲ經ヘ報告シ
爾後翌年ノ通報期迄ニ新任轉免等ノ異動アリタルトキハ其都度報告スヘシ(三十五年訓令甲第
二十六號ニテ改正)
但明治三十年^{十一月}甲第二十五號達ハ自今廢止ス

(書式ハ略ル)

●訓令甲第四號

(明治三十五年二月十八日)

警察署 警察分署 町村役場

第三師管召集及徵發馬匹事務取扱規定別冊ノ通定メラル

勳義第一號

第三師管召集及徵發馬匹事務取扱規定別冊ノ通り定ム

但明治三十五年二月二十日ヨリ實施シ明治三十四年三月義第九六號並ニ動馬第三六號及明治
三十四年五月動馬第八三號ハ本令實施ノ日ヨリ廢止ス

明治三十五年一月十日

第三師團團長男爵 大島 義 昌

第三師管召集及徵發馬匹事務取扱規定

第一章 通 則

第一條 本規定ハ第三師管及第三師團徵馬管區内ニ於テ行フ召集並ニ馬匹徵發ニ關スル事務ヲ

規定スルモノナリ

第二條 本規定ニ於テ條例ト稱スルハ陸軍召集條例、細則ト稱スルハ召集條例施行細則又徵馬
細則ト稱スルハ馬匹徵發事務細則、規則ト稱スルハ馬匹調査及檢査施行規則ヲ謂フ

第三條 本規定ニ定ムル報告通報ノ期日ハ總テ書類到達ノ期日ヲ指ス

第四條 充員召集及馬匹徵發ニ關スル書類ハ必ス他ノ書類ト類別シ且有効期限ノ年度毎ニ區分
シテ確實ニ之ヲ保管スヘシ

第五條 前條ノ書類ニシテ某年何月何日ヨリ効力ヲ生スト記載シアル書類ハ其目錄ヲ添ヘ翌年
四月十日發テ以テ各其發送官衙ニ返納スヘシ

第六條 動員ニ關シ軍事秘密トシテ陸軍官衙ヨリ交付スル書類及ヒ之ニ關スル書類ヲ發送スル
ニハ其書類ノ封筒上ニハ必ス「軍事秘密」ト朱書シ且ツ親展書トナシ更ニ之ヲ他ノ封筒ニ納メ
此封筒上ニハ宛名ノ傍ニ「至急」ノ文字ノミヲ附記スヘシ

第七條 細則第一條ニ依リ作ルヘキ動員手簿(附表第一ノ様式)ハ其保管者更迭スルトキハ必ス
後任者ニ引續クヘキモノトス

第八條 地方長官憲兵隊長其所部召集事務及馬匹徵發事務ノ整否ヲ檢閲シ若クハ部下官吏ヲシ
テ檢閲セシメタルトキハ其狀況ヲ師團長ニ報告スヘシ

第九條 地方長官ハ師團長ノ請求ニ依リ集合場、召集事務所徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ關シ準備計畫シタル事項ハ三月十日迄ニ師團長ニ通報スヘシ但前年ノ分ト相違ナキトキハ別ニ通報ヲ要セサルモノトス

第十條 地方長官ハ條例第十八條ニ依リ軍用旅舎ヲ定ムルトキハ之ト同時ニ徵發馬匹差出場所ニ至ルヘキ馬匹ニ要スル宿舍ヲモ定メ置クヘシ

第十一條 郡市長憲兵隊長及警察署長(分署長ヲ合ム)ハ凡テ充員召集及馬匹徵發事務ニ關シ互ニ相關連スル事項ハ毎年三月三十一日迄ニ協議計畫シ置クヘシ

第十二條 郡市町村長ハ充員召集令狀及馬匹徵發通達書ヲ發送又ハ交附ノ爲メニ要スル使丁ヲ三月三十一日迄ニ契約シ置クヘシ但此使丁ハ要スレハ馬匹徵發ノ爲メニハ別ニ準備シ置クヘシ

前項ノ使丁ハ身體健全ニシテ身元確實ナル者ヲ撰定スルヲ要ス

第二章 充員召集

第一款 準備事務

第十三條 郡市長ハ充員召集旅費支給場ノ位置及其區域並ニ其支給場ニ於ケル出納官吏ノ官職名ヲ豫定シ毎年十月盡日迄ニ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但某年ニ於テ前年ノ分ト差異ナキ時

ハ單ニ其旨ノミヲ通報スヘシ

第十四條 郡長ハ町村長ヨリ第十五條ニ依リ呈出スル充員召集令狀交附時間調査表ニ依リ郡ノ充員召集令狀送達時間調査表(附表第二ニ準ス)ヲ調製シ毎年十月二十日迄ニ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第十五條 市、町、村長ハ附表第三ノ様式ニ準シ充員召集令狀交附時間調査表ヲ製シ市長ハ毎年十月二十日迄ニ聯隊區司令官ニ町村長ハ毎年十月五日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

第十六條 郡、市長及旅費支給ヲナスヘキ町村長ハ天變水害等ノ爲メ仕拂命令官ヨリ發送スル命令金庫ニ遲着スルコトアルモ應召員ヲシテ到着期日ニ遅レサル如ク應召シ得ル様適宜ノ計畫ヲ爲シ置クヘシ

第十七條 市町村長ハ條例第八條ニ依リ調製スヘキ在郷軍人名簿及ヒ第一國民兵名簿ハ附表第四及第五ノ様式ニ準シ作ルヘシ

第二款 實施事務

第十八條 出納官吏旅費支給場ニ至ル途中ニ於テ官金ノ護衛ヲ要スル時ハ最寄ノ憲兵又ハ警察官吏ニ之ヲ要求スヘシ
前項ノ要求ヲ受ケタル憲兵又ハ警察官吏ハ速ニ之ニ應スヘシ

第十九條 郡長ハ細則第二十七條ニ依リ聯隊區司令官ニ差出スヘキ令狀發送及交附人員表ハ附表第六ノ様式ニ依リ調製スヘシ

第二十條 市町村長ハ細則第二十四條第二項ニ依リ應召員ニ出發ヲ命スルトキ召集令狀ノ餘白ニ記入スヘキ事項ハ其裏面ニ記入シ之ニ記名捺印スヘシ

第三章 馬匹徵發

第一款 準備事務

第二十一條 町村長ハ規則第四條ニ依リ郡長ニ差出スヘキ馬匹調査表ニハ附表第七ニ準シ徵發馬匹差出場所到着時間調査表ヲ添付スヘシ但其前年ト異ナラサルモノハ其旨申告スルニ止ム

第二十二條 郡市長ハ規則第四條及第五條ニ依リ師團長ニ差出スヘキ馬匹調査表ニハ附表第七ニ依リ徵發馬匹差出場所到着時間調査表一通ヲ添付スヘシ但其前年ト異ナラサルモノハ其旨申告スルニ止ム

第二十三條 町村長ハ規則第四條ニ依リ郡長ニ差出スヘキ馬匹調査表ニ記載セシ五歳以上ノ牡馬ハ普通ノ所有者ニ屬スル分ト營業所有者ニ屬スル分(馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノ以下同シ)トヲ類別シ附表第八ニ依リ牡馬原簿ニ通宛ヲ製シ其一通ヲ毎年二月二十八日迄ニ郡長ニ差出シ他ノ一通ハ之ヲ保管スヘシ爾後ノ異動ハ其都度之ヲ申告シ所要シ訂正ヲ爲スヘシ

第二十四條 郡長ハ町村長ヨリ牡馬原簿ヲ受領セハ査閱ノ後之ヲ一綴ト爲シ置キ爾後異動ノ申告ヲ受クル毎ニ訂正ヲ爲スヘシ

第二十五條 市長ハ規則第五條ノ馬匹調査表ニ記載シタル五歳以上ノ牡馬ハ毎年二月二十八日迄ニ普通所有者ニ屬スル分ト營業所有者ニ屬スル分トヲ類別シ附表第八ニ依リ牡馬原簿ヲ調製シ爾後ノ異動ハ其都度之ヲ訂正スヘシ

第二十六條 郡長ハ徵馬細則第十四條ニ依リ町村ニ徵發スヘキ馬匹ヲ配當セハ牡馬原簿ニ基キ附表第九ニ依リ毎年三月三十一日迄ニ町村徵發馬匹配當名簿及郡ノ徵發馬匹名簿ヲ調製保管シ置クヘシ但動員區分毎ニ各別ニ調製スルモノトス

第二十七條 市長ハ徵馬細則第十五條ニ依リ差出スヘキ馬匹ヲ豫定セハ直ニ牡馬原簿ニ基キ附表第九ニ依リ毎年三月三十一日迄ニ徵發馬匹配當名簿ヲ調製保管シ置クヘシ但動員區分毎ニ各別ニ調製スルモノトス

第二十八條 郡市長ハ徵發馬匹配當名簿ニ基キ附表第十二依リ毎年三月三十一日迄ニ馬匹徵發通達書ヲ調製シ町村及動員區分毎ニ一括ト爲シ保管シ置クヘシ

第二十九條 郡市長ハ配當馬匹ニ異動アルトキハ用役ト寸尺ノ同シキモノ又ハ用役異ナルモ寸尺同シキモノ若クハ之ヨリ以上ノモノヲ以テ配當ヲ變更シ且ツ徵發馬匹配當名簿及馬匹徵發

通達書ニ所要ノ訂正ヲ爲スヘシ

第三十條 郡市長ハ配當セサル馬匹ニシテ配當セシ馬匹ヨリ善良ノモノアルコトヲ知リタルトキハ前條ノ規定ニ係ハラズ適宜配當ヲ變更シ徵發馬匹配當名簿及馬匹徵發通達書ニ所要ノ訂正ヲ爲スヘシ

第三十一條 郡市長ハ馬匹ノ減異動ニ依リ(用役ノ如何ニ拘ラス示定ノ寸尺以上ニ於テ)師團ノ配當馬數ヲ充タスコト能ハス其差配當總馬數ノ百分ノ二十以上ニ達スルトキハ速ニ其馬匹數ヲ師團長ニ申告スヘシ

第三十二條 郡長ハ町村ノ配當馬數及該地方ノ狀況等ニ依リ徵發實施ノ爲メ各町村長ヨリ馬匹所有者ニ馬匹徵發通達書ヲ交付スル爲メ要スル使丁ノ人員ヲ定メ毎年三月十日迄ニ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第三十三條 郡市長ハ徵發令第三十條ニ依リ馬匹ヲ差出場所ニ輸送スル費用ヲ豫算シ置クヘシ
第一款 實施事務

第三十四條 郡長動員令ヲ受領セハ其達書ニ指示スル區分ニ從ヒ豫テ保管シアル馬匹徵發書ニ記載スル所ノ馬匹數ト郡ノ徵發馬匹配當名簿ノ馬匹數トヲ對照シ若シ差違アルトキハ徵發書ニ示ス所ニ依リ該名簿ヲ訂正(已ヲ得サレハ配當數ノ百分ノ二十ニ達セサル差違ハ訂正セザ

ルモ妨ナシ)シ且動員日次ヲ曆日ニ換算シ月日ヲ記入スヘシ

前項ニ依リ町村徵發馬匹配當名簿ニ所要ノ訂正ヲ爲シ之ニ馬匹通達書(馬匹差出月日及時限ヲ記入シ)ヲ添ヘ町村長ニ送達スヘシ

町村長前項ノ達ヲ受クレハ速ニ通達書ニ年號月日ヲ記シ捺印ノ上各馬匹所有者ニ徵發ヲ達スヘシ但シ封筒ハ用ヒサルモノトス

第三十五條 市長ハ動員令ノ通達ヲ受領セハ速ニ其達書ニ指示スル動員ノ區分ニ從ヒ馬匹徵發書ニ記載スル所ノ馬匹數ト徵發馬匹配當名簿ノ馬匹數トヲ對照シ差違アレハ徵發書ニ示ス所ニ依リ該名簿ヲ訂正(已ヲ得サレハ配當數ノ百分ノ二十ニ達セサル差違ハ訂正セサルモ妨ナシ)シ且動員日次ヲ曆日ニ換算シ月日ヲ記入スヘシ

前項ニ依リ馬匹徵發通達書ニ所要ノ訂正ヲ爲シ馬匹差出月日並ニ時限及ヒ年號月日ヲ記入シ捺印ノ上各馬匹所有者ニ徵發ヲ達スヘシ

第三十六條 郡市長ハ前二條ノ徵發馬匹配當名簿ニ依リ徵發細則第二十六條ノ馬匹出場名簿ヲ調製スルモノトス

第三十七條 市町村長ハ最近ノ異動ニシテ未タ届出ヲナサル配當馬匹ノ既ニ他ニ轉出若クハ斃死セシ等ノ事故ノ爲メ馬匹ノ徵發ヲ達スルコト能ハサルモノハ速ニ馬匹所有者ヨリ届出ヲ

爲サシムヘシ

第三十八條 町村長ハ徵馬細則第三十二條ノ届書及前條ニ依リ徵發ヲ達スルコト能ハサル通達書ハ其届書ト共ニ速ニ郡長ニ送付スヘシ

第三十九條 郡市長ハ前條ニ依リ送付ヲ受ケタル書類ハ速ニ馬匹徵發委員長ニ差出スヘシ

第四十條 町村長ハ馬匹徵發實施後十日以内ニ未タ検査ヲ受ケサル五歳以上ノ牡馬及合格馬匹ニシテ採用セラレサルモノヲ調査シ規則第四條ニ準シ馬匹調査表ヲ製シ之ニ牡馬原簿、徵發馬匹差出場所到着時間調査表ヲ添ヘテ郡長ニ差出スヘシ但牡馬原簿ハ二通ヲ製シ其一通ヲ差出シ他ノ一通ハ之ヲ保管シ置クモノトス

郡長ハ前項ノ書類ニ基キ馬匹調査表一通ヲ製シ之ニ徵發馬匹差出場所到着時間調査表ヲ添テ

馬匹徵發實施後二十日以内ニ師團長ニ差出シ而シテ牡馬原簿ハ査閱ノ上一綴ト爲シ置クヘシ

第四十一條 市長ハ馬匹徵發實施後二十日以内ニ未タ検査ヲ受ケサル五歳以上ノ牡馬及合格馬

匹ニシテ採用セラレサルモノヲ調査シ規則第五條ニ準シ馬匹調査表一通ヲ製シ之ニ徵發馬匹

差出場所到着時間調査表ヲ添ヘテ師團長ニ差出シ牡馬原簿一通ヲ製シ置クヘシ

第四十二條 前二條ノ牡馬原簿訂正ノ取扱ハ本規定第二十三條乃至第二十五條ノ例ニ依ル

第四十三條 動員完結後復員迄ノ間ニ於ケル馬匹ノ徵發ニ在テモ本規定ヲ準用ス

第四章 徵發馬匹賠償金ニ關スル規定

第四十四條 徵發馬匹差出場所々在地外ノ郡市ヨリ差出場所ニ輸送スル馬匹ニハ其徵發馬所有

者ノ郡市境界ヨリ差出場所(設置スル市町村ノ原標)迄ノ里程一里以上未滿ハ六里未滿ハ半日

分六里以上十里迄ハ一日分ノ徵馬手當ヲ給ス十里以上ノ計算モ亦之ニ同シ其徵馬手當ハ日額

金壹圓トシ馬糧ハ自辨セシム

第四十五條 検査ノ都合ニ依リ差出場所ニ滞在セシムルトキモ亦前條ノ日額ヲ給ス

第四十六條 差出場所ニ集合シタル人馬ニシテ不合格又ハ官ノ都合ニ依リ不用トナリタル時ハ

徵發區ノ内外ヲ問ハス該差出場所ヨリ徵發馬匹所有者ノ居住地迄ノ里程(居住地市町村ノ原

標迄ヲ算ス)ニ應シ第四十四條ニ定ムル徵馬手當ヲ給ス其里程ノ計算法モ亦第四十四條ニ同シ

第四十七條 合格馬匹ヲ差出場所ヨリ到着地或ハ途中迄輸送スル爲メ口附人トシテ馬匹ノ操業

者ヲ徵用ス其給料ハ徒歩若シハ鐵道船舶ノ輸送ニ係ハラス一日金五拾錢ヲ給シ宿泊食餌ヲ官

給ス但歸郷旅費ハ到着地或ハ途中ヨリ本人居住地迄ノ里程(居住地市町村ノ原標迄ヲ算ス)ニ

應シ一日金七拾錢ヲ給シ食餌其他ヲ自辨セシム其里程ニ應スル計算法ハ第四十四條ニ同シ

第四十八條 徵發馬匹買上代金徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ關セシ諸費並ニ徵發區外

輸送ニ係ル馬匹ノ手當同滞在手當及第四十六條ノ手當ハ其徵發區内ノ分ヲ一括シタル賠償金

計算書 徵發事務條例附 二 受領證書 徵發事務條例附錄第二號ノ二ノ書式
及馬匹徵發事務細則第三號ノ書式
ヲ添付シ郡市長ヨリ可成速ニ師團
司令部ニ請求スヘシ

第四十九條 馬匹口付人歸郷旅費ハ左ノ區分ニ依リ直ニ本人ニ支給スヘシ

其一 馬匹到着地ニ至リタルモノハ該馬匹ノ受領部隊

其二 瀛車輸送ヲナスニ當リ操業者不用トナリタルトキハ馬匹宿泊所

其三 輸送途中其馬匹重患ニ罹リ其療養ヲ最寄市町村役場ニ囑托セシ場合ニ於テ操業者不
用トナリタルトキハ輸送委員ノ證明書ヲ以テ最寄ノ馬匹宿泊所若クハ馬匹差出場所

附 則

第五十條 補充召集國民兵召集ニ關シテハ第二章第二款ヲ準用ス

附表第一

約四寸

紙 表

約三寸

動員手簿

保 管 者 郡 書記 氏 名

- 一 表紙ノ裏面ニハ本手簿ニ記載スヘキ事項ノ要旨ヲ列擧スヘシ
- 二 本手簿ニ事項ヲ記入スルニハ一野ツ、穴野ヲ存スルヲ良トス之レ後任者ニ於テ前任者ノ規定シタル事項ヲ訂正スル等ニ便ナル爲メナリ又動員日次毎ニ業務日誌ヲ記入シ得ル餘白ヲ

(綴込ノ餘地)

動員第何日(日月)	
一
二
三

附表第二

充員召集令狀送達時間調査表

明治何年何月何日
何 縣 何 郡

町(村)名	郡役所ヨリ町村役場ニ至ル使丁ノ經過スヘキ里程	使丁數	送達時間	町村役場ヨリ充員召集令狀ヲ各自ニ交附シ終ル迄ノ時間	計
何 町	何 里	二	何時何分(朱)	何 時 何 分	何時何分
何 村	何 里	二	何時何分(朱)	何 時 何 分	何時何分
何 々	何 丁	二	何時何分(朱)	何 時 何 分	何時何分

一 時間八分時迄里程ハ丁數迄ヲ記スヘシ

- 二 町村名ハ使丁差遣ノ順序ニ記載スヘシ
- 三 送達時間ヲ調査スルニハ事務整理ノ爲メ消費スル時間ノ最大限ヲ四時間最少限ヲ一時間トナシ此最少限ノ時限ヲ郡役所ヲ距ル最遠ナル町村ニ送達スル時間ニ加ヘテ送達時間ノ區畫ニ之ヲ記入シ而シテ町村ノ送達順序ニ應シテ逐次整理時間ノ遞加シタルモノヲ各送達時間ニ加ヘ終ニ最大限ノ四時間ヲ加算スルニ至ル如ク之ヲ調査スヘシ
- 四 前項送達時間ニ逐次加算シタル事務整理ノ時間ハ各送達時間ノ左傍ニ朱記スヘシ
- 五 本表使丁ノ員數ヲ定ムルニハ郡内最遠ノ町村ニ令狀ヲ送達シ終ルマテニ全町村ニ送付シ終ル如ク計畫スヘシ

附表第三

充員召集令狀交附時間調査表		明治何年何月何日	
市役所(町、村役場)ヨリ(市町村)内住民ノ最遠住宅迄ノ距離		何府(縣)何市(町、村)	
在郷軍人ノ數	歸休	何	里 何 町
	豫備	何	人
	後備	何	人

充員召集令狀交附ニ用ユル使丁人員及使用區域ノ數	第一補充兵	何	人
	第二補充兵	何	人
充員召集令狀交附ノ爲メ消費スル最大時間		何	時 何 分

- 一 時間ハ分時迄里數ハ丁數迄ヲ配スヘシ
- 二 事務整理ノ爲メ消費スル時間ハ市ニ在テハ最大限二時間最少限一時間、町村ニ在テハ一時間トシ又充員召集令狀ヲ各應召員ニ交附スル爲メ消費スル時間ヲ約五分トシ計算スヘシ
- 三 「充員召集令狀交附ノ爲メ消費スル最大時間」ノ區畫ニハ各使丁ノ充員召集令狀交附ノ爲メ費ス時間中最モ大ナルモノヲ記入スヘシ但使丁ノ歩行速度ハ一時間一里半ノ割合トス
- 四 前項充員召集令狀交附ノ時間中ニハ事務整理ノ時間ヲ加算スヘキ者ニシテ市ニ在テハ其使丁ノ發遣順序ニ從ヒ一時間乃至二時間ノ事務整理時間ヲ適當ニ配賦加算シ町村ニ在テハ使丁中充員召集令狀交附ニ最モ多クノ時間ヲ要スル者ニ其整理時間ヲ加算スル者トス
- 五 在郷軍人ノ數ハ現在員ニ依リ調査スヘシ
- 六 休職及停職ノ將校同相當官及准士官并ニ未入營現役兵ハ歸休ノ區畫ニ加算スヘシ

附表第四、第五ノ一

用紙厚紙

在郷軍人(第一國民兵)名簿

何郡何町(村)役場
(何市役所)

附表第四ノ二

在郷軍人名簿

何市(町)(村)

住	所	徵集年	兵種階級	特業	氏名	摘要

歸休ノ部

本町三丁目十番戸	三十一年	歩兵上等兵	適	何	某
何(大字)何番地	三十一年	騎兵一等卒	銃	何	某
豫備役ノ部					
何町何番地	二十八年	砲兵二等卒	鞍	何	某
何(大字)何番戸	二十九年	工兵一等卒	電通 要燈	何	某

一 本名簿ハ將校、下士、兵卒毎ニ歸休、豫備、後備、第一補充、第二補充兵役ヲ別チ見出
 ヲ附シ一冊トスヘシ但シ歩騎砲工輜重兵科衛生部軍吏部ノ順序ニ記載シ各兵種ノ間ニハ
 適宜ノ餘地ヲ存スヘシ

二 一年志願兵及第證書所持者ハ「志」ノ字ヲ士官、下士適任證書所持者ハ「適」ノ字ヲ其他特
 業者ハ其得業ノ頭字ヲ特業區畫ニ朱書スヘシ

三 通報人ノ定メアルモノハ其住所氏名ヲ當該軍人ノ姓名欄ニ添付シ置クヘシ

四 用紙ハ美濃紙トス

附表第五ノ二

第一國民兵簿		何市(町)(村)	
住	所	誕生年月日	編入年月日
		元兵種官等	氏名
			摘要

兵事 召集及徴發

- 一 元下士兵卒ヲ各別ニ步、騎、砲、工、輜重兵科、衛生部、軍吏部等ノ順序ニ從ヒ年齡ノ古キモノヨリ記載スヘシ
- 二 國民兵編入志願者ハ「志」ノ字ヲ各特業者ハ其特業ノ頭字ヲ右肩ニ朱書スヘシ

附表第六

充員召集令狀發送交附人員表

町村名	令狀總數	聯隊區司令官		郡長令狀		町、村長令狀		町、村長令狀		各自令狀	
		ヨリ充員召集令ヲ受領シタル月日時	終リタル月日時	ヨリ充員召集令ヲ受領シタル月日時	終リタル月日時	ヨリ充員召集令ヲ受領シタル月日時	終リタル月日時	ヨリ充員召集令ヲ受領シタル月日時	終リタル月日時	ヨリ充員召集令ヲ受領シタル月日時	終リタル月日時
何町	100	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時	月日時
何村											

附表第七

徵發馬匹差出場所到着時間調査表

縣郡名	郡市役所ヨリ最近ノ電局ニ至ル距離	所出馬匹	三重縣			志摩郡			備考
			久居町	戸木村	高岡村	久居郵便局	志摩郡	志摩郡	
縣郡名	郡市役所ヨリ最近ノ電局ニ至ル距離	所出馬匹	時間	距離	時間	距離	時間	距離	備考
久居町	二時	二時	二時	二時	二時	二時	二時	二時	
戸木村	二時二十分	二時二十分	二時二十分	二時二十分	二時二十分	二時二十分	二時二十分	二時二十分	
高岡村	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	
久居郵便局	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	二時四十分	

注意

一 本表ハ規則第四條第二項及第五條ニ依リ各都市長ヨリ毎年十二月十日迄ニ差出スヘキ馬

兵 事 召集及徵發

- 四 匹調査表ニ在ル五歳以上ノ牡馬ニ就テ調査調製スルモノトス
- 二 郡市長及町村長ノ事務整理時間ハ各三時間トシ通達書等交付ノ爲メノ使丁行程速度ハ一時間ニ一里半又各自ニ通達書ヲ交付スル時間ハ一人五分宛トシテ算スヘシ
- 三 馬匹所有者者通達書受領後準備時間ハ十二時間トシ其馬匹差出場所ニ至ル行程速度ハ一時間ニ陸路約一里ノ割合トス
- 四 馬匹差出場所ノ位置ハ毎年十一月一日迄ニ之ヲ達ス但同日迄ニ別ニ達ヲナサル時ハ前年ト異ナラサルモノト豫定スヘシ
- 五 事務整理時間及行程時間ニシテ實際ニ徴シ甚シク差違アリト思料シタルモノハ相當區畜ニ朱字ヲ以テ別記シ其理由ヲ備考ニ記スルヲ要ス但此場合ニ於テモ前諸項ニ據ル調査ハ必ス之ヲ記スヘシ
- 六 本表ハ郡ノ一部ニ就テ其一例ヲ示スニ過キス依テ市町村長ハ之ニ準シテ製表スルモノトス

附表第八

普通所有者ノ部(營業者所有ノ部)				
検査成績	年齢	體尺	毛色	用役摘要
				馬匹所有者居住地
				馬匹所有者氏名

普通所有者ノ部(營業者所有ノ部)
 何市町村

- 注意
- 一 検査成績ノ區畫ハ規則ニ依リ施行セン検査成績ヲ記載スルモノトス
 - 二 摘要ノ區畫ハ轉出入ノコトヲ最モ簡單ニ記載スルモノトス
 - 三 用紙ハ美濃野紙

附表第九

第三師團第何動員何地徵發馬匹配當名簿					
何郡市(町村)					
動員第何日(午前(後)時) 出場牡馬何頭					
内譯					
検査成績	年齢	體尺	毛色	用役	馬匹所有者居住地
					徵發區ノ境界ヨリ差
					馬匹所有者氏名

動員第何日(午前(後)時) 出場牡馬何頭		内 譯		馬匹所有者	徵發區ノ境界ヨリ差	馬匹所有者氏名
月	日	何	時	居住町村	出場所ニ至ル里程	
検査成績	年齢	體尺	毛色	用役		

- 注 意
- 一 「徵發馬匹配當名簿」ノ上「何地」トハ差出場所ノ地名ヲ指ス
 - 二 検査ノ成績トハ徵發委員ノ檢定セシ結果即チ合否ヲ記入スル書トス依テ平常ハ空欄トナシ置クヘシ
 - 三 「徵發區ノ境界ヨリ差出場所ニ至ル里程」ハ馬匹所有者ノ居住町村ヨリ差出場所ニ至ル路ニ就キ調査シ一町未滿ノ間數ハ除算スヘキモノトス
 - 四 用紙ハ美濃野紙

附表第十 五寸五分(曲尺)

受 領 證

一 何月何日何徵發馬匹差出場所ニ到着スヘキ馬匹徵發通達書
右受領ス

年月日午前(後)時分

姓 名

本人ニ代テ受領シタルモノハ左ニ署名捺印スヘシ

何縣何市長(何郡何町村長)姓名殿

五寸(曲尺)

馬匹徵發通達書

何縣何郡何町(村)何某所有
乘(鞍)(駄)馬壹頭
何毛何尺何寸

右第三師團長ヨリ動員ノ爲メ徵發セラレ依テ何月何日午前(後)何時迄ニ何徵發馬匹差出場所ニ至リ郡(市)長ニ届出ツヘシ

何縣何市長(何郡何町村長)圖

裏 面

注 意

- 一 徵發馬匹差出場所ニ至ルニハ本通達書及印形ヲ持參スヘシ
- 二 本書ヲ受領セハ右方受領證ニ月日時ヲ記シ捺印返付スヘシ
- 三 馬鞍綱及途中並ニ検査當日ニ要スル飼料ト糞靴(裝備セサル馬ニ限リ)ヲ携帯スヘシ
- 四 本書ヲ受領スルモ馬匹疾病等ノ爲メ徵發ニ應スル能ハサルトキハ直ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明ヲ得テ其市町村長ニ届出スヘシ
- 五 本書ヲ受領セハ直ニ用意ヲ整ヘ必ス示定ノ日時ニ遅レサル様到着シ得ル如ク出發應徵スヘシ
- 六 差出場所ニ到着スレハ市町村吏員ノ許ニ至ルヘシ
- 七 徵發ヲ拒ミ若クハ故ナク期日ニ遅レタル者ハ所罰セラレモノトス

兵 事 召集及徵發

- 一 壹名ニテ二頭以上ヲ有スルモノハ一葉ノ通達書ニ連記スルヲ得但差出日割ノ異ナルモノハ此限ニアラス
- 二 用紙ハ適宜
- 本注意ハ解シ易キ様假名ヲ附スヘシ

●告示第百二十一號 (明治三十二年十月十九日)
 海軍召集旅費支給場ノ位置及其支給場ニ於テ支給スヘキ地方區域左之通相定ム
 海軍召集旅費支給場及區域表

郡市	支給場ノ位置	支給區域
賀茂郡	賀茂郡役所	賀茂郡一圓
田方郡	田方郡役所	田方郡一圓
駿東郡	駿東郡役所	沼津町 片濱村 鷹根村 金岡村 楊原村 大岡村 靜瀨村 大平村 清水村 長泉村 須山村 富士岡村 小泉村 泉村 深良村 富岡村
原町	原町役場	原町 浮島村
御厨町	御厨町役場	北郷村 六合村 足柄村 菅沼村 高根村 須走村 原里村 印野村 玉穂村 御厨町
富士郡	富士郡役所	富士郡一圓
庵原郡	庵原郡役所	江尻町 飯田村 高部村 西奈村 袖師村 辻村 内房村 松野村 富士川村 蒲原町 由比町
安倍郡	安倍郡役所	大谷村 久能村 高田村 長田村 千代田村 安東村 麻川村 美和村 服織村 大河内村 梅ヶ嶋村 玉川村 井川村 美和村 服織村 大河内村 梅ヶ嶋村 清澤村 大井川村 美和村 服織村 大河内村 梅ヶ嶋村

志太郡	清水町役場	有渡村 清水町 入江町 不二見村 三保村
榛原郡	榛原郡役所	榛原郡一圓
小笠郡	小笠郡役所	掛川町 南郷村 西南郷村 大池村 曾我村 和田岡村 垂木村 雨櫻村 原谷村 西郷村 倉真村 栗本村 西山村 東山口村 上内田村 中内田村 下内田村 佐東村 岩瀬村 原田村 原泉村 日坂村 東山村
中村	中村役場	中村 土方村 大坂村 三濱村 三俣村
大須賀村	大須賀村役場	大須賀村 大淵村 笠原村
池新田村	池新田村役場	池新田村 比木村 佐倉村
南山村	南山村役場	朝比奈村 千濱村 南山村 新野村 川野村 相草村 平田村
賀茂村	賀茂村役場	賀茂村 横地村 六合村 西方村 河城村
周智郡	周智郡役所	周智郡一圓
磐田郡	磐田郡役所	磐田郡一圓
濱名郡	濱名郡役所	五嶋村 河輪村 芳川村 飯田村 中町村 和田村 蒲松町 天神村 市野村 有玉村 中馬村 三方原村 濱坂町 雄踏町 神居村 入野村 高津町 篠原村 赤坂村 平笠村 小野田村 美嶋村 龍池村 中瀬村
笠井町	笠井町役場	赤坂村 平笠村 小野田村 美嶋村 龍池村 中瀬村

引佐郡	和地村役場	伊佐見村 吉野村 和地村 北庄内村 南庄内村 村櫛村
	吉津村役場	知波田村 入出村 新所村 吉津村 新居町 白須賀町
引佐郡役所	氣賀町 中川村 金指町 井伊谷村	
	鹿玉村役場	都田村 鹿玉村
伊平村役場	鎮玉村 伊平村 奥山村	
	西濱名村役場	東濱名村 西濱名村
静岡市	静岡市一圓	

●丙第九號

(明治十六年二月十日)

郡 町 村

明治十五年第二十六號布達徵發事務條例第十四條ニ據リ郡町村ニ於テ豫定シタル徵發ニ應スル便宜方法來ル四月十五日迄ニ届出ヘシ此旨相達候事
但届出後豫定シタル方法變更アルトキハ其都度届出ヘシ

●丙第十一號

(明治十六年二月十四日)

郡 町 村

徵發事務條例第十四條ニ依リ縣ニ屬スル徵發順序方法別紙ノ通相定候條此旨相達候事

縣ニ屬スル徵發順序方法

- 第一條 徵發令第十二條第一項ノ徵發書發付アリタルトキハ直ニ其旨ヲ徵發區内ニ布達ス
- 第二條 營業者ニ課スル物件ハ縣ニ於テ其額ヲ定メ達スルトキハ戸長之ヲ傳達シ及ヒ其差出場所ニ送達スルモノトス
- 第三條 毎戸ニ課スル物件ハ縣ニ於テ町村毎ニ其額ヲ定メ達スルトキハ戸長之ヲ毎戸ニ分割及ヒ收集シ其差出場所ニ送達スルモノトス
- 第四條 第二條第三條ノ如ク定ムト雖モ時宜ニ依リ官吏派出ノ上其額ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第五條 戸長ニ於テ毎戸ヨリ物件ヲ受取タル時ハ其員數ヲ帳簿ニ明記シ之ヲ割印ヲナシタル領收證ヲ渡スヘシ
- 第六條 差出場所ニ送致スル米麥藁ハ俵人味噌醬油漬物梅干ハ樽入トナスヘシ
- 第七條 差出場所ニ送致スル物件ハ必ス其員數ヲ記載セシ書面ヲ添ヘ縣官ニ引渡シ其領收證ヲ受クヘシ
- 第八條 徵發區ヲ定メラル、ニ當リテハ縣官ハ其差出場所ニ出張シ物件受渡シノコトニ從事ス
- 第八條 出張縣官ハ其差出タル物件ヲ檢査シ之ヲ帳簿ニ明記シ領收證ト割印ヲ爲スモノトス
- 第九條 出張縣官差出人ヨリ受取タル物件ハ之ヲ陸海軍出張官ニ引渡シ其領收證ヲ受クル者トス

第十一條 徵發スヘキ物件其配當額ヲ郡長ニ協議シ又ハ直チニ之ヲ定メ各町村戸長ニ達スルモノトス

但協議セサルノ場合ニ於テハ其配當額ヲ郡長ニ通知スルモノトス

第十二條 徵發事務條例第十條ノ如キ場合ニ於テハ此順序ノ限ニアラス

第三章 演習行軍

●號外 (明治十九年三月三十日)

郡 町 村

陸海軍演習及ヒ行軍ノ節ハ左ノ各條ニ依リ不都合無之様取計フヘシ此旨相達候事

第一條 郡長ニ於テ演習及行軍ノ達ヲ受ケタルトキハ速ニ沿道戸長ヘ示達シ吏員ヲ派遣シ休泊等總テ差支無之様致スヘシ

但軍隊ヨリ直ニ通達ヲ受ケタルトキ及ヒ第二條但書ニ依リ戸長ヨリ報告ヲ受ケタルトキモ本文ニ準シ取計且ツ此場合ニ在テハ速ニ其旨本縣兵事課ヘ報告スヘシ

第二條 戸長ニ於テ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ速ニ部内人民ニ告達シ軍隊ニ對シ不敬ノ所爲無之様致サスヘシ

但軍隊ヨリ直ニ通達ヲ受ケタルトキハ本文ニ準シ取計且ツ其旨郡長ヘ報告スヘシ

第三條 休泊ニ係ル町村ハ戸長ニ於テ豫メ宿舍ノ廣狹庭園等ノ數ヲ取調ヘ置キ畧圖ヲ製シ先發派出官ヘ差出シ總テ同官ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條 米麥秣藳薪炭其他需用ノ物品ハ戸長ニ於テ差支ナキ様處辨スヘシ

●號外 (明治十九年三月十八日)

郡役所 戸長役場

軍隊待遇方左ノ各項ニ從ヒ適宜諭示シ不都合無之様取計フヘシ

- 一 軍隊行軍演習等ノ節沿道町村ニ於テハ飲水ヲ供給スル様致サセヘシ
- 一 演習中田畑ヲ踏荒シ相當ノ損害ヲ償フ節ハ不公平ナキ様注意スヘシ
- 一 演習中見物人演習ノ妨ケヲナシ或ハ田畑ヲ踏ミ荒ス等ノ事無キ様注意スヘシ
- 一 行軍演習等之節宿泊所其他ニ於テ軍隊ヨリ需用ノ物品人足等多數ヲ要求スルモ平常ノ賃價ヲ以テ其求ニ應セシムヘシ

●第二九四三號 (明治三十二年十月二十三日)

各郡市長 內務部長通牒

軍隊行軍演習ノ際待遇上ニ關シ十九年三月十八日付及二十日付號外ヲ以テ達相成居候處右待遇ニ

付テハ各都市ニ於テ區々不相成様致度候條尙別紙心得書ニ準據致候様御取計相成度依命此段及通牒候也

追テ別紙心得書ハ機動演習ニ必要ナル事項ヲ掲ケタルモノニ有之候得共聯隊若クハ大隊以下演習ノ場合ニ於テモ適用候義ト御心得相成度此段申添候也

郡役所吏員心得條件

- 一 宿泊地ニ於テ郡長ハ上長官以上郡吏員ハ中隊長以上ヲ訪問スルコト但郡長事務繁忙其他時宜ニ依リ代理者ヲシテ名刺ヲ出サシムシモ苦シカラス
- 又便宜ノ地ニ於テ送迎ヲ爲スヘキコト
- 一 演習地並ニ宿泊地ヘハ郡長並ニ主務員ハ出張シ諸事執掌スルコト
- 一 郡役所員ハ先發官來着ニ先チ出張ノコト
- 一 演習線内ニ亂入スル參觀人其他租暴者ヲ制スルハ主トシテ警察官ノ職務タリト雖モ郡吏員モ精々諷諭ニ注意スルコト
- 一 軍隊ノ通行スヘキ路線ハ能ク点檢ヲ途々地方稅支辨ノ箇所ハ此限リニアラス修理ヲ加フルノ處分ヲ爲スヘキハ勿論ナリト雖モ砲車ノ通過スヘキ線路ニ在ル橋梁ハ特ニ注意シ狭少ニシテ通過ニ差支アル箇所ハ一時増設ヲ爲ス等臨機ノ處置ヲ爲スヘキコト

- 一 演習ノ方畧ニ關スルコトハ必ス秘密ヲ守ルヘキコト
- 一 縣郡町村會議員赤十字社員學校生徒等ノ演習參觀方町村吏員ヨリ申出アルトキハ旅團司令部或ハ當該軍隊ヘ照會ノ上相當ノ處置ヲナスヘキコト
- 一 演習ノ事務ニ從事スル吏員ハ左ノ徽章ヲ左肋ニ佩フルコト但其期ニ際シ當該軍隊ヘ報告スルコト

郡 郡 吏 員

徑壹寸白地(地質)ヘ黑字ヲ以テ記スモノトス

- 一 耕作物等ノ損害賠償ハ當該軍隊ニ於テ指定スル所ノ人員ト地方役員ト立會ノ上實況ヲ查覈シテ之ヲ定ム但演習中ニ於テ耕作物ノ損害ヲ受ケタル地主ヨリ賠償ノ要求アルトキハ其調査ヲ作ラシメ之ニ意見ヲ付シ當該部隊ニ報告ヲナスヘキモノトス
- 一 前項立會員ハ郡書記及町村役場書記以上ノ者ニ限ル立會ヲ要スル場合ハ公平ナル意見ニ依リ取扱フヘキコト
- 一 耕作物等ニ軍隊ニ於テ損害ヲ加ヘタルトキハ其賠償方ハ持主ノ訴ヲ待タズ隊長ヨリ先ヲ取調ラル、等尤人民ヨリ訴ヘ出ツルモ妨ケナシト雖モ此場合ハ果シテ軍隊ノ損害ヲ加ヘシヤ否ヤヲ調査シ確實ナル證據ヲ舉ケシムルコト又不當ノ申立ヲナサシメサルコトニ注意シ可成當

日調査スルヲ可ナリトス
 一 郡吏員ハ町村吏員ヲシテ心得條件ヲ沿道人民ヲシテ心得條件ヲ遵守セシメ不都合ナキ様特ニ
 注意スヘキコト

一行軍演習ニ付テノ事務ハ總テ之ヲ記録シ保存スルモノトス
 町村吏員心得條件

- 一 町村役場ノ設ナキ部落ニ軍隊宿泊ノトキハ其地ニ出張所ヲ設ケ之ニ詰合フコト
- 一 演習又ハ行軍地方道路ハ豫メ検査シ危険ノ箇所アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ修理ヲ加ヘ
 其町村ノ擔當ナラサルモノハ縣廳又ハ郡役所ヘ速ニ報告スヘシ
- 一 軍隊ノ通過線路ハ十分清潔ナラシムルコト
- 一 石橋ハ砲車通行ノ礙破折ノ虞レアルヲ以テ可成橋上ニ土ヲ盛ルカ又ハ藁若クハ藎ノ如キモノ
 ナ敷キ其傍ニ石橋タルコトヲ標示スルコト
- 一 道路ノ修理ヲ加ヘタル箇所ハ小石又ハ草杯ヲ途上ニ放棄スルカ如キ不注意ナキヲ要ス
- 一 行軍演習ノ道筋ニハ町村ノ境界毎ニ郡町村名ヲ記載シタル標札ヲ建ツルモノトス
 但夜間ハ軍隊通過ノ便ヲ計リ標札ヲ建テタル場所及路傍人家ニ於テハ點燈ヲナスモノトス
- 一 軍隊通行又ハ滯泊中ハ隊伍中ヲ横切り或ハ兵器ニ觸レ演習中猥リニ其線内ニ立入ルコトナキ

様豫テ諭達シ置クヘキコト

- 一 演習地ヘ行商ヲ爲スモノニ對シテハ高利ヲ貪ルコトナキ様懇篤説諭ヲ加フヘキコト
- 一 軍隊ノ宿泊スヘキ見込ノ町村ハ徵發令第十五條第十八條等ニ依リ毎戸ノ坪數ヲ調査シ左ノ範
 形ニ依リ毎戸ノ入口ニ掲クヘシ

姓	五 寸			名
	總	坪	數	
八 寸	宿 舍 用 坪 數	疊	板	土
		數	敷	間

板又ハ厚紙ヲ用フルコト

- 一 前項ノ町村ハ豫テ地形及家屋ノ略圖(毎戸ノ姓名並ニ宿舍用
疊數間數ヲ記スコト)ヲ製シ置クヘシ
- 一 馬繋場ヲ豫定スヘキコト(但杉檜等ノ材ヲ以テ充
ツルヲ最モ便ナリトス)
- 一 毎戸風呂數ヲ調査スヘキコト
- 一 軍需ニ應スル物品不時ノ高利ヲ貪ルコトナキ様堅ク取締置クヘキコト
- 一 演習參觀人ノ損害ヲ與ヘシ土地耕作物ハ賠償ノ途ナキヲ以テ作人ニ於テ充分注意セシメ且吏

- 員ニ於テモ警察官ト協議ノ上相當ノ注意スヘキコト
- 一 宿主ヨリ萬一故障ノ申立アルトキハ綿密ニ聞糺シ相當ノ處置ヲ爲スヘキコト
- 一 聯隊旗ニ對シテハ最敬禮ヲ表スルヲ要ス故ニ同旗ヲ留ムル宿所ハ豫メ承知シ特ニ宿主ニ注意ヲ加フヘキコト
- 一 宿賄ノ節ハ自然甚シキ不均一ヲ生スヘキ處アルヲ以テ可成ハ概略ノ獻立付ヲ配付シ之ニ依リ料理セシムル方可ナルヘシ汁其他ニ於テ味ヨキモノ少ナキヨリハ寧ロ多量ノ仕向ケヲ可トスヘシ辨當ノ如キハ一手ニテ調理セシムルモ可ナルヘシ
- 但辨當ヘハ菜ノ外漬物ヲ添ユルコト
- 一 舍内ニ於テ火鉢茶碗等必需品ハ不足ナキ様殊ニ注意ノコト
- 一 入込タル場所ニアル宿舍ハ往復ノ便利ヲ與フル爲メ便宜ノ地ニ案内標ヲ立ツルコト
- 一 米麥其他軍隊必需ノ物品ハ日時ヲ移サス可及的迅速ニ調達ヲ圖ルコト
- 一 參觀入ノ類冠リ又鉢巻ハ演習兵ニ紛ハシキ恐レアルヲ以テ之ヲ制止スルコト
- 一 不熟ノ菓物等ハ警官ト協議シ可成販賣セシメサル様注意スヘキコト
- 一 演習若シハ宿營セントスル地方ニ六傳染病及馬匹ノ傳染病等アルトキハ其旨軍隊ヘ通報スヘキコト

- 一 傳染病患者ノアル家(現在患者アラサルモ平癒若クハ死ニハ赤紙ヲ(半紙半枚位)門戸ニ貼付スルコト)
- 一 傳染病者避病舍其他汚物埋却場等ハ其地ニ建札ヲナスコト
- 一 演習ノ際縣郡町村會議員赤十字社員學校生徒等ノ參觀ハ相當ノ便宜ヲ與ヘラルヘキヲ以テ參觀者アルトキハ前以テ郡吏員ヘ申出ツヘキコト
- 一 演習ノ方容ニ關スルコトハ必ス秘密ヲ守ルコト
- 一 町村役場ニ於テハ軍需品代金宿舍料事務室借受料等軍隊ヨリ支拂ハルヘキ金額ハ係官出發前必ス請求ヲ爲シ支拂未済ナキ様注意スルモノトス
- 但宿舍料ハ宿舍券ヲ以テ料金を請求スルモノトス
- 一 買上物品代價ハ概テ即日支拂ハルルヲ例トス其物品ト引換ニ支拂ハルルトキハ物品受領証ヲ請求スルノ必要ナシト雖モ否ラサル時ハ必ス受領証ヲ請求シ保存スルモノトス
- 一 軍需品ノ集積地ヨリ他町村ヘ回送シ納品セシトキ其運搬費ハ現品ノ代價ニ加ヘ支拂ハル等ニ付正當ナル該費ハ此手續ニ依リ賠償ヲ受クルコト
- 一 秣ハ宿舍ニ於テ辨達シ難キトキハ藁ヲ代用スルモ苦シカラス
- 一 露營ノ際ハ町村吏員現場ニ出張シ飲料水其他需用上差支ナカラシムルコト
- 一 町村吏員ハ町村境又ハ便宜ノ地ニ於テ送迎スルコト

但郡町村會議員等有志ノ者ガ本文ノ行為ヲ爲スハ無論差支ナシ

一 宿泊ノ際ハ町村吏員ハ將校ノ宿所中隊本部以上ヲ訪問スルモノトス

一 演習ノ事務ニ從事スル吏員ハ左ノ徽章ヲ左肋ニ佩フルコト但其期ニ際シ當該軍隊ヘ報告スルコト

町吏員 村吏員

徑一寸白地(地質) へ黒字ヲ以テ記スモノトス

一 人民ノ心得條件ハ適宜ノ方法ヲ以テ普ク之ヲ心得置カシムヘキコト

一 演習ノ際耕作物等ノ損害賠償ニ關シ立會ヲ要スル場合ニ於テハ之ニ立會シ公平ナル意見ニ依リ取扱ヲ爲スヘキコト

一 前各條ノ外待遇上必要ト認ムルトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘキコト

一 行軍演習ニ付テノ事務ハ總テ之ヲ記錄シ保存スヘキコト

軍隊通行演習ノ際人民ニ注意セシムヘキ事項

一 軍隊ニ對シテハ賊意ヲ旨トシテ決シテ輕薄ノ振舞アルヘカラス

一 軍隊通行ノ際ハ一切道路ニ出サルコト

一 軍隊通行ノ途次ニハ飲料水(一旦煮沸シタルモノ) 又ハ麥湯(冷シタルモノ) 及馬飼水ヲ差出シ置クコト

但飲料ニ供スル容器ニハ蓋ヲ爲シ柄杓茶碗等ヲ備ヘ馬飼水ハ四斗樽ノ類ニ入レ柄杓ヲ備フルヲ要ス尤モ沿道ニ河川アル向ハ馬飼ニ便ナル場所ヲ設クルコト

一 軍隊ニ販賣スヘキ物品ハ平常ノ價格ニ依リ決シテ高利ヲ貪ルヘカラス

一 聯隊旗ニ對シテハ敬禮ヲ行フコト

一 軍隊ノ宿舍ニ充ツル各戸ハ左ノ各項ニ依ルヘキコト

一 各宿舍ニ於テハ掛竿又ハ綱ヲ張リ竿綱ハ被服ヲ掛ルニ備 及銃掛ヲ設備スルコト

但雨雪等ノ節ハ濕衣干燥等ノ注意ヲ要ス

一 賄ヲ爲サル場合宿舍ノミ供給セシトキ ニ在テモ食用器具茶及漬物ヲ供スヘキコト

一 手洗器水桶共 燈火ニ鉢等ハ可成差支ナキ様配置スヘキコト

一 軍人ヨリ舍主ノ力ニ及ヒ難キ事件ノ依頼ヲ受タルトキハ町村吏員ニ申出其指揮ヲ待ツヘキコト

一 室内外掃除注意ノコト殊ニ便所ヲ清潔ニ爲スヘキコト

一 見苦シキ疊建具ハ可成注意スヘキコト

一 提燈手燭蠟燭 枕等有合ノ品準備ノコト

一 茶碗其他食器ノ洗滌ヲ怠ラサルコト

- 一 用務ヲ託セラレタルトキハ急速辨達スルコト
- 一 風呂ハ到着（宿前）ニ入湯支ヘサル様注意ノコト
- 一 各宿主ハ門戸ニ出迎フコト
- 一 宿舍賄ノ場合ハ供食ノ時刻ヲ違ヘサル様注意ノコト
- 一 軍人ニ浴湯ヲ供スルハ勿論ナルモ入浴ノ澆否ニ拘ラス時刻ニ至ラハ食事ヲ供スルコト
- 一 時刻ヲ誤ラサル様軍人ノ時計ニ自家ノ時計ヲ合セ置クコト
- 但時計持合セナキモノハ軍人ニ就キ能ク時間ヲ聞合セ置クコト
- 一 宿賄ノ節器具ノ乏シキ場合ニ於テハ一人毎ニ膳ヲ供スルヲ要セス共用飯臺ノ如キモノヲ用フルモ妨ケナシ
- 一 夜具枕ハ出來得ル丈ケノ準備ヲ要ス夜具一人一枚以上ヲ要ス止テ得サル場合ハ二人ニ一枚ナルモ妨ケナシト雖モ寒氣ヲ受ケシメサル様注意スルコト
- 一 軍隊並ニ砲車輜重車等ニ行逢フタルトキハ自分ノ右傍ニ避クヘキコト

第四章 雜

●甲第七十九號 (明治十四年五月十九日)

陸軍武官結婚條例別冊之通被定候旨陸軍省ヨリ達相成候條爲心得此旨布達候事

(別冊) 陸軍武官結婚條例

- 第一條 凡ソ軍人ハ最モ其品位ヲ重ニス故ニ其配偶ヲ擇ミ以テ終身ノ活計ヲ維持セシメ家政ヲ治メテ以テ其職掌ヲ確守ヒシム若シ配偶其匹ヲ擇ハス之ヲ輕忽ニセハ一ハ以テ其品位ヲ傷ケ一ハ以テ其營生ニ煩ハサレ途ニ其職掌ヲ汚シ隨テ全軍ノ精力ヲ殘フニ至ル仍テ左ニ其制限ヲ設ク
- 第二條 凡ソ軍人ノ結婚セント欲スル者將官並ニ同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ陸軍卿ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 下士卒常備服役中ハ結婚スルヲ許サス然レトモ再服役以上ノ下士並ニ豫備後備軍服役中ノ下士卒ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ受ケ結婚スルヲ得但憲兵並會計軍醫馬醫軍樂各部ノ下士卒(徵兵令ニ依リ徵集シタル看病卒ヲ除ク)及砲兵監護工兵監護ニ在テハ常備服役中ト雖モ所管長官ノ許可ヲ得テ結婚スルヲ得(明治十六年丙第九十八號ヲ以テ但舊改正)
- 第四條 結婚ノ許可ヲ得ントスル者ハ第一號書式ニ照シ出願スヘシ
- 第五條 將官並ニ同等官ニ在テハ陸軍卿與書シ准士官以上ニ在テハ所管長官下士以下ニ在テハ所屬隊長(課長)豫備及ヒ後備軍下士以下ニ在テハ後備軍使府縣駐在官與書スヘシ
- 第六條 其要ルヘキ婦人ハ行狀端正ノ者ニ非レハ結婚スルヲ許サス故ニ其行狀ヲ證スル爲メ第二

號書式ニ照シ其婦ノ所在地戸長ノ調印シタル身元證書ヲ添フヘシ

第七條 現役士官並ニ同等官以下ニ在テハ家計保護金トシテ左ノ金額ヲ納メシメ陸軍省ニ之ヲ保
存シテ以テ其生計ヲ保護セシム故ニ結婚出願ノ時第三號書式ノ證書ヲ出スヘシ

大尉並同等官 四百六拾圓

中少尉並同等官 六百圓

准士官 八拾圓

下士 八拾圓

第八條 第三條但書ニ載スル諸卒ニ在テ結婚スル時ハ第七條ニ準シ家計保護金ヲ納メシム其金額
ハ下士ニ同シ

第九條 第七條ノ金額ハ本人又ハ其妻ルヘキ婦人ノ所有或ハ雙方ノ所有ヲ合シタルモ妨ケナシ

但シ公債證書ヲ以テ納ムルモ妨ケナシト雖モ大藏省定ムル所ノ價格ヲ以テ之ヲ算シ第七條ノ

金額ニ相當セシム

第十條 結婚ヲ整ヘタル時ハ其旨速ニ届出ヘシ

但家計保護金ハ本文届出同時ニ差出ヘシ

第十一條 家計保護金ヲ還付スルハ左ノ項目ニ依ルヘシ

(第一項 上長官ニ昇進セシ時

第二項 恩給ヲ受ルノ權利ヲ有スル時

第三項 本人死歿スルカ又ハ現役ヲ離ル、時

第四項 其妻離別スルカ又ハ死亡シタル時

第五項 天災地變ニ罹リ家産擧テ滅亡シタル時

第十二條 結婚願書式並ニ證書式左ノ如シ

(第一號書式)

結 婚 願

使府縣國郡區町村

族籍職業

何某何女(姉)(妹)

某

年號月日生
年號月何年何ヶ月

某 備

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致シ度依テ別紙身元證書(家計保護金證書)相添差出候間御許
可被下度此段奉願候也

年號月日

官 姓

名 印

太政大臣(陸軍卿)(所管長官)宛

前書之趣篤ト取調候處不都合無之ニ付御許可相成度候也

陸軍卿(所管長官)(何隊長)(何課長)

官 姓

名 印

(第二號書式)

身 元 證 書

使府縣國郡區町村

族籍職業

何某何女(姉)(妹)

某

年號月日生
年號月何年何ヶ月

右ハ行狀端正ノ者ニ有之候此段致保證候也

使府縣國區町村戸長戸長アラサル地ハ
區長

姓

名 印

(第三號書式)

家計保證金證書

一金何百何拾圓也

右ハ 結婚奉願候ニ付御許可ノ上ハ家計保證金トシテ可差出候也

年號月日

官 姓

名 印

●甲第二十七號

(明治二十五年十二月二十一日)

郡役所 市役所 町村役場

海軍軍人結婚願出手續左之通り定メラル

海軍軍人結婚願出手續

第一條 海軍々人結婚條例第一條ニ依リ結婚ノ許可ヲ願ハントスル者ハ左ノ書式ニ依リ將官並相

當官ハ直ニ海軍大臣ニ差出シ上長官士官及准士官ハ所管長官ヲ經テ海軍大臣ニ差出シ下士卒ハ

所轄長ヲ經テ所管長官ニ差出スヘシ

書 式

結 婚 願

何府縣何國何郡市何町村何番地

華士族平民

何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何年何箇月

右記載ノ者ト結婚致度候間御許可被下度別紙身元證書相添此段奉願候也

年月日

官(職) 姓

名 印

海軍大臣(所管長官)宛

前書ノ趣不都合無之ニ付御許可相成度候也

年月日

所管長官(所轉長) 姓

名 印

身元 證書

何府縣何國何郡市何町村何番地

華士族平民

何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何年何箇月

右ハ行狀端正ニシテ年齡前書之通相違無之此段保證候也

年月日

何府縣何郡市何町村長 姓

名 印

第二條 各軍人ノ結婚ハ條例ニ依リ許可ヲ得タル後普通人事ノ手續ヲ爲スモノトス

第三條 結婚整ヒタルトキハ其旨速ニ準士官以上ハ海軍大臣ニ届出下士卒ハ所管長官ニ届出ヘシ

●甲第二十六號 (明治三十一年十月二十八日)

郡役所 市役所 町村役場

國民兵ニシテ戶籍上轉籍スル者アリタルトキハ市長町村長ニ於テ左記事項ノ調書ヲ作り入籍地市長町村長ニ發送スヘシ

一 他府縣ヨリ入籍者ニシテ左記事項ノ事由判明セサルトキハ市長町村長ハ元在籍地へ照會スヘシ

一 第一國民兵ニシテ戰時名簿ナキ者ハ元兵種官等又國民軍幹部適任證書所持ノモノハ其旨ヲ記載シタル調書

一 國民兵隊編入志願許可ノ者ハ該名簿ノ謄本但第三師團外ニ係ルトキハ此限リニ非ス

一 第二國民兵ハ徵兵處分ノ事項調書

●兵第四七五號 (明治二十八年四月十六日)

各郡市長 內務部長通牒

軍人恩給法ニ依リ扶助料請求者ハ其請求書及添付ノ戶籍調書所管長官ヨリ下渡シタル死者履歷書
同公務之爲メ死歿シタル事實ヲ證明スヘキ書類等ハ總テ三通宛(所管長ヨリ下渡シタル書)差出候様御取
計有之度此段豫テ申進候也

●訓令丙第三〇六號 (明治三十五年七月一日)

各郡市役所

本年四月法律第四十五號ヲ以テ軍人恩給法中改正發布相成候處右ハ明治七年佐賀役以來ノ戰死及
戰鬪ニ由ル負傷之爲メ死歿セシ軍人ノ遺族ニシテ現ニ扶助料ヲ受クルモノ又ハ受クヘキ權利ヲ有
スル者即チ其轉給ヲ受クヘキ權利發生シテヨリ未タ三ヶ年ノ請求期限ヲ經過セサル者等ハ本年七
月一日ヨリ右法律ニ規定スル金額ヲ受クル事ヲ得ル義ニ付此際右等遺族ヲシテ無漏之レニ均霑セ
シメ候様取計ヲヘシ

但本件請求ニ就テハ客月二十六日閣令第二號ニ明文ナキモノハ軍人恩給法施行規則ニ依ルヘキ
モ扶助料更正請求書ニハ單ニ請求者ノ記名調印ヲ要スルノ外市町村長ノ奥書モ之ヲ要セス
右訓令ス

第四編 社 寺

第一章 御陵墓

●甲第七十二號 (明治十三年十一月二十日)

上世以來御陵墓所在未定ノ分取調中ニ付人民私有地タリトモ古墳ト相見候地ハ猥リニ發掘ス可カ
ラサル等ノ處自然風雨等ノ爲メ石槨土器ノ類露出シ又ハ開墾中不圖古墳ニ堀當リ候様ノ義有之候
ハ、口碑流傳ノ有無ニ拘ハラズ其地名並近傍ノ字等ヲモ取調圖面ヲ製シ速ニ可届出此旨布達候事

●乙第二號 (明治十四年一月二十四日)

各 郡

古來諸王ニテ奉祀ノ子孫無之方ノ(賜姓又ハ親王宣下ノ有無ニ拘ハラズ)墳墓ハ自今總テ皇子御墓
ニ準シ御取扱可相成旨本年宮内省乙第壹號ヲ以テ被相達候ニ付テハ各郡内ニ於テ該墳墓現存ノ向
ハ其地方ノ傳説由緒等詳細取調圖面相添來ル三月十日限申出此旨相達候事
但該墳墓無之向ハ其旨本文日限迄ニ届出ヘシ

●號外 (明治十六年四月二日)

人民私有地タリト雖モ古墳ト相見候地ハ猥リニ發掘スヘカラサルハ勿論自然風雨等ノ爲メ石槨土

器ノ類露出シ又ハ開墾中不圖古墳ニ堀當リ候様ノ義有之候ハ、口碑流傳ノ有無ニ拘ハラズ詳細可届出旨明治十三年^{十一月}本縣甲第七十二號ヲ以テ及布達置候間處ニハ古器物ヲ發見候モ不届出而己ナラス竊ニ墳墓ヲ發キ介墟ヲ穿テ玉石古器物等取出シ候モノ有之哉ノ趣萬一右様ノ備有之候テハ不相濟儀ニ候條心得違無之様致スヘシ此旨諭達候也

第二章 神社

●乙第十八號 (明治十一年二月二日)

區 戶 長

皇大神宮大麻ノ儀自今人民各自ノ望ニ任セ拜受爲致不苦候此旨相達候事

(明治八年三月十四日)

各大區正副區長

諸神社御符配札之儀各社神官ヨリ申出候節管下人民信仰之者限リ授與致候義差許置候處間々ニハ信不信之無差別該村一般ニ配札致シ初穂料ノ如キモ村費ニ相立候向モ有之趣相聞候得共右者各人歸依信仰ニ任セ授受致候義ニテ一般決テ民費等ニ可相立モノニ無之候條此旨可相心得此段布達候事

(明治十八年十月十六日)

郡長宛郡長通牒

神宮大麻並曆之義ハ内務省ノ達ニヨリ明治十七年ヨリ神宮教院ニ於テ頒布候ニ付テハ同年十月八日付ヲ以テ及御照會候儀モ有之候處近來類似曆刊行候者間々有之民間却テ之ヲ信用シ爲ニ大麻曆共不受者モ有之哉ニ相聞候得共右頒布ノ儀ハ神宮教院ニ限リ候等ニ付無疑念相受候様町村ヘ示シ置候様各戸長ヘ御諭示相成度長官之命ニ依リ此段及御通知候也

●一第三七四二號ノ一 (明治三十三年九月十七日)

各郡市長 内務部長通牒

毎年未頒布神宮大麻之儀内務大臣ノ訓令ニ據リ本年末ヨリ神宮々域内授與大麻ト其形体ヲ異ニシ神宮奉齋會ヲシテ頒布セシメ候趣神宮々司ヨリ申越候條衆庶一般ヘ疑惑ナク拜受候様御示達有之度此段及通牒候也

●訓令丙第二四九號 (明治三十五年五月八日)

官 國 幣 社

寶物及貴重ナル書畫什器類ハ左ノ條項ニ依リ保管スヘシ
第一條 本令ニ於テ目錄帳ト稱スルハ明治八年^{六月}敎部省甲第七號達ニ依リ調製セル帳簿ヲ云フ

従前提出セル帳簿ニシテ前項教部省甲第七號達ノ雛形ニ照準セサルモノ及提出セサルモノハ此際更ニ該雛形ニ照準シテ両通ヲ調製シ進達スヘシ

第二條 寶物及貴重ナル書畫什器類ハ其收藏ノ都度直ニ目錄帳ニ記入シ内務大臣宛ノ届書兩通ヲ當廳ヘ差出スヘシ

従前ヨリノ所藏ニシテ目錄帳ニ記入洩ノモノハ此際前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 目錄帳ニ記載セル品目ヲ削除セントスルトキハ其事由ヲ具シ當廳ヲ經由シテ内務大臣ヘ稟請スヘシ

目錄帳ノ誤記ヲ訂正セントスル時ハ其事由ヲ具シ當廳ヘ稟請スヘシ

第四條 目錄帳ニ記載セル物品ニハ其容器又ハ適當ナル箇所ニ番號票ヲ附シ神社備置目錄相當品目ノ上ニ其番號ヲ朱記シ對照ニ便ナラシムヘシ

第五條 目錄帳記載ノ物品ヲ處分シ又ハ神社以外ニ持出サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ當廳ヲ經由シテ内務大臣ヘ稟請スヘシ

一 品目、員數

但同種類ノモノアルトキハ他ノ物品ト區別スル爲メ必要ナル事項ヲ附記スルヲ要ス

一 事由

一 持出ノ場合ニ在リテハ其場所、運搬ノ方法、持出中ノ保管方、並ニ持出期間

第六條 目錄記載ノ物品ヲ神社内ニ於テ陳列シ參拜者ニ展覽セシメントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ當廳ヘ稟請スヘシ

一 品目、員數

但同種類ノモノアルトキハ他ノ物品ト區別スル爲メ必要ナル事項ヲ附記スルヲ要ス

一 事由

一 陳列場ノ位置並ニ構造

但圖面ヲ添付スルヲ要ス

一 陳列中取締ノ方法

一 陳列期間並ニ陳列場開閉時刻

一 展覽ヲ許スヘキ參拜者ニ制限アラハ其制限

第七條 目錄帳記載ノ物品ハ寶庫ニ格護スヘシ寶庫ナキ神社ハ鎖鑰アル箇所ニ格護ノ備當廳ヘ伺出ヘシ

第八條 目錄帳記載ノ物品ヲ格護セル寶庫其他ノ箇所ノ鎖鑰ハ宮司之ヲ保管スヘシ

第九條 目錄帳記載ノ物品ヲ格護セル寶庫其他ノ箇所ノ開閉ハ宮司立會ノ上其神社ノ神職ヲシテ

行ハシムヘシ

第十條 目錄帳記載ノ物品ハ毎年適宜ノ時期ニ於テ曝涼並ニ手入ヲ爲シ其都度目錄帳ト現品トヲ對照シ宮司ニ於テ圖書ヲ作り當廳ヘ届出ヘシ

第十一條 目錄帳記載ノ物品亡失、毀損其他異狀アルトキハ其事狀ヲ詳具シ直ニ當廳ヲ經由シテ内務大臣ヘ届出ヘシ

第十二條 古社寺保存法ニ依リ國寶ト指定シ又ハ同法ニ依リ修理保存スヘキ物品ニ對シ別ニ制規アル場合ニ付テハ本令ノ規定ヲ適用セス

（明治二十年六月二十日）

官國幣社

官國幣社々務當廳ノ認許ヲ受クヘキモノ及ヒ一社限り處分シテ報告スヘキ事項自今左ノ通り相定ム

當廳ノ認許ヲ受クヘキ事項

- 一 例祭日異動及臨時祭
- 一 建物建築修繕
- 一 竹木伐採

一 不用物品賣却

一 一社附屬ノ講社設立

一 神職二十日以上派出々京養病歸省

即報スヘキ事項

一 風火災

一 盜難

一 神職忌引

一 全 死去

一社限り處分シ毎年七月十日迄ニ報告スヘキ事項

一 寄附物受納

一 神職二十日己内派出々京養病歸省

毎年一月十日限り前年分ヲ報告スヘキ事項

一 神職奉務表

此他社入金ニ關スル事項ハ社入金取扱概則ニ依ルヘク前項ニ記載ナキ事件ハ渾テ經伺ノ上處分スヘキモノトス

● (明治二十年六月)

官國幣社宮司宛第一部長通達

社務取扱方之義自今左記之通御心得相成度此段及御通達候也

- 一 社入金取扱概則更定相成候ニ付テハ簿冊へ記載等渾テ保存金下附ノ初メ則本年四月一日ニ遡リ右概則ニ準據セラルヘキ事
- 一 神職俸給支拂ハ毎月二十一日之事
- 一 神職新補轉免等之節ハ日割ヲ以テ勤務ノ日數ニ應シ交附セラルヘキ事
- 一 神職ノ者ハ神社所在地ニ本籍相定メ可申事
- 一 今回更ニ違無之廉ハ奉務規則ヲ始メ渾テ從前ノ違ニ據ラルヘキ事

● 庶第二七六七號 (明治二十年十月十九日)

官國幣社宮司宛第一部長通達

三大節賀表捧呈方之儀一社長官ハ本年四月十一日付御伺濟ニ有之候處禰宜主典之儀ハ本縣知事宛可差出善ニ候條右御心得之上此旨御指示有之度此段及御通達候也

● 庶第一七八三號 (明治二十年十月二十一日)

官國幣社神職宛 第一部通達

神職大禮服ハ明治七年第三十八號公布ノ區別ニ據リ提灯徽章ハ其待遇ニ應シ奏判任相當ノ者ヲ用ユル事ヲ可得候條此旨爲御心得及御通達候也

● 兵第一七八號 (明治三十年四月十日)

官國幣社宮司

官國幣社保存費中各社共通營繕費ニ係ル保管及其收支共本年四月一日以後本年勅令第五十四號ニ依リ社寺局長ニ於テ取扱相成候ニ付從前總代宮司へ差出シ候該費請求書ハ爾後全局長宛ヲ以テ請求候義ト御心得可有之此段及通達候也

● 訓第一號 (明治三十年四月十九日)

官國幣社宮司

自今其職務上調製スヘキ書面ニ相用候印章ノ儀ハ方七分_曲トシ職名苗字名ヲ彫刻致スヘシ

● 訓第三號 (明治三十年五月十一日)

官國幣社宮司

官司旅行ニ關スル規定左ノ通定メラル

第一條 旅行ヲ爲サントスルトキハ第二條以下ニ定ムル場合ヲ除クノ外總テ縣知事ニ稟請シ許可ヲ受クヘシ

第二條 一泊ニ止ル私費旅行又ハ賜暇中忌引中歸省ハ稟請ヲ要セス縣知事ニ届出テ旅行スルコトヲ得

第三條 稟請及届出ニハ旅行ノ事故日數地名等ヲ詳記スヘシ

第四條 社務ニ由リ旅行スルモノ、外總テ私費ヲ以テ支辨スルモノトス

第五條 旅行ニ關スル從前ノ訓達ハ總テ廢止セララル

右訓令ス(三十一年八月二十五日三第
四八六號ノニテ以テ改正)

●(明治二十年六月二十四日)

本年三月内務省訓令第十五號ヲ以テ官費營繕ハ十九年度限り被廢候得共從前官營ニ屬シタル個所ニ對シ寄附候者ニ限リ詮議ノ上貸與可相成候條右ノ場合ニ於テハ別紙表式ニ倣ヒ取調書御差出可有之此段及御通達候也

第 壹 部 長

三島神社
井伊谷宮
宮司宛
淺間神社
小國神社

寄附物取調表

某神社

寄附金額及物品	造修個所	寄附年月日	本籍住所	族籍姓名
金 何 圓 錢	某所何々新築或ハ修繕	明治 月 年 日	何國何郡何村何番地	華士族平民 官位勳爵 何某
木材或ハ物品 此代金何程	同	同	何國何郡何町何番地 何國何郡何村何番地 地寄留	同
人足何人 此貸金何程	同	同	某神社宮司何某印	同

前記之通相違無之候也

明治 年 月 日

●三第五三一號ノ二 (明治三十一年十月三日)

保存金ヲ受クル官國幣社宮司

社殿建物等改修ノ爲メ各社共通非常臨時營繕費ノ支出ヲ要スル場合ハ其不用ニ屬スヘキ古材其他物件ノ賣却代金ヲ見積リ該金ヲ改修費ニ組込ミ出願スヘキ儀ト心得ヘシ
右訓令ス

●三第七一八號ノ一 (明治三十一年三月八日)

各官國幣社宮司 內務部長通達

臨時祭又ハ私祭其他一時限リノ收入金ヲ以テ直ニ當日ノ諸費ニ支辨スルモノト雖モ總テ一般社入金取扱規則ニ依ルヘキ筈ニ付萬一右規則ノ外特別ノ取扱ヲ要スル儀有之候ハ、其事由ヲ具シ當廳ノ認可ヲ受クヘキ儀ト御心得可有之依命此段及御通達候也

●訓第一號 (明治二十九年八月二十日)

各官國幣社宮司

其社所有ニ係ル版權地所建物國債證券商會社株券ノ類ニシテ向後新ニ登錄シ若クハ登錄ヲ變更スル場合ニ於テハ渾テ社務所ノ名ニ於テ登錄ヲ請クヘキ儀ト心得ヘシ
右訓令ス

●兵第二〇五號 (明治二十九年八月二十日)

宮司宛內務部長通牒

社有財産ニ關スル記名登錄方之儀ニ付別紙訓令相成候處右捺用ノ爲メ調製シタル神社社務所印ハ常ニ宮司ニ於テ嚴重保管シ不取締ノ義無之様御注意可有之且財産ノ増減異動ニ關スル件ハ其登錄以前當所ノ認可ヲ請クヘキハ勿論ニ候條右御心得可有之命ニ依リ此段及御通達候也
退テ別紙訓令ニ關シ調製スヘキ印影ノ儀ハ諸券面等押捺スヘキ部分ニ限界モ有之義ニ付願大ニ

失セサル様御注意可有之此段爲念申添候也

●三第二九一號ノ一 (明治三十二年六月十五日)

各官國幣社宮司

公債社債ノ利子ニ對スル所得稅ニ關シテハ所得稅法施行規則第三十四條ノ規定有之候處社寺所有ニ屬スル公債社債ノ利子ニ對シテハ所得稅ヲ賦課セラレサル筈ニ付從テ無記名公債又ハ社債ヲ有スルニ於テハ同則第三十五條ノ手續ヲ爲スヘキハ勿論ニ候得共若シ右手續ヲナサ、ルトキハ自然其社ノ損失ニ歸スル場合モ可有之候條不都合無之様注意セララルヘシ
右訓令ス

●訓第四號 (明治三十年五月十一日)

各官國幣社宮司

禰宜主典旅行ニ關スル規定左ノ通定ム

第一條 管外旅行ハ縣知事ニ稟請スヘシ但親戚病氣危篤等難擱事務ニテ至急ヲ要スルトキハ宮司ニ於テ承認シ其時々縣知事ニ報告スヘシ

第二條 管内旅行ハ八日以上ハ縣知事ニ稟請シ七日以内ハ宮司ニ於テ承認シ年末ニ縣知事ニ報告スヘシ

第三條 管内外ヲ問ハス私費旅行ニシテ一泊ニ止マルトキハ宮司ノ承認ヲ得テ旅行スルコトヲ得
 第四條 賜暇中私費旅行若クハ忌引中歸省ハ稟請ヲ要セス縣知事ニ届出テ旅行スルコトヲ得
 第五條 稟請及届出ニハ旅行ノ事故日數地名等ヲ詳記シ宮司ノ副申ヲ要ス
 第六條 社務ニ由リ旅行スルモノ、外總テ私費ヲ以テ支辨スルモノトス
 第七條 長旅行ニ關スル從前ノ訓達ハ總テ廢止ス
 右訓令ス

●兵第六八二號 (明治三十年六月八日)

宮司宛内務部長通牒

本年五月十一日訓第三號宮司旅行及訓第四號禰宜主典旅行規定第一條ニ親戚トアルハ祖父母父母
 妻子ニ限ル義ニ候條爲御心得此段及通知候也

●兵第七〇五號 (明治三十年六月十四日)

官國幣社宮司宛内務部長通牒

明治二十年以降官國幣社保存資金トシテ金員ヲ寄附シタル者ハ詮議ノ上貸與可相成候條該當者有
 之節ハ明治二十年六月二十四日付ヲ以テ及通達置候表式ニ依リ取調書御差出可有之依命此段及通
 達候也

追テ二十年以來本年五月迄ノ分ハ此際取調御差出可有之但年賦寄附ノモノハ皆納ノ上調書御差
 出ノ儀ト御心得可有之此段申添候也

●同號 (明治三十年六月十四日)

官國幣社宮司宛内務部長通牒

明治二十年以降官國幣社保存資金トシテ金員等ヲ寄附シタルモノハ詮議ノ上貸與可相成候條該當
 者有之節ハ左記表式ニ據リ取調書御差出可有之依命此段及通達候也

追テ幣社ニ被列候以來本年五月迄ノ分ハ此際取調御差出可有之、但年賦寄附ノモノハ皆納ノ上
 調書御差出ノ儀ト御心得可有之此段申添候也

寄附物取調書

某神社

寄附金額物品	名	稱	寄附年月日	本籍住所	族籍姓名
金	何	圓	錢	保存	資金
			明治	何	何
			月	國	那
			年	郡	何
			日	町	村
				何	番
				華	士
				族	平
				民	
				官	位
				勳	位
				何	某

前記之通無相違候也

明治 年 月 日

某神社(宮)宮司 何 某 團

(備考)年賦寄附金皆納ノ年月日ハ何年月日ヨリ何年月日迄ト記載スルモノトス

一 從來官營ノ個所修繕費又ハ經費補充ノ爲メ金穀財産ヲ寄附シタル者ノ調書モ此書式ニ準ス
ハシ

●第三六五五號ノ一 (明治三十一年六月十五日)

各官國幣社宮司

近來各府縣ニ於テ神社寺院佛堂ヨリ出火シテ烏有ニ歸セシメタルモノ少ナカラス是レ一ハ管理不行届ノ致ス所ニシテ不都合ヲ免カレサル儀ニ有之就テハ平素厚ク注意シ嚴重ニ警戒ヲ加フヘシ
右訓令ス

●乙第三十九號 (明治十一年三月二十日)

區 戶 長

縣社以下神社神輿渡御ノ節供奉ノ者從前甲冑又ハ大紋素袍等着用專ラ古代ノ裝飾ニ摸倣シ神輿ニ供奉致來候舊例有之向ハ其人員ノミ供奉中ニ限リ帶刀不苦候尤其都度最寄警察署へ可爲届出候此旨相達候事但普通祭服着用ノ者帶刀不相成義ハ勿論タルヘシ

●乙第五十二號 (明治十二年四月七日)

各 郡

今般郡制施行ニ付大小區畫相廢シ候處郷社附屬區域之儀ハ先以從前之通可相心得此旨相達候事但シ本文區域内ニ在來ノ無格社ニシテ神官未定之向ハ其郷社社祠官掌ニ於テ受持候儀ト可相心得

得

●甲第四十六號 (明治八年十二月十日)

各大區正副區長

近來諸神社氏子之儀混亂錯雜シ甚シキハ昨日甲社ノ氏子タルモ今日ハ乙社ノ氏子トシ私擅ニ變換候向モ間々有之趣相聞不都合之事ニ候右ハ無謂變換難相成義ニ候條自今取締ノ爲メ今般各社神官ニ於テ一社限リ氏子取調之上更ニ各社氏子取調帳二本ヲ製シ該社氏子ニ相違無之段銘々押印爲致一本ハ其社へ備置一本ハ當廳へ差出此旨神官始各人民へ無漏可相示候此段布達候事

●甲第九十三號 (明治十五年五月十二日)

各町村鎮座氏神ノ儀ハ其土地ニ就キ從來一定ノ區域有之儀ニ付各自ノ信否ニ任セ狼ニ去就スヘキモノニ無之候條町村分合等ニ因リ不得止場合有之甲社ノ氏子一部落舉テ乙社ノ氏子ト相成候節ハ甲乙社神官氏子協議ノ上双方連署ヲ以テ可届出此旨布達候事

●丙第七十八號 (明治十五年十二月二日)

郡 町 村

縣社以下神社附屬ノ講社ニシテ教法部類ニ非ルモノ今後新ニ結集スル者ハ其名稱及方法場所等ヲ詳具シ所轄郡役所ヲ經テ當縣へ可伺出旨各社祠官祠掌へ相達スヘシ此旨相達候事

●庶第六三二號 (明治二十一年五月四日)

郡役所 戸長役場

郷社以下ノ神社ト雖モ例祭日ノ變更ハ届出ノ慣例ニ候處自今不及其儀候條此旨戸長ヨリ各社へ達スヘシ

但縣社ハ從前ノ通伺出ヘキモノトス

●告示第十六號 (明治二十二年四月六日)

縣社以下神社臨時祭ノ執行ハ自今不及出願候條其日時ヲ定メ所轄警察署へ届出ヘシ

●甲第十六號 (明治三十一年六月五日)

郡役所 市役所 町村役場

縣社及郷村社ニアラサル神社ノ社掌ハ其定員ノ認可ヲ請ケタル上推薦スヘキ筈ニ有之處自今無格社ハ社掌一名ヲ定員ト認定候條速ニ適任ノ候補者ヲ推薦スヘキ旨當該社ノ氏子又ハ信徒總代へ達スヘシ

但一社ニ於テ社掌二名以上ヲ置ントスルトキハ認可ヲ請ケシムヘシ

●三五七四三號 (明治三十一年十月四日)

各郡市長 內務部長通牒

縣社以下神職罷免之節ハ後任候補者推薦ニ關スル件被達候處右者自今其都度達不相成候間貴官(職)ニ於テ從前之通り三十日以内ニ推薦スヘキ旨氏子總代へ示達方御取計可有之依命此段及通牒候也

●告第九十號 (明治十六年五月十七日)

神官ハ教導職ノ兼補ヲ被廢候ニ付テハ今後教導職ノ者ヲ以神官トスル儀ハ難相成候條此旨告示候事

但從前教導職兼補ノ祠官掌ハ當分是迄ノ通タルヘシ

●縣令第四十號 (明治三十五年六月十三日)

縣社以下神社神職推薦書式別紙之通改定候條社司社掌欠員ノ神社ハ明治三十五年内務省令第四號ニ依リ左ノ各項ニ照シ其候補者ヲ推薦スヘシ

但神職定員ハ從前ノ通タルヘク最モ以後之ヲ變更セントスル場合ハ氏子(氏子ナキトキハ信徒)總代議定ノ上當廳ノ認可ヲ請フヘシ

一 社司社掌試験ニ及第シタル者、神宮皇學館本科及専科卒業ノ者、皇典講究所學階證書ヲ有スル者、師範學校中學校又ハ高等女學校ノ國史又ハ國文科ノ教員免許狀ヲ有スル者ハ其證書ノ寫ヲ呈ス

- 一 履歷書ハ住所族籍生年月日ヲ始メ賞罰黜陟ヲ詳記スヘシ
- 一 轉任又ハ兼務ノ推薦ハ別紙書式ニ照準シ双方ノ氏子(氏子ナキトキハ信徒)總代連署スヘシ
但土地ノ狀況ニヨリ相當ノ候補者ナク已ムヲ得ス官國幣社神職又ハ小學校教員ヲ推薦ノ
場合ハ官國幣社神職ハ官司ノ承諾書小學校教員ハ郡市長ノ承認書ヲ添付スヘシ
- 一 推薦書ハ市ニ在リテハ市役所町村ニ在リテハ町村役場及郡役所ヲ經由シ差出ヘシ

(別紙)

社司(社掌)推薦書

縣郡(市)(町)村字番地族籍(寄留者ハ原籍並寄留地共肩書スヘシ)

何 某

右者別紙履歷書ノ通りニシテ性行學識共適任ト認メ候ニ付何郡(市)(町)村大小字番地縣(鄉)
(村)(無格)社司(社掌)補欠ノ爲メ候補者トシテ及推薦候條御補命相成度神職取締分所正副長
連署ヲ以テ此段具狀候也

年月日

郡(市)(町)村大小字社格社號氏子總代

郡(市)(町)村字番地

何 某印

(總代ハ三名以上連署スヘシ)

何郡神職取締分所正副長

何 某印

静岡縣知事氏名宛

前番之通推薦ニ付氏子(信徒)總代人名照查ノ上及進達候也

年月日

何郡(市)町村長 氏

名印

●兵第一九六號

(明治三十年四月十九日)

静岡縣神職取締所

自今縣社以下神職ト雖モ其職務上調製スヘキ書面ニハ職名苗字名ヲ彫刻シタル職印ヲ押用シ差支
無之候條此旨社司社掌へ達方取計フヘシ
但職印ハ曲尺方六分ト心得サスヘシ

●郡第十二號

(明治二十九年八月二十二日)

郡 役 所

縣社以下神社所有ノ版權地所建物國債證券商會社株券ノ類増減異動ニ關スル件ハ渾テ當廳ノ認

可テ請クヘキ管ノ處向後右財産ヲ新ニ登録シ若クハ登記ヲ變更スル場合ニ於テハ該神社ノ名ニ於テ登録ヲ請クヘキ旨各社ヘ無漏達シ方取計フヘシ(三十年郡第四號ヲ以テ削除アリ)

●兵第九六三號

(明治二十九年八月二十二日)

神職取締所長宛内務部長通牒

縣社以下神社所有ノ財産ニ關スル登録方之儀ニ付今般別紙寫之通訓令相成候就テハ右採用ノ爲メ調製シタル該社々印ハ常ニ一社ニ於テ嚴重ニ保管ノ方法相立不取締ノ義無之様厚ク注意候様社司社掌ヘ御示諭有之度命ニ依リ此段及御通牒候也

追テ財産登録ノ件ニ付採用ノ爲メ調製スヘキ印影ノ儀ハ該券面等押捺スヘキ分ニ限界モ有之義ニ付願大ニ失セサル様注意セシメラレ度此段申添候也

●乙第十一號

(明治二十四年七月十日)

郡役所 市役所

府縣鄉村社神官奉務規則左之通被改正候條此旨祠官祠堂ヘ達スヘシ

府縣鄉村社神官奉務規則

第一條 神官ハ神明ニ對シ尊崇悃誠ヲ主トシ典例ニ從ヒ各其本務ヲ盡スヘシ

第二條 神官ハ祭祀ノ典則舊來ノ儀式ヲ遵守シ決シテ紛亂スヘカラス其社ノ例祭民俗因襲ノ神賑

等ハ適宜行フコトヲ得

但臨時祭ヲ行ハントスルトキハ所轄警察署又ハ分署ヘ届出ヘシ

第三條 神官ハ人民ノ請求ニ應ジ神符神像等ヲ授クルハ妨ケナシト雖モ苟モ貪汚ノ所爲アルヘカラス

第四條 神官ハ社殿及其境内ヲ清潔ニシ修造取締等常ニ意ヲ注キ舊觀ヲ失墜セス汚穢破損ニ至ラシムヘカラス

第五條 神官ハ神社所藏ノ寶物什器及古文書類ヲ監護シテ散逸セシムヘカラス如何ナル場合ト雖モ賣却讓與又ハ質入書入スヘカラス

第六條 神官ハ神社所有ノ財産ヲ管理シ金穀ヲ出納スヘシ

第七條 神官ハ其管理ニ係ル不動産積立金穀ヲ濫リニ賣却讓與又ハ質入書入スヘカラス若シ不得止必要アルトキハ氏子又ハ信徒ノ協議ヲ經地方廳ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 神社ニ委託山林アルトキハ其栽植伐採其他山林ノ保護ニ注意シ損害ヲ來スカ如キコトナカラシムルヲ要ス

●甲第三十九號

(明治二十四年十二月十二日)

郡役所 市役所 町村役場

神官奉務規則ノ趣旨ニ基キ縣下祠官祠掌會議ノ上別冊ノ通神官取締規約設定候旨申出及認可候此旨心得ヘシ

(別冊ハ三十一年三月改正セシモノヲ掲ク)

静岡縣神職取締規約書

第一章 總 則

第一條 此規約ハ縣社以下神職奉務規則ノ趣旨ニ基キテ設定シ縣知事ノ認可ヲ經社司社掌ノ確守實行スルモノトス

第二條 神職取締所ハ静岡市神部淺間大歳御祖神社々務所内ニ置キ分所ハ各郡役所々轄内便宜ノ地ニ配置ス

第三條 神職取締所ハ縣社以下神職ノ職務ヲ監督シ學術德行ヲ獎勵シ以テ國家ノ宗祀タル神社ノ隆盛ヲ計ルモノトス

第四條 神職取締所ハ縣知事ノ監督ヲ仰キ重大ナル事項ハ經伺若クハ申報スヘキモノトス

第五條 神職取締所經費ハ各神社及神職ヨリ醗集スルモノトシ其賦課方ハ會議ノ決ニ依リテ定ムルモノトス

但本條ノ賦課ハ支出ヲ拒ムコトヲ得ス

第六條 神職取締分所經費ハ前條ノ方法ニ依リ該部内神職會議ノ決ヲ以テ之ヲ定メ本所長ノ認可ヲ得テ施行シ前年度ノ精算ヲ翌年度四月三十日限リ本所長ヘ報告スヘキモノトス

但本條ノ賦課ハ支出ヲ拒ムコトヲ得ス

第二章 職 員

第七條 神職取締所ニ所長副長庶務會計課員ヲ置ク

但所長副長ハ名譽職トシ課員ハ有給トス

第八條 所長副長ハ本縣知事ノ特撰ヲ請フモノトシ課員ハ所長之ヲ命ス

第九條 神職取締所ニ幹事三名評議員十名ヲ置キ名譽職トス

但幹事三名ハ皇典講究分所職員及ヒ神職中ヨリ公撰シ評議員ノ内六名(遠江國三人駿河國二人伊豆國一人)公撰ニ依リ所長之レヲ囑托シ四名ハ所長之レヲ特選ス幹事評議員ノ任期ハ三年トシ再撰スルコトヲ

得

第十條 分所正副長ハ其所部内神職ノ公撰ニ依リ本所長ヨリ知事ニ具申シ知事ノ認可ヲ請フモノトス

但其任期ハ三年トシ再撰スルコトヲ得

第十一條 神職取締所職員ノ進退ハ其都度縣廳ニ届出ルモノトス

第三章 職務

- 第十二條 所長ハ此規約ニ依リ取締所一切ノ事務ヲ主管ス副長ハ所長ノ職務ヲ佐ケ所長事故アルトキハ代理スヘキモノトス其主管要目左ノ如シ
- 一 神職ノ考課及ヒ責任ヲ管理スル事
 - 二 神職奉務上必用ノ件ヲ通達告示スル事
 - 三 神社並神職ノ事ニ關シ意見ヲ縣廳ニ稟議シ又ハ其郡市町村長氏子等へ協議シ又ハ主務官ノ諮詢ニ應シテ意見ヲ陳述スル事
 - 四 神職ヲ召集シ議會ヲ開閉スル事
 - 五 議案ヲ提出シ會議ノ議決ヲ可否シ或ハ再議ニ付スル事
 - 六 神職ノ職務學術ヲ獎勵視察ノ爲メ縣内ヲ巡視シ或ハ幹事評議會ヲシテ巡視セシムル事
 - 七 神職關員ノ神社アルトキハ其分所長ヲシテ屈出テシメ本所ヨリ縣廳へ申報スヘキ事
 - 八 神職ニ補セラレタルモノヨリ神職規約ノ誓約書ヲ差出サシムル事
- 第十三條 幹事ハ正副長ヲ佐ケ事務ヲ處理シ評議員ハ所長ノ諮問ニ答ヘ或ル意見ヲ所長ニ開申スルモノトス
- 第十四條 課員ハ所長ノ命ヲ受ケ庶務ハ會計ヲ分擔スルモノトス

第十五條 各分所ニ於テハ左ノ項目ニ依リ部内ノ事務ヲ處理スルモノトス

- 一 部内神職ヲ會同シ學術禮典ノ研究ヲ爲ス事
- 二 本所經費ハ分所長之レヲ取纏メ納付スル事
- 三 分所長ハ毎年一回部内ヲ巡回シ社司社掌奉務上ノ勤惰等ヲ監査スル事
- 四 神職ニ補セラレタル者ハ拜命後十日以内ニ左ノ書式ニ依リ誓約書ヲ差出サシムル事
但保證人ハ最寄神職トス

誓約書式

某儀何年何月幾日何郡何市何町村社司社掌何神社社司社掌拜命候ニ付神職取締規約ノ條々確守可仕候依テ此段誓約候也

何縣何國何郡何市町村番地族籍
本人 姓 名 印
年 月 日
何縣何國何郡何市町村何神社々司(社掌)
保證人 姓 名 印

静岡縣神職取締所御中

五 部内社司社掌ノ候補者推薦書(轉任兼務共)及退職願ハ分所正副長之ニ連署ス可シ

六 神職進退ハ十日以内ニ該分所長ヨリ本所へ報告スヘシ

但就職者ハ履歴書ヲ添フ可シ

七 各分所ハ何等ノ事故アルモ本所會議ニ議員ヲ出席セシメサルヲ得ス

第十六條 祭典式ハ總テ式部寮編制ノ神社祭式ニ依リ其細目ハ皇典講究所ノ教習スル所ニ依ル

但其社ノ舊式アルモノハ此限ニアラス

第十七條 左ノ各項ニ觸ル、者ハ分所長ニ於テ推薦書ニ連署スルコトヲ得ス

一 瘋癲白痴者

二 未成年者

三 重罪ヲ犯シタル者

四 定役ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル者

五 破産若シハ家資分産ノ宣告ヲ受ケ復權シタル後又ハ身代限りノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ竟

ヘタル後滿一ケ年ヲ經過セサル者

第四章 會議

第十八條 會議ハ本所ニ於テ毎年十一月通常會ヲ開設ス若シ臨時議定ヲ要スルコトアルトキハ臨時會ヲ開クモノトス

但會議出席ノ爲メ要スル往復旅費滞在費等ハ本所ヨリ支辨スルモノトス

第十九條 正副議長ハ本所職員及議員中ヨリ公撰ス、

但其任期ハ滿三年トシ再撰スルコトヲ得

第二十條 議員ハ各分所長正副ノ内一名分所内神職公撰ノ者一名ヲ定員トシ一分所内ニ於テ神職五十名以上ニ及フトキハ公撰議員一名ヲ增加スヘシ

但正副議長共事故アルトキハ部内神職ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第二十一條 評議員ハ議席ニ列スルコトヲ得

第五章 考課

第二十二條 神職ノ職務及ヒ學術獎勵ノ爲メ左ノ考課項目ヲ設ク

一 職務ニ進勉シ維持法ヲ確定シ神社ヲ宏壯ニシ若クハ廢典ヲ興シ或ハ皇道ヲ講明シテ神威ヲ發揮シタル者

二 學力優等ニシテ能ク人ノ師表ト爲リ或ハ有益ナル著述ヲ爲シ斯道ニ効績アル者

三 品行端正ニシテ人ノ模範トナル者

四 二十年以上勤續シ功勞著シキ者

第二十三條 考課ノ成績ヲ賞スル表彰ヲ分チ二等トス一等ハ表彰狀及ヒ物品ヲ付與シ二等ハ表彰

狀ヲ付與ス

第二十四條 凡表彰スヘキ者ハ各分所長ニ於テ其行跡ノ實證ヲ得テ本所ニ具狀シ所長詮衡ノ上之ヲ表彰ス

但表彰セシ者ハ表彰名簿ニ其姓名並ニ事由ヲ詳記シ而後所長ヨリ縣知事ニ上申スルモノトス

第六章 實任

第二十五條 神職奉務規則ヲ遵守スヘキハ勿論ナリト雖モ猶職務ヲ勵マシ品位ヲ正クセンカ爲メ左ノ責任項目ヲ設ク

- 一 社藏ノ寶物什器古文書ノ保存方社記傳記等ハカメテ保管スヘキ事
- 二 維持保存資金ノ類ハ驛遞局若クハ確實ナル銀行等ヘ預クヘキ事
- 三 維持方法未定ノ神社ニ於テハ本縣達(明治十八年三月丙第二十四號全四月號外)ノ趣旨ニ依リ速ニ基本財産ヲ設ク永遠維持ノ方法ヲ立ツヘキ事
- 四 一社財産ノ臺帳並出納ノ簿記等ハ精細明確ニナシ置クヘキ事
- 五 明細圖書什寶古文書目錄等ニ異動ヲ生スル事件ハ縣廳ノ許可ヲ受クヘキ事
- 六 凡神社ニ關スル法令規則及ヒ時々ノ告達等ハ熟知スヘキ事
- 七 御料地又ハ官林ノ委托ヲ請タルトキハ其神職ノ所爲如何ニ依リ一社ノ盛衰ニ影響シ容易ナ

ラサルモノニ付厚ク注意スヘキ事

- 八 神職交迭ノ際社務受渡方等疎漏ナキ様スヘキ事
- 九 例祭臨時祭ニハ相互ニ其祭儀ヲ助ケ合フヘキ事
但其席次ハ齋主ヲ除クノ外就職ノ前後ニ據ル
- 十 社屬講社ヲ結集スル時ハ教會ニ紛レサル様スヘキ事
- 十一 神社經費金ハ氏子總代ト契約書ヲ取換セ後日不都合ナキ様スヘキ事
- 十二 氏子信徒ニ對シ神德 皇恩ハ勿論倫理教育勸業等ノ事ヲ講明説示スル事
- 十三 神社ニ關スル諸書類及ヒ神職ノ履歷書等ヲ保存スヘキ事
- 十四 神典國史禮樂ヲ講明講習スル事
- 十五 宗教ノ教師タルヘカラサル事
- 十六 神社奉務ノ資格ニ依ラス一己信望ノ依頼ニ應シ神葬ヲ取行フハ差支ナシト雖モ葬祭ニ關係シタルトキハ當日神勤ヲ憚ルヘキ事
- 十七 醴集金ノ納期ヲ怠ラサル事
- 第十八條 前條ノ項目ニ觸ル、者アルトキハ各分所長之ヲ懇諭シ尙ホ悛メサルトキハ本所ニ具申シ本所ハ縣廳ニ具狀シテ其處分ヲ請フヘシ

第二十七條 責任項目外ト雖モ凡テ德義上撥斥ヲ受ル所爲アルハ勿論行政上ノ妨害ト認ル者アルトキハ前條ノ手續ヲナスヘシ

第七章 會計

第二十八條 神職取締所經費ハ總則第五條ニ依リ通常會ニ於テ議定シタル金額ヲ以テ之ヲ支辨スヘキモノトス

但例外ノ支出ハ其理由ヲ記シ所長ノ認印ヲ得テ後仕拂フヘシ

第二十九條 事故アリテ多額ノ臨時費ヲ要スルトキハ臨時會ヲ開キ職定スルカ若シクハ本所長ヨリ各分所長ニ諮問スヘキモノトス

第三十條 收支ノ決算ハ毎年五月三十一日限リ各分所ニ報告スヘシ

第三十一條 此規約ノ改正増補ヲ要スルトキハ會議ニ付シ決議ノ上縣知事ノ認可ヲ請フヘキモノトス

●郡第十五號 (明治二十九年九月十二日)

郡役所

縣社以下社司社掌ノ除服並私事旅行ノ取扱方左ノ通心得ヘシ
但之レニ抵觸スル從前ノ令違ハ廢止ス

- 一 忌服中社務ニ差支アリト認ムル節ハ所轄郡長ニ於テ除服ヲ達スル事
- 一 私事旅行其他ノ事故ニ依リ欠勤三十日以内ノ願ハ所轄郡長ニ於テ認可スル事
但三十日以上ニ涉ルモノハ本縣ヘ願出サシムヘシ

●郡第十六號 (明治二十九年九月十五日)

郡役所

縣社以下社司社掌ノ忌服並私事旅行其他ノ事故ニ依リ欠勤三十日以内ニ係ル願ハ其神社所轄郡長ノ認可ヲ請ク其三十日以上ニ及フモノハ本縣ノ許可ヲ請クヘキ旨各社ヘ達スヘシ

●丙第二十四號 (明治十八年三月三十日)

郡 町 村

縣社以下神社經費ノ儀ハ各其氏子若クハ信徒ノ負擔ニ屬スルモノニ付豫テ其準備モ可有之筈ノ處近來社殿等破壊ニ及ヒ殆ント一社ノ躰面ヲ失フ向モ有之哉ノ趣右ハ畢竟豫備ノ完全ナラサルヨリ如此不都合ヲ生シ候儀ニ付各社關係人於テ厚ク注意イタシ該社相當ノ祭典費修復料ハ勿論村社以上ニ在テハ成規ノ通祠官掌ヲモ可差置筈ニ付右給料ニ至迄其定額及支出ノ方法共此際更ニ相定メ永遠維持ノ備方確乎相立別紙書例ニ照準シ一社限リ相認メ關係者連署シ明治十八年九月限無洩樣本縣ニ届出サスヘシ此旨相達候事 (三十一年一月甲第二號ヲ以テ實施方訓令セラレ照スヘシ)

但本文届出ノ後其方法ヲ變更スルモノハ其都度届サスヘシ

(別紙零ス)

●號外 (明治十八年四月十六日)

郡長 戸長

縣社以下神社維持方法定方ノ儀今般丙第二十四號ヲ以テ相違候ニ付テハ夫々計畫ノ途モ可有之候得共右ハ神社保護上最必要ノ儀ニ付萬一是迄ノ慣行ニ泥ミ僅々タル社入等ニ頼リ姑息ノ處置ニ付シ候様ニテハ到底永續ヲ期シ難カルヘク候條凡一ケ年ノ收額縣社ハ貳百圓 郷社ハ百圓 村社ハ五十圓 無格社ハ十圓 以上若クハ各其十倍ノ資本ヲ設クルヲ程度トシ猶實際ヲ查察シ該社相當ノ準備ト認メ難キ限リハ精々説諭ヲ加ヘ永續維持ノ方法ヲ相立サス可シ抑神社ノ儀ハ宗教祠宇ト異リ決シテ放任スヘカラサル筈ニ付キ此際厚ク注意シ保護ノ旨趣貫徹候様致スヘシ此旨及訓示候也

●甲第二號 (明治三十三年一月二十日)

郡役所 市役所 町村役場

縣社以下神社經費收支ノ方法届出方ノ儀ニ付テハ明治十八年三月丙第二十四號ヲ以テ相違シ猶同年四月十六日號外ヲ以テ及訓示置候得共未タ一般實施ニ至ラサル爲メ奉務差支候向モ有之趣右ハ神社職登用規則施行上ニモ差支有之ニ付此際更ニ無漏様各社相當ノ祭典費修繕費神職俸給額ヲ協議決

定シ猶維持資本ヲ明記シ本年三月末日迄ニ別紙書式ニ依リ該社神職氏子總代人氏子ナキ向ハ信徒總代 連署シ市町村長之ニ奥印シ郡ニ在リテハ郡役所ヲ經テ當廳ヘ届出サスヘシ爾後變更シタルトキモ亦同ク届出サスヘシ

但神職欠員ノ向ハ本文届出期日以前ニ推薦セシムヘシ若シ期日內ニ補欠シ難キ事情アル向ハ其旨ヲ付記シ氏子又ハ信徒總代ヨリ届出サスヘシ

(書式)

一社經費收支方法御届

何郡(市)町村大字番地

縣、郷、村、社(無格社) 何 神 社

収入之部 但一ケ年分 課算

所有地 收益

此 譯

一金 何程

耕地反別何程 地 價 金 何 程

宅地反別何程 同

此山林原野等地目限リ記載スヘシ

一金何程

此譯

維持資本金ヨリ生スル利子

金何程

預ケ金

金何程

何公債額面高

此ノ他貸付金又ハ株券等廉限リ記載スヘシ

一金何程

寄付又ハ寄付米穀等拂代金

一金何程

何々社入

一金何程

氏子又ハ信徒或ハ講社何戸ヨリ支辨豫約金

但本項ノ如キ豫約ニ係ルモノハ其收支ノ期日ヲ定メ約定書ヲ作り神職ト爲取替置クヘシ

合金何程

支出之部

但一ヶ年分
豫算

一金何程

祭典料

一金何程

修繕費

一金何程

神職俸給

但縣社ハ社司一名社掌二名郷社ハ社司一名社掌一名村社無格社ハ社掌一名但特ニ定員ノ可ク
得タルモノハ其人員

ヲ要ス且其一員限年俸又ハ月給額及其支給期日ヲ記載スヘシ又土地ノ情況ニ依リ米穀等ヲ

以テ金圓ニ代フルノ定メナルトキハ其種類及數量ヲ記載スヘシ

前項ノ外積立金又ハ豫備費掃除費備給料社務所費等ノ設備アルモノハ悉ク記載スルヲ要ス

但收支共特ニ該社ノ慣例アルモノハ其方法詳記スヘシ

合金何程

前書之通相違無之候間關係人連署致シ此段及御届候也

右氏子又ハ信徒何戸總代(二名以上ヲ要ス)

郡市町村大字番地

明治三十三年 月 日

何 某印

同 上

何 某印

同 上

何 某印

社掌 何

何 某印

社司 何

何 某印

兼務者ハ本務社號職名ヲモ書スヘシ

静岡縣知事宛

前書之通相違無之候也

何郡何町村長(何市長)

何

某印

●三第一〇四六號ノ一 (明治三十一年三月八日)

静岡縣神職取締所

教宗派ニ屬スル教師ニシテ神社ニ於テ布教ヲナス時ハ神社ヲ以テ宗教ニ混同スルノ嫌アリ神社ノ管理上不都合ニ付右等ノ所業無之様取締方一層ノ注意致スヘシ
右訓示ス

●三第一七五〇號ノ一 (明治三十一年六月四日)

各郡市長宛内務部長通牒

郷社以下ノ神社ト雖モ一社ノ轄而ヲ具備シ特別ノ由緒等有之取締上境内ヘ制札建設ノ義願出ル、調査之上御進達有之度依命此段及通牒候也

(別紙)

●三第一七五〇號

静岡縣神職取締所

郷社以下ノ神社ト雖モ一社ノ轄而ヲ具備シ特別ノ由緒等有之取締上境内ヘ制札建設ノ義願出ルニ於テハ可及詮議候條右必要有之神社ハ左ノ廉々ヲ具シ該社神職并ニ氏子總代連署ヲ以テ當處ノ許可ヲ請クヘキ旨社司社掌等ヘ示達方取計フヘシ

制札建設願ニ記載ヲ要スル事項

- 一 社格社號所在地名
- 一 境内坪數并ニ地種立木數
- 一 明治維新以前建設アリタル舊幕府若クハ領主地頭ノ制札面寫
右願ニ添付ヲ要スル圖書
- 一 境内實測 二枚
但社殿建物ノ所在及制札ヲ建設セントスル位置ヲ朱記シタルモノ
- 一 制札建設費ノ豫算并其支出方
但制札ノ圖面并寸尺雨覆木柵等ヲ設クルモノハ其寸尺共
以上

●三第四七一四號 (明治三十一年八月四日)

神職取締所副長宛内務部長通牒

本年七月内務省令第六號ノ件ニ關シ別紙寫ノ通郡市長被及訓示候條右御心得ノ上不都合無之様御注意有之度依命此段及通牒候也(別紙ハ三十二年八月四日等四七一四號ノ一郡市長ヘノ訓示ナリ揭ケテ社寺通規ノ部ニアリ)

●一第二〇六八號ノ一 (明治三十二年八月二十五日)

各官國幣社宮司 内務部長通牒

其社ヘ各國貴族及國務大臣其他文武官等參拜ノ節待遇方ノ儀者從來内國皇族貴族及國務大臣其他文武官等參拜ノ節待遇ノ慣例ニ依リ可然候條右御心得有之度依命此段及通牒候也

第三章 寺院

●乙第八十八號 (明治九年八月二十二日)

各大區々長 各宗教導取締

管下諸寺院諸願伺届中宗名ヲ脱スル向往々有之取調筋差支候條自今總テ宗名記載可爲致此旨相達候事

●甲第二十九號 (明治十七年三月二十六日)

明治九年敎部省第四號布達廢止相成候條自今寺院佛像他管ヘ持出開帳ノ儀ハ該寺住職檀家總代

無

家ノ寺院ハ及本寺法類連署ノ上本山ノ添書ヲ以テ甲乙兩管廳ニ願出ヘシ此旨布達候事
信徒總代 但賣物持出ハ不相成儀ト心得ヘシ

●告示第六十九號 (明治二十一年六月二日)

自今寺院佛堂ノ開扉ヲ爲サントスルトキハ所轄警察署又ハ分署ヘ届出ヘシ

第四章 雜

●甲第一百十一號 (明治十年十一月六日)

神佛混淆ノ儀ハ疊年被廢止候處間ニハ神躰ヲ以テ佛號ニ稱シ或ハ佛像ヲ以テ神號ヲ相稱シ無謂無根ノ浮説妄言等ヲ相傳ヘ民心ヲ眩惑セシメ且加持祈禱杯ト相唱ヘ晝夜衆人ヲ集メ打鼓擊柝大聲讀經病者ノ爲メニ醫療ヲ妨ケ湯藥ヲ差止メ候等ノ所業ニ及候モノモ有之哉ノ趣右ハ一般社寺ニ不拘總テ不相成儀ニテ自然貴重ノ人命ニ關シ衆庶ノ方向ヲ誤ラセ甚以テ不宜儀ニ候條向後右様ノ儀無之様可致此旨布達候事

●甲第六十二號 (明治十一年五月十三日)

從來人民各自ノ信仰ニ依リ神祠佛堂其他神佛ノ像號ヲ彫刻シタル石碑石塔ノ類狼リニ山野路傍ヘ建設候者モ有之趣自今不相成候尤社寺境内ヘ設置ノ分ハ實測圖面相添ヘ其都度可願出候此旨布達

候事

但亡人ノ功跡ヲ追稱センカ爲メ墓地ニアラサル場所へ其碑石ヲ建立スルノ如キモ本文同様願出
ヘシ

●甲第四百四十五號 (明治十五年十二月二十日)

神祠佛堂又ハ神佛ノ像號ヲ彫刻シタル標碑石塔ノ類猥ニ山野路傍等へ建設候儀ハ不相成筭明治十
一年五月本縣甲第六十二號ヲ以テ及布達置候處猶ホ私邸内ヲ除クノ外ハ私有地タリトモ許可ヲ經ス
シテ鳥居若クハ佛門燈臺ノ類建設候儀ハ不相成候條此旨布達候事

●乙第七十八號 (明治十二年五月二十九日)

各 郡

一般社寺ニ於テ菊御紋相用候儀不相成旨明治二年八月御布告之趣モ候處右御布告前神殿佛堂ニ粧
飾シタル分ニ限り其儘存シ置若シカラサル旨公達有之候條爲心得此旨相達候事

● (明治十九年三月二日)

各 郡 長

葬儀ノ儀ニ付曾テ別紙之通内務省へ伺候處朱書之通指令有之候條爲心得此旨及訓示候也

葬儀之儀ニ付伺

第一條 明治十七年太政官第二十五號布達墓地及埋葬取締規則并其細則ニ違背セサル限リハ神佛
各宗ノ教法ニ倚ラスシテ葬儀ヲ行フモ渾テ人民ノ自由ニ任セ施政上之ニ關セサルモノト相心得
可然哉果シテ然ル時ハ明治五年第九十二號公布自葬ノ禁令ハ自ラ消滅ニ屬シ候儀ニ候哉
第二條 前條ノ如ク人民ノ自由ニ放任スル以上ハ葬儀ヲ行フト否トハ徳義上ニ存シ行政上實ルノ
限リニ無之候哉

右ハ目下差掛候儀モ有之候間至急御指令相成度此段相伺候也

朱書 書面伺之通

明治十八年五月十二日

●三第二九九一號ノ二 (明治三十二年六月十五日)

各 郡 市長 内務部長通牒

公債社債ノ利子ニ對スル所得稅ニ關シテハ所得稅法施行規則第三十四條ノ規定有之候處社寺佛堂
祠宇所有ニ屬スル公債社債ノ利子ニ對シテハ所得稅ヲ賦課セラレサル筈ニ付從テ無記名公債又ハ
社債ヲ有スル社寺佛堂祠宇ニ於テハ同則第三十五條ノ手續ヲ爲スヘキハ勿論ニ候ヘトモ若シ右手
續ヲナサ、ルトキハ自然社寺佛堂祠宇ノ損失ニ歸スル場合モ可有之候條此際右ノ趣各社寺佛堂祠
宇へ御注意有之度依命此段及御通牒候也

●乙第三十六號

(明治十三年七月二十九日)

各 郡

社寺所藏之寶物古文書什器等兼テ差出有之目錄帳ニ記載ノ物品ハ明治十年第四十三號公布之通抵當ト爲スヘカラサルハ勿論ニ候得共其他持添之地所建物等渾テ社寺所有之物品ハ當廳ノ認可ヲ得スシテ處分可致筋無之候條不得已シテ賣却若クハ質入抵當ト爲サントスル時ハ神社ハ神官氏子物代二名以上寺院ハ住職檀家物代並本寺法類連署ノ上該宗管長ノ副書ヲ以テ其都度可爲願出此旨相違候事

但氏子檀家無之社寺ハ其地人民總代二名以上連署候儀ト心得ヘシ

●甲第二百二十八號

(明治十四年八月三日)

縣社以下神社并寺院物代人之儀氏子檀家中氏子檀家ナキモハ其町村ノ信徒相應ノ財産ヲ有シ衆望ノ歸スルモノ三名以上相撰ミ戸長役場ヘ届置キ今後該社寺ノ願届等ハ渾テ連署ヲ以テ可差出且社寺收入ノ財産ハ山林ノ所得ハ勿論寶物祈禱葬儀同向料等一切ノ受納物ヲ云其社寺有二屬スヘキモノト其神官住職ニ付スルモノト豫約ヲ定置ヘシ右豫約書ハ每社寺或通ヲ製シ壹通ハ該社寺ニ備置キ壹通ハ當廳ニ可差出爾後之ヲ變更スルトキハ其都度届出ヘシ此旨布達候事

但總代人ハ滿三年毎ニ改撰シ市役所町村役場ヘ届出ヘク尤モ期限中ト雖モ犯罪其他不良ノ所爲

アルトキハ臨時改撰スヘシ此場合ヲ除ク外ハ前總代人再三當撰スルモ妨ナシ(明治十六年甲第八十號及同二十四年縣令第二十八號ヲ以テ更正)

●甲第三十七號

(明治十六年五月二日)

明治十四年本縣甲第二百二十八號布達ニ依リ撰定シタル神社氏子并寺院檀家氏子檀家ナキモハ其町村ノ信徒總代人ノ儀ハ該社寺ノ願届等渾テ連署可致等ノ處其人員多數ナルトキハ便宜ニ依リ該人員ノ内ヨリ更ニ三名以上ノ委員ヲ撰ミ假連署セシムルモ不苦候條右様ノ向ハ豫テ其旨戸長役場ヘ届置クヘシ此旨布達候事

●丁第十二號

(明治二十四年十二月十六日)

市役所 町村役場

明治十四年甲第二百二十八號布達社寺總代人撰舉届ノ儀ハ社寺ノ届ニ屬スルヲ以テ該神官若クハ住職ト現任ノ總代人ト連署シ届出サシムヘキ筋ニ候條此旨心得ヘシ

●丙第三十一號

(明治十五年四月二十九日)

郡 町 村

縣社以下神社祠官祠堂及寺院住職并教導職ノ者又ハ小學校長訓導學務委員其他渾テ職務アル者罪ヲ犯シ裁判所ノ處斷ヲ受タル者檢事ヨリ通知有之候節ハ速ニ其罪狀刑名ヲ詳記シ戸長ヨリ可届出

此旨相違候事(明治十五年丙第四十三號ヲ以テ追加)

●丙第七十二號 (明治十五年十一月十七日)

郡 町 村

縣社以下神社并寺院等創立再興復舊許可ノ分ハ今後滿二年以内ニ建設致スヘク其建物巨大ニシテ工事數年ニ渉ル可キ者ハ更ニ狀ヲ具シ願出許可ヲ受ク可シ其他在來ノ社寺ニシテ變災ニ遭ヒ建物悉皆烏有ニ歸スルモノハ滿五年ニ再建設シ其旨届出ヘシ若シ右期限内ニ建設セサル者ハ一面許可ヲ停メ一面社寺明細帳ヲ削除候條社寺ヘ無漏達スヘシ此旨相違候事

但十二年本縣丙第三十一號達社寺明細書式中氏子信徒ノ次ヘ神官住職又ハ受持ノ項ヲ加ヘ且境外遙拜所招魂社祖靈社ノ書式ヲ廢シ候條都テ社寺ノ書式ニ據ル可キ儀ト心得ヘシ

●號外 (明治十六年五月十日)

縣社以下神社神官并ニ寺院住職ノ儀ハ主トシテ其社寺保全ノ責ニ當ルヘキハ勿論ノ處該社寺ノ所有ニ屬スヘキ財產ト神官住職ニ付スヘキ物トノ區別判然致サ、ル時ハ將來不都合ヲ生スヘキヤモ難計ニ付明治十四年本縣甲第百二十八號ヲ以テ氏子并檀信徒ノ總代人ヲ定メ財產區分等ノ豫約爲致候處右達ノ趣旨ヲ誤解セシヤ社寺ノ財產ハ氏子檀信徒ノ共有ノ如ク專ラ其總代人ニ於テ財產ノ處分ヲナシ爲メニ神官住職ノ職務上ニ差支ヲ生スル向モ有之哉ノ趣甚不都合ノ事ニ候條社寺ニ屬

スル財產ハ該社寺ノ用度ニ供スル外餘賦アルモノハ永遠保持ノ資料トシテ蓄積方法確固相立各公平正實ニ其本分ヲ盡シ總代人ニ於テハ平素神官住職ヲ補翼シ益該社寺ノ盛隆ヲ圖ルヘシ此旨諭達候事

● (明治十九年十月二十七日)

各郡長宛部長通牒

本月十一日訓文第五號ヲ以テ人民ヨリ差出ス該願届等總代之名義ヲ以テスル場合ニ於テ委任狀寫添付之儀訓示相成候處右ノ内人民總代地主總代社寺氏子檀家總代等ノ如キハ當初總代人撰定ノ際委任シアル事件ニ付テハ戶長ニ於テ其旨證明候得ハ其都度委任狀寫添付セサルモ妨無之旨趣ニ候得共時宜ニ因リテハ更ニ徵シ候儀モ可有之候間豫メ御承知戶長ヘモ御示達相成度依命此段及御通牒候也

●兵第七八號 (明治二十四年十月十八日)

郡 市 長

社寺總代人ノ儀ニ付テハ明治十四年八月甲第百二十八號同十六年五月甲第三十七號同年五月十日號外諭達及二十四年縣令第二十八號達ノ次第モ有之處該總代人ニ關シテハ猶左ノ通心得ヘシ
(郡長ヘハ心得ノ下ヘ町村長ヘ達ス)ノ六字ヲ加フ)

社寺總代人ノ員數ハ三名以上ノ成規ナリト雖モ徒ラニ多數ノ總代人ヲ設置シ之カ爲メ事務溢滞セシムル等ノ弊害アリト見認ムルトキハ其社寺ノ狀況ニ從ヒ氏子檀信徒ノ多寡ヲ計リ三名以上ニ於テ適宜總代人ノ員數ヲ指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ當廳ヘ伺出ヘシ(郡長ヘハ當廳以下ヲ町村長ヨリ當廳ヘ伺出サスヘシト改ム)社寺總代人ハ其社寺ノ願届等ニ連署シ神官住職ト常ニ心ヲ協セ該社寺ノ永續保護ニ盡カスヘキハ勿論ナレトモ社寺ノ實務ハ神官住職ノ職任ナルニヨリ總代人ハ神官住職ニ干渉シ社寺ノ實務ヲ妨ケ社寺收入財産ヲ妄リニ他ニ使用スル等ノ所爲アラシムヘカラス

●達第三號 (明治十九年八月十九日)

郡役所 戶長役場

官有社寺境内一時貸下料ノ儀本年七月以後ハ修繕費トシテ該社寺ヘ可下渡候條此旨戶長ヨリ社寺ヘ相達スヘシ

●庶第一百一號 (明治二十一年一月二十三日)

郡役所 戶長役場

神社寺院及佛堂境内立木別紙取調方心得ニ據リ立木調査及圖面ヲ製シ所轄郡役所ヘ差出サセ郡役所於テハ猶精査ノ上無遺漏取纏メ七月三十一日限り當廳ヘ差出スヘシ

(別紙) 社寺境内立木取調方心得

第一條 立木ハ神官住職氏子檀徒氏子檀徒ハ信徒ノ信徒總代立會ノ上目通寸尺及ヒ境内風致木等詳細ニ取調フヘシ

第二條 圖面ハ境内地ノ廣狹ニ依リ何分何間ト定メ成ル可ク一紙内ヘ記載スヘキモノトス

第三條 境内地々形山崖平地ハ朱線ヲ以テ其區域ヲ明了ニスヘシ

第四條 立木ハ木種ニ拘ハラズ目通寸尺ヲ以テ左ノ通類別ス

第一類 目通寸尺ニ拘ハラズ神木及ヒ境内ノ風致トナルヘキ樹木ヲ云フ

第二類 目通一丈以上

第三類 目通五尺以上

第四類 目通一尺未滿

第五類 目通一尺未滿

第五條 番號ハ第一類木ヨリ第四類木迄順次ニ一申トシ第五類木ハ朱點ヲ以テ位置ヲ示シ番號ヲ附スルニ及ハス

第六條 竹林ハ總數及ヒ番號ヲ記載ニ及ハス其區域及ヒ坪數ヲ明記スヘシ

第七條 圖面雛形ハ概略ヲ示シタルモノニ付立木ハ勿論建物位置等渾テ無脱漏樣實測記載スヘシ

(境内立木調査々式等略ス)

●縣令第四十九號 (明治二十二年四月六日)

縣社以下神社及寺院佛堂在來ノ通再築修繕スル儀ハ自今不及出願候條落成ノ上市ニ在リテハ市役所ニ町村ニアリテハ郡役所へ届出ヘシ

但舊形ヲ變換スルモノ及三百年以前ノ建物ヲ改造セントスルトキハ縣廳へ願出ヘシ

●乙第六號 (明治二十二年十一月十九日)

郡役所 市役所

明治十一年^六本縣甲第七十四號布達ニ依リ文明十八年以後創立ノ社寺ニシテ官有地ニ在ルモノ其境内ヲ該社寺へ無代下付民有地ニ組替ノ儀出願ニ依リ許可候向モ有之候得共社寺境内ノ儀ハ元來民有地タリト雖モ許可ヲ得スシテ家屋ヲ建築シ又ハ竹木ヲ伐採スル等不相成筭ニ候條心得違無之樣神官住職氏子檀信徒へ懇篤諭示シ猶今後民有地編入願出候社寺へハ此旨厚ク相心得サス可シ

●乙第十六號 (明治二十四年八月九日)

郡役所 市役所

官有地社寺境内使用及收益規程左之通相定ム

但民有地ノ社寺境内モ本規程ニ準據スヘキモノトス若シ準據シ難キ條項アリト認ムル社寺ハ豫

メ伺出ヘシ

右社寺へ相違スヘシ

官有地社寺境内使用及收益規程

第一條 境内ノ使用ヲ許スハ本規程ニ據リ神事法用風致及取締上ニ障害ナキモノニ限ル

第二條 境内ノ使用ヲ願フモノアルトキハ其社寺ニ於テ知事ノ認可ヲ受テ之ヲ處分スヘシ

但祭典等ニ際シ一時^(一週間)使用スルモノハ知事ノ認可ヲ經ルニ及ハス社寺限リ許諾スルコトヲ得

第三條 立竹木伐採并ニ社寺用若クハ賣却ハ其社寺ニ於テ知事ノ認可ヲ受テ之ヲ處分スヘシ

但縣社以下ノ神社並寺院ノ枯損木障礙木ハ郡市長ノ認可ヲ受クヘシ^(二十五年乙第五號ヲ以テ但書中追加)

第四條 境内ノ雜產物ハ其社寺限リ處分スルコトヲ得

第五條 使用料並ニ竹木其他ノ收益ハ其社寺ノ收入トシ明治十四年本縣甲第二百二十八號布達ニ依リ整理スヘシ

第六條 境内ノ使用ヲ願フモノアルトキハ神官住職及氏子檀信徒^{氏子檀徒ナキモノハ信徒}代ニ於テ左ノ各項ノ

要件并ニ第一條ニ抵觸ノ有無ヲ審査シ支障ナキモノト認ムルモノハ其事狀ヲ具シタル書面ヲ以テ市町村長ノ檢印ヲ受ケ^(寺院ハ管長ノ添書ヲ要シ町村ノ社寺ハ郡役所ヲ經由シ)知事へ伺出ヘシ

但官國幣社ハ其神職ヨリ直ニ知事ヘ伺出ヘシ

- 一 請求人ノ族籍職業姓名年齢但寄留ノモノハ寄留地共
- 一 所要地ノ坪數及位置區域ノ繪圖
- 一 使用ノ目的及期限
- 一 建造物ヲ設ケントスルモノハ其仕様繪圖
- 一 使用料額及納期
- 一 本規程第十四條第十五條第十六條ニ關スル豫約
- 第七條 知事ノ認可ヲ受タルトキハ社寺ヨリ許諾ノ證(並式)使用願人ヘ交付スヘシ
- 第八條 一時使用ノ請求及許諾ニ關スル手續ハ其社寺ニ於テ適宜設定シ第六條ノ順序ヲ經テ知事ヘ届出ヘシ其増減變更ノトキモ亦同シ
- 第九條 境内ヲ他人ニ使用セシムルハ總テ有料タルヘシ
- 第十條 立竹木ヲ伐採スルハ止ムヲ得サル事實アル分ニ限ル其概則左ノ如シ
 - 一 風致保存ニ關スル竹木及目通壹丈以上ノ樹木ハ伐採ヲ許サス
 - 一 樹木ノ目通五尺以上アルモノハ其總數拾分ノ壹目通壹尺以上アルモノハ同ク拾分ノ貳以内伐採ヲ許スコトアルヘシ

但本殿拜殿又ハ本堂庫裏ノ修築用材ニ限ル本項ノ場合ニ於テハ修築仕様書ヲ添付スヘシ

- 一 樹木ノ目通壹尺未満ノモノ培養ノ爲メ拔伐ヲナスノ外伐採ヲ許サス
- 一 竹ハ種類ヲ分タス總數參分ノ壹以内拔伐ヲ許スコトアルヘシ
- 第十一條 賣却シ得ヘキ竹木及雜產物ハ公賣ニ付スヘシ
但其社寺ニ從事スルモノハ買受人タルコトヲ得ス
- 第十二條 竹木伐採等認可ヲ請フトキハ左ノ要件ヲ記載シ第六條ノ順序ニ依リ伺出ヘシ
 - 一 伐採ヲ要スル竹木ノ名稱本數長目通寸尺番號竹及目通壹尺未満ノ樹木ハ寸尺ヲ除ク
 - 一 現在立竹木同種類ノ總數
 - 一 伐採ヲ要スル事由又使用等ノ目的
 - 一 枯損木ハ名稱本數幹枝ノ別及寸尺朽枯風損等ノ現狀幹ニシテ全部ノモノハ目通及長幾部分ノモノハ元口周圍及長枝ハ元口周圍及長
 - 一 障礙木ハ名稱本數幹枝ノ別及寸尺障礙ノ事故寸尺測リ方前項ニ同シ
- 第十三條 神官住職及氏子檀徒惣代ハ常ニ其社寺境内ノ風致及取締上ニ注意シ相當ノ保護ヲ爲スヘシ
- 第十四條 境内ヲ使用スルモノハ其風致及取締上ニ障害ヲ及ホサハルコトニ注意シ故意ハ勿論過失ニテモ避クヘカラサル場合ヲ除クノ外境内ノ損害ヲ生セシメタルトキハ相當補償ノ責ニ任ス

ルモノトス

第十五條 境内ヲ使用スルモノニシテ其場所ノ社寺ノ不利益ニ變更シ又ハ汚穢ノ構造ヲ爲シ若シクハ住居シ又ハ宿泊セシムル等總テ風致及取締上ニ障害ヲ及ホス所爲アルヘカラス若シ其所爲アルトキハ何時ニテモ其改良ヲ命シ又ハ使用ヲ禁止スルコトヲ得

第十六條 神事法用等ニ付使用許諾地ノ必要ヲ生シタルトキハ社寺ヨリ其事由ヲ使用者ニ豫告シ相當ノ定期内ニ使用ヲ止メシムルコトヲ得

第十七條 前三條ノ處分ヲ要スルトキハ其社寺ヨリ第六條ノ順序ニ依リ知事ヘ何出認可ヲ受テ之ヲ施行スヘシ

但危險等知事ノ認可ヲ經ル暇マナキ場合ニ於テハ社寺限リ處分シテ報告スルコトヲ得

第十八條 使用ノ繼續ハ其都度初約同様ノ手續ヲ爲シ使用ノ解約(一時使用ハ)及雜産物ノ處分ハ其一夕年分ノ顛末ヲ翌年一月中ニ第六條ノ順序ニ依リ知事ヘ届出ヘシ

●告示第三十九號 (明治二十四年八月九日)

社寺境内ヲ使用セント欲スルモノハ該社寺ニ就キ官有地社寺境内使用及收益規程ニ照準シテ請求スヘシ

●乙第三號 (明治三十一年六月十六日)

郡役所 市役所

近來各府縣ニ於テ神社寺院佛堂ヨリ出火シテ烏有ニ歸セシメタルモノ少ナカラス是レ一ハ管理不行届ノ致ス所ニシテ不都合ヲ免カレサル儀ニ有之就テハ平素厚ク注意シ嚴重ニ警戒ヲ加フヘキ旨縣社以下神社并ニ寺院佛堂ヘ示達方取計フヘシ

●三第四七一四號ノ一 (明治三十一年八月四日)

本年^七内務省令第六號發布相成候ニ付テハ神社寺院佛堂ニ於テ參拜者ノ任意ノ糞物ノ外殿堂庭園什寶物等ヲ觀覽セシムル爲メ若クハ參籠又ハ案内ヲ請フ者ニ對シ料金ヲ徵收セントスルトキハ其事由及料金額并ニ該金使用目的ヲ具シ當所ヘ願出許可ヲ受クヘキ筈ニ付縣社以下ノ神社寺院佛堂中該當ノ向ヘ示達シ不都合ナキ様注意セラレヘシ

但氏子檀信徒ノ外ヨリ寄附金等募集ノ儀ハ明治二十九年^二本縣令第十一號ノ手續ニ依ラシメラルヘシ

右及訓示候也

●三第四〇一九號 (明治三十一年五月三十一日)

官幣大社三島神社外一社九ヶ寺

古社寺保存金管理規程左ノ通相定メ候條其社(寺)保存金蓄積方右ニ依リ整理スヘキ儀ト心得ヘシ

古社寺保存金管理規程

- 第一條 保存金元資（内務省又ハ宮内省ヨリ下付ノ金額ト該社寺ノ設備シタル維持資金トヲ合セタルモノヲ謂フ）ハ永久蓄積スヘキモノナルニ付支消スルコトヲ得ス但天災若クハ非常ノ事變ニ依リ支出ヲ要スルトキハ本縣廳ノ許可ヲ請クヘキモノトス
- 第二條 保存金ハ公債證書又ハ地所ヲ購入スヘキモノトス
- 第三條 公債證券等保管ノ爲メ又ハ保存金ヲ金庫若クハ銀行等ヘ預ク入レントスルトキハ其預ケ入引出トモ其都度本縣知事又ハ其代理者ノ副書ヲ請クヘキモノトス
- 第四條 保存金ヲ貸與セントスルトキハ其契約及ヒ抵當物件ヲ詳具シ本縣廳ノ認可ヲ請クヘキモノトス
- 第五條 保存金ニ存スル地所登記書其他債券書類ノ保格ハ神社ハ其神職氏子總代（官國幣社ハ氏子總代ヲ要セス）寺院ハ住職檀家總代ノ連帶責任タルヘキモノトス
- 第六條 保存金ハ別ニ彙帳ヲ備置現在高及保貯ノ種類ヲ區別シ收支ノ都度必明記シ置クヘキモノトス
- 第七條 保存金ヨリ生スル一切ノ收利ハ該社寺保存上經營ノ爲メ十分ノ八以内使用スルコトヲ得其ノ十分ノ二以上ハ元資ニ加ヘテ増殖ヲ計ルヘキモノトス

第八條 保存金ヨリ生シタル收益ヲ使用シタルトキハ該用途ヲ判明ニシ其支出ニ對スル正當領收證ヲ取置クヘキモノトス

第九條 保存金蓄積ノ異動及ヒ其收益收支ノ計算ハ一ケ年毎ニ取調翌年一月二十日限り本縣廳ヘ報告スヘキモノトス

第十條 前條々ニ違由シ難キ場合ニ於テハ其事由ヲ具シテ本縣廳ノ指揮ヲ請クヘシ

第十一條 保存金保貯ノ實況及其收支ノ帳簿ハ臨時縣官ヲ派出シ檢査セシムルコトアルヘシ

●訓令乙第六號 （明治三十三年十一月十六日）

郡役所 市役所 町村役場 縣社以下神社 寺院 佛堂

今般宮内省告示第十一號ヲ以テ社寺上地御料林野特賣規程告示相成候ニ付テハ當該社寺ニ於テハ期ヲ失セサル様出願ノ準備可有之候得共右許可相成候上ハ其社寺ノ財産ナルニ付濫ニ伐木又ハ賣買等爲スヘカラサルニ付社寺ノ利害ヲ顧ミスシテ他人ト結托シ拂下許可後ノ處置ヲ豫約シ社寺永遠ノ利益ヲ失フ様ノ事有之テハ社寺保護ノ主旨ニ戻リ神職住職ノ職責上不問ニ付シ難キ筋ニ付氏子檀家信徒ニ於テモ不都合無之様厚ク留意シ左ノ通心得ヘシ

- 一 社寺佛堂ニ於テ其上地御料林野拂下ヲ出願シタル時ハ同時ニ其願書ノ寫ヲ添ヘ該拂下代金支出方ヲ記載シ所屬町村役場郡役所ヲ經テ當廳ヘ届出ヘシ

一 前項拂下願許可相成タルトキ又ハ許可セラレサルトキニ於テモ亦同ク届出ヘシ
一 境外佛堂ヨリ拂下出願ノ場合ハ其維持者タル受持僧侶ト信徒總代三名以上連署スヘキ儀ト心得ヘシ

一 社寺又ハ佛堂ニ於テ債務者タラントスルトキハ其理由ヲ具シ當廳ノ許可ヲ請フヘシ
一 第三六八九號ノ一 (明治三十四年八月九日) 各郡市長 内務部長通牒

神佛道以外ノ宗教ニ關シテハ三十二年内務省令第四十一號ノ規定有之候處近來往々届出ヲ爲サスシテ宣教ニ從事シ或ハ許可ヲ經スシテ會堂講議所等ヲ設立移轉シ又ハ届出ヲ爲サスシテ廢止スルモノ有之趣ニ相聞ヘ不都合ノ次第ニ付御取調ノ上萬一如此モノ有之候ハ、相當手續セシメラレ度依命此段申進候也

一 第二六五七號ノ一 (明治三十五年六月二十一日)

各郡市長 内務部長通牒

社寺筋塀之儀ニ付テハ先例アル社寺ニ於テ築造候ハ差支無之尙ホ現行法令上別段制限ハ無之候得共無謂相用候儀ハ如何ノ事カト被存候趣其筋ヨリ申越ノ次第モ有之候條御了知ノ上御注意相成度依命此段及通牒候也

第五章 敎院敎會所

兵第二七七號 (明治二十一年二月五日)

各郡市長宛内務部長通牒

敎院敎會所又ハ說敎所ニ於テ祭典法用執行等之儀ニ付別紙寫之通神道佛道各敎宗管長ヘ通達相成候ニ付テハ嚴重ニ取締ヲ爲スヘキ旨内務省ヨリ通牒有之候ニ付右ニ違犯候者無之様取締上一層御注意相成度依命此段及通牒候也

(別紙)

社甲第六號

敎院敎會所又ハ說敎所ニ於テ其祭神若クハ安置佛ノ爲メニスル場合ノ外ハ祭典法用ヲ執行スルコトヲ得ス且其祭典法用ノ時タルト平時タルト間ハス社寺及祠宇ニ類似スル裝飾ヲ爲シ衆庶ヲ參拜セシムル等ハ不相成儀ニ有之又敎師ハ敎院敎會所又ハ說敎所ニ居住スルモノ、外ハ自宅ニ多衆ヲ集メ說敎ヲ爲スヲ得サル次第ニ有之候條不都合ノ行爲等無之様派内ヘ通達ノ上嚴重取締有之度依命此段及通牒候也

明治二十八年二月廿八日

社 事 局 長

神佛各宗派管長宛

第五編 庶務

第一章 寄留

●訓兵第一號 (明治二十年一月七日)

陸軍校團生徒隊ニ屬スル馬丁ハ普通官舎内ニ寄留スル者ト異ナルニ付本籍地ニ於テハ備入又ハ解備ノ通知若クハ本人ノ届書受領シタルトキハ戸籍取扱手續ニ依リ出寄留簿ヲ加除シ戸籍調製ノ節ハ之ヲ第二人口出入表出寄留ニ算入スヘシ

●縣令第一號 (明治二十年一月十二日)

明治五年正月第四號布告第八項中一郡内寄留スル者ハ自後左ノ各條ニ據リ届出ヘシ

第一條 一郡内甲町村ヨリ乙町村へ寄留シタルトキハ自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ他人ノ所有地若クハ自己又ハ他人ノ借地借家ニ於テハ寄留者及地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地戸長ニ届出且同時ニ本籍地戸長ニ届出若クハ届書ヲ發送スヘシ (明治二十年四月
縣令第二十三號
ヲ以テ削除訂正)

第二條 寄留地ヲ去ルトキ自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ其他ニ於テハ地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地戸長へ届出ヘシ

第三條 寄留者本籍地ニ歸リタルトキハ戸主又ハ本人ヨリ十日以内ニ届出ツヘシ

●達第二號 (明治二十年一月十二日)

郡役所 市役所

今般縣令第一號ヲ以テ同郡内寄留者届出方相定候ニ付テハ該名簿ヲ調製シ他郡出入寄留ニ準シ取扱フヘシ

●甲第十一號 (明治二十九年六月十三日)

郡役所 市役所 町村役場

明治十九年九月内務省令第十九號ニ依ル寄留者復歸届取扱方左ノ通心得ヘシ

- 一 入寄留ノ届出アルトキハ戸籍取扱手續第二十條ノ手續ヲ了シタル後其届書ニ年月日登記簿ノ旨ヲ記入シ其職印ヲ捺捺シ直ニ之ヲ寄留人本籍地ノ市長東京京都大阪ノ三市ニ在テハ區長以下同シ 町村長ニ送付スヘシ
- 一 出寄留ノ届出アルトキハ戸籍取扱手續第二十三條ノ手續ヲ了シタル後前項寄留地ヨリ發送ノ届書到達スヘキ日數ヲ經タルモ猶到達セザルトキハ其出寄留書ニ前項ノ如ク記入捺印シ之ヲ寄留地ノ市長村長ニ送附スヘシ
- 一 寄留者本籍ニ歸リタル届出アルトキハ戸籍取扱手續第二十四條ノ手續ヲ了シタル後其届書

ニ前項ノ如ク記入捺印シ直ニ之ヲ其元寄留地ノ市町村長ニ送附スヘシ

一 甲地本籍人ニシテ乙地ニ寄留ノ者乙地ヲ退去シ更ニ丙地へ寄留ノ届出ヲ爲ストキハ甲本籍地市町村長ハ其趣ヲ乙地市町村長へ通知スヘシ(明治三十年甲第
六號ヲ以テ改正)

一 寄留者ノ出産死亡モ前諸項ニ準シ取扱フヘシ(明治二十九年甲第
十五號ヲ以テ追加)

但此場合ニ在リテハ出産若クハ死亡届書ノ謄本ヲ送附スルト出産死亡届出ノ旨ヲ通知スルキハ便宜タルヘシ

一 前諸項届書ノ送附ヲ受クヘキ市町村長ハ出寄留入寄留又ハ退去ノ届出ヲ怠ルモノナキヤ否ニ注意シ時宜ニ依リテハ本人又ハ地主家主等ヲ喚問シ又ハ警察官ニ取調ヲ囑托シ一層ノ整理ヲ計ルヘシ(全上)

一 市役所町村役場ニ於テハ外國渡航名簿ヲ調製シ渡航又ハ歸朝ノ届出アリタルトキハ戸籍取扱手續第二十三條出寄留簿及第二十四條出寄留者復歸記載例ニ依リ取扱ヒ其届書ハ總テ便宜編綴保存スヘシ(全上)

●丙第十七號 (明治十八年二月二十日)

寄留人ニ係ル願届ノ内郡長又ハ戸長ノ取扱ニ屬スルモノハ處分濟ノ上其旨本籍郡區長又ハ戸長ニ通報可及儀ト可相心得此旨相達候事

但本籍ノ地所ニ係ル等ノ如キ實地取調ノ上ニ無之候テハ難及取扱事件ハ本籍官衙ニ協議ノ上便宜ノ官衙ニ於テ取扱フヘシ

●達第二十五號 (明治十九年十一月十日)

郡役所 戸長役場

内務省令第十九號第五條俱書ニ依リ本籍外ノ者ヨリ差出シタル届書ハ左ノ如ク取扱フヘシ

一 寄留者ニ係ル届書ハ寄留簿ニ登記シタル上入寄留届書ト合綴スヘシ但出産ニ於テハ別ニ入寄留届ヲ爲サシムルニ及ハス

一 寄留者ニ非サルモノ、届書ハ總テ便宜編綴スヘシ

同令第六條ノ入寄留届書第七條ノ寄留者退去届書及第八條ノ寄留者復歸届書ハ類集編綴スヘシ

●達第二十八號 (明治十九年十一月十八日)

郡役所 戸長役場

内務省令第二十二號戸籍取扱手續第二條第十五條ニ依リ郡役所ニ納ムル處ノ戸籍簿副本及諸届ハ之ヲ保存スルニ止メ加除異動ヲ登記スルニ及ハス又寄留ニ關スル届書ハ郡役所へ差出スニ及ハス

●訓兵第一號 (明治十九年十二月二十八日)

戸 長

内務省令第十九號第六條ニ依リ寄留ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ公使館領事館又ハ寄留地外國人所有之家屋ニ寄留シタル者ハ本人(幼者ハ後見人又ハ親族)ノ届出ノミヲ以テ本籍地へ復歸又ハ更ニ他へ寄留シタルノ届書ヲ本籍戸長ニ於テ受領シタル時ハ其旨該戸長ヨリ前寄留地ノ戸長へ通報スヘシ
右訓示ス

第二章 棄兒

●兵第一七九一號 (明治二十一年十一月二十一日)

郡役所

棄兒養育米ノ外町村費ヲ以テ補助致シ來リ候向ハ其棄兒姓名年齢并ニ補助金額明治二十一年分取調來ル十二月二十五日限リ差出スヘシ

但自今新ニ補助シタル金額又ハ補助ヲ止メタルモノハ其都度無遺洩届出サスヘシ

●訓令甲第六號 (明治二十二年二月二十七日)

郡役所 戸長役場

迷兒ハ棄兒ニ準シ取扱ヒ家元發見シ若シ其費用辨償ノ資力ナキトキハ養育費ヨリ支給ス

●訓令乙第二十二號 (明治二十一年五月三十日)

郡役所

棄兒養育及窮民恤救米石代金交付期日ノ儀渡月十日ヲ期限ト相定交付期限以前本人病死等ノ分ハ該日迄日割ヲ以テ給與候義ト心得ヘシ且該石代算出ニ用ユヘキ前月中下米平均相場調書ハ毎月五日迄ニ町村役場ヨリ所轄郡役所へ差出サシムヘシ(三十一年十二月郡第四號ヲ以テ本令中改正)
但明治十三年乙第六十號達廢止ス

●乙第九十六號 (明治十年十一月十二日)

自今預リ貰受ニ不拘十三年未滿ノ棄兒死失等ノ節ハ巡查一名派出爲見届候條最寄警察分署及所屬戸長へ爲届出巡查ノ見届相濟候上區長ノ手ヲ經縣廳へ可届出様可致此旨相達候事

第三章 救濟

●號外 (明治十九年七月二十九日)

郡役所 戸長役場

恤救願書取扱手續自今左ノ通相定ム

但從前本縣ノ諸達指令等本達ニ抵觸スルモノハ總テ廢止ス

恤救願書取扱手續

第一條 無告ノ窮民疾病老衰等ノ事故ニ依リ救助ヲ出願セントスル者アルトキハ其願書ハ戸主
(一時戸主ヲ欠クモノ又ハ戸主逃亡等不在中ニ係ルモノハ其本人及ヒ幼稚者ハ後見人或ハ隣佑
ノ者)ヨリ事情及住所身分職業等ヲ詳記差出サシムヘシ

第二條 前條願書ニハ左ノ各項ニ記セル書類ヲ添付セシムヘシ但親屬及財産ナキ者ハ願文中其旨
ヲ記セシムルモノトス

第一項 本人財産調書

地所 地目反別地 建物 住家不住家ノ別ナク開口奥行ノ間尺及瓦葺葺葺並ニ棟數 夜具衣類及農工商具 凡ソ金五拾錢以上ノ價アル物品一稱類毎ノ數 類ヲ記スル
モノ但質入書入ト爲リタル物ハ其債主ノ住所姓名ヲ付記スルヲ要ス

第二項 親屬財産調書

並ニ親族ト記スルハ實養父母、實養子女、配偶者ノ子女、實養兄弟姊妹、實養祖父母、實養孫、實養叔伯父母、實養甥姪、及本家分家等ヲ云フ

親屬一人毎ニ其所有ノ地所建物船舶諸公債諸株券 反別間尺數量 及住所姓名身分職業ヲ記シ捺印
シタルモノ但質入書入ト爲リタルモノハ前項ニ準ス

第三項 隣佑證明書

隣佑戸主三名以上連署シ出願者出願ノ事情無相違旨ヲ證明シ住所姓名ヲ記シ捺印シタルモノ

第四項 醫師診斷書

體質、病名、症候、原因、經過、療法、豫後ヲ詳記シ就中豫後ニハ癱疾又ハ凡ソ何程經過スレハ全

治輕快スルカ又ハ生業ヲ爲ス能ハサルヤ否ヤヲ診定シ住所姓名職業ヲ記シ捺印シタルモノ但
老衰、白痴、不具者ノ如キハ單ニ生業ヲ爲ス能ハサルヤ否ヤヲ記セル鑑定書

第三條 前條ニ據リ願書ヲ差出シタルトキハ戸長ハ之ヲ調査シ相違ナキニ於テハ之ニ戸籍寫二通
ヲ添付シ成規ノ順序ヲ以テ差出スヘシ

第三號 (明治三十年八月十一日)

警察署 警察分署

明治七年第百六十二號公達恤救規則ニ依リ本縣ニ於テ救助施行ノ者逐年増加候處有者假令七十年
以上又ハ癱疾不具ノ者タリトモ其業務ニ依リテハ生計ノ道相立者ナシトセス况ンヤ疾病者ノ治療
又ハ幼弱ノ者ト雖モ隣佑故舊等ノ慈善援助ヲ得ルモ尙依然官恤ヲ請ケ居候様ニテハ恤窮ノ趣旨ニ
乖戾スルノミナラス却テ懶惰偷安ノ弊ヲ生シ不相濟義ニ付平素被恤救者ノ狀況ヲ查察シ官給ヲ廢
停スルモ敢テ無差支モノト認ムル者有之節ハ速ニ其狀況ヲ申報スヘシ

兵第八五二號 (明治三十年八月十一日)

郡市長宛內務部長通牒

恤救施行中ノ者查察方之義ニ付今般別紙第三號ノ通各警察署及分署へ達シ相成候條右御心得之
上爾後恤救願出候者被聞届候節ハ其事項并ニ族籍氏名年齡其所轄警察署へ御移牒可有之依命此段

御達候也

及追テ恤救者名ハ現在ノ者此際警察署及分署へ御通牒相成度候也

●甲第三十二號

(明治二十四年七月二十八日)

郡役所 市役所 町村役場

被恤救者ノ死亡其他ニ據リ給與解除ニ屬スル届出ノ義ハ戸主又ハ關係人ヨリノ届出ニ拘ハラズ市町村長ニ於テハ平素注意シ疾病快癒又ハ戸籍上異動アルトキハ勿論死亡届ヲ受領シタルトキハ直ニ當廳へ報告スヘシ

●會第一三六三號

(明治二十四年十二月二十四日)

郡市長宛内務部長通牒

市制町村制ニ關スル事項ニ付左ノ通省議決定ノ旨内務書記官ヨリ通牒ニ付爲御心得及移牒候也

- 一 市町村長ニ於テ取扱フ行旅病人(明治十五年第四十九號布告)傳染病ニ罹リタル赤貧患者明治十六年太政官第八號達及行旅病人ニ關スル事務ハ市制第七十四條町村制第六十九條ニ依ルモノニシテ右ニ關スル費用ハ一時市町村ニ於テ繰替ヘキモノトス

●甲第十四號

(明治三十二年六月二十日)

郡役所 市役所 町村役場

明治三十二年法律第九十三號行旅病人及行旅死亡人取扱法ニ依ル救護取扱ニ關スル手續左ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス

但明治二十四年九月甲第三十四號達其他本文達ニ抵觸スル令達ハ總テ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

救護取扱ニ關スル手續

第一條 住所地府縣ナキカ又ハ分明ナラサル行旅病人ヲ救護シタルトキハ其事由ヲ具シ醫師診斷書及該費用計算書并ニ正當領收證ヲ添ヘ當該市長村長ヨリ縣廳へ請求スヘシ

但救護三十日以上ニ及フトキハ其狀況ヲ具シ縣廳ノ指揮ヲ請クヘシ

第二條 住所地府縣ナキカ又ハ分明ナラサル行旅死亡人ノ假埋葬ヲ取扱ヒタルトキ公告後六十日ヲ經過スルモ仍相續人若クハ扶養義務者分明ナラサルトキハ市町村長ハ該取扱費用計算書及正當領收證ヲ添ヘ縣廳へ請求スヘシ

但倒死變死又ハ死体發見シタルトキハ警察官ノ檢視ヲ請ケタル後埋葬シ其費用計算書ニハ警察官ノ檢印ヲ請クルヲ要ス

第三條 行旅病人及行旅死亡人ニシテ其住所地北海道又ハ沖繩縣ニ屬スルトキハ市町村長ハ其旨申出縣廳ノ指揮ヲ請クヘシ

第四條 行旅病人及其ノ同伴者ノ救護ヲ公私ノ施設又ハ私人ニ委託シタルトキハ其ノ事情ヲ詳記

シ縣廳へ報告スヘシ

第五條 管下住民ニシテ行旅中他市町村ニ於テ病ニ罹リ若クハ死亡シ其ノ地ノ救護又ハ取扱ヲ受ケタルモ相續人及扶養義務者等引取ヲ爲ス者ナク又ハ其ノ費用ヲ辨償スル者ナキトキハ住所地球ル市町村長ヨリ其ノ事由ヲ具シ計算書并ニ戸籍謄本及診斷書又ハ檢案書ヲ添へ縣廳ノ指揮ヲ請クヘシ

第六條 住所地府縣ナキカ又ハ分明ナラサル行旅死亡人ノ遺留物件ハ明細目錄ヲ作り置キ公告後六十日ヲ經過スルモ仍引取人ナキトキハ之ヲ賣却シ取扱費用ノ辨償ニ充テ尙殘餘アルトキハ物品賣却明細書及取扱費ノ任譯書ヲ添へ縣廳へ差出スヘシ

但遺留物件ニシテ見積價格金拾圓未滿ナルトキハ隨意契約ニ依リ之ヲ賣却スヘシ

第七條 行旅病人行旅死亡人又ハ其同行者取扱ニ關シ市町村費ヲ以テ繰替フヘキ費用ノ限度ハ左ノ如シ

但左ノ費目外特ニ費用ヲ要シタルトキハ其事由ヲ詳記スヘシ

行旅病人救護費

- 一 醫師診察料 一回 金貳拾錢以內
- 一 同 手術料 醫師ノ申請ニ依ル

一同 旅 費

但往復陸路六里以上涼車十二哩以上ナルトキハ日當一日分金五拾錢ヲ支給ス

車馬賃一里拾五錢、涼車賃一哩四錢

一同 診斷書料

金參拾錢以內

一藥 價

一方一日分 金六錢以內

但療養ニ關スル必要品アルトキハ其實費

一看護人手當

一晝夜 金參拾錢以內

一被服寢具料

全 上 金貳錢以內

一食 料

一日分 金拾貳錢以內

一小屋 掛料

金壹圓以內

但借家スルトキハ一ヶ月金五拾錢以內病院へ入院ヲ要スルトキハ該院入院料ノ最低額ニ依

ルヘシ

右項目ノ外護送運搬又ハ薪炭油等病人ノ爲メ特ニ要スルトキハ其實費

行旅死亡人取扱費

- 一 死体檢案料及檢案書料共 金五拾錢以內
- 一 死者看守人二人以內 一晝夜一人 金參拾錢以內

金壹圓以內 火葬ヲ要スルトキハ金五拾錢ヲ增加スルコトヲ得

一假 埋葬費

但棺桶越細摺樁墓標蠟燭薪埋葬穴堀人足賃共一式

一揭 示 札

金五錢以內

一官報又ハ新聞紙公告料二日分實費

但外國人ニ係ルモノ官報其他ハ内國新聞紙ニ公告スヘシ

右ノ外特ニ必要ノ支出ヲ要スルトキハ可成費額嵩マサル様取扱フヘシ

一行旅病人又ハ行旅死亡人若クハ同伴者ニ要シタル費用ノ計算書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

但行旅病人救護費同々伴者ニ係ル救護費死亡人取扱費ハ區別スルヲ要ス

費用仕譯書

一金 何 程

行旅病人救護費 (同伴者救護費行旅死亡人取扱費)

是者何年月日ヨリ何年月日迄住所不詳行旅病人何某救護費

(住所居所又ハ氏名不相分行旅死亡人 男假埋葬費) (又ハ行旅病人何某ノ同伴者何某ニ係ル

救護費)

(此譯客ス)

●第一七九九號ノ一

(明治三十二年七月十七日)

郡市町村長

外國人タル行旅病人行旅死亡人及同伴者並其所持物件若ハ遺留物件取扱ニ關シ法令ノ外別段ノ條約アルモノハ其條約ニ揭クル規定ニ依リ之ヲ取扱フヘキ等ニ有之候處目下右ニ關セルモノハ明治二十九年十一月十九日公布日獨領事職務條約及同三十年七月二十四日公布日白領事職務條約ノミニ有之候間臨時其處分ニ際シ機宜ヲ誤ラサル様措置セラレヘシ
但本文領事職務條約中行旅死亡人ニ關スル取扱方ハ該條約國ニ限り其以外ノ外國人ニハ均霑セサルヘシ

右訓示ス

第六編 土 木

第一章 土木及工費

◎縣令第七十三號

(明治二十九年十月十六日)

土木施行規則左ノ通定ム

第一章 總 則

第一條 此規則ニ於テ土木工事ト稱スルハ河川港灣堤防道路橋梁用悪水路溜池樋閘堰埭水而埋立等ニ關スル總テノ工事ヲ謂フ

第二條 河川港灣堤防道路橋梁ニ關スル土木工事ヲ大別シテ左ノ三種トス

- 一 第一種 地方税ヲ以テ支辨スルモノ
 - 二 第二種 地方税ヲ以テ補助スルモノ
 - 三 第三種 地方税ノ補助ナキモノ
- 第三條 前條工事ノ施行ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 第一種ハ縣廳ニ於テ之ヲ施行ス
- 二 第二種ハ郡市町村公共組合ニ於テ之ヲ施行ス

三 第三種ハ郡市町村公共組合又ハ私人ニ於テ之ヲ施行ス

第四條 左ニ記載スル工事ハ縣廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ施行スルヲ得ス但明治二十九年八月縣令第五十六號第八第九第十ニ依リ郡長ニ分任セルモノハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

一 第二種ニ屬スル工事

二 第一種第二種ニ關係アル土木工事並第三種及用悪水路溜池ノ新築變更工事

三 水面埋立ニ關スル工事

四 工費償却ノ方法ヲ以テ施行スル道路橋梁運河等ノ工事

第五條 地方税ノ補助ナキ河川ニ設ル樋閘堰埭並水カヲ利用センカ爲ニ設クル水路ノ新設變更工事ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ但利害ノ關係二郡以上ニ涉ルモノ及郡長管理ニ屬スルモノハ縣廳ノ許可ヲ受クヘシ

田地ノ用水缺乏ノ場合ニ於テ從來ノ慣行ニ依リ河川ニ一時ノ堰ヲ設ケ灌漑ノ用ニ供スルモノハ其慣行ニ依ルコトヲ得但從來ノ位置又ハ構造ヲ變更セントスルトキハ此限ニアラス

第二章 土木工事施行手續

第六條 第四條第五條ノ土木工事ヲ施行セントスルトキハ左ノ手續ニ依ルヘシ

- 一 郡市町村又ハ公共組合ニ於テ工事ヲ施行セントスルトキハ郡市町村會町村組合會又ハ水利

土功會ノ決議ヲ經タル工費豫算及工事設計書ヲ添へ出願スヘシ但新築變更ノ場合ニ於テハ實測圖設計圖及潰地一筆限取調表ヲ添付スヘシ

二 私人ニ於テ工事ヲ施行セントスルトキハ其新築變更ト改築又ハ假工事トニ拘ハラズ總テ工費豫算工事設計書實測圖設計圖及潰地一筆限表ヲ添へ出願スヘシ但改築又ハ假工事ノ場合ニハ實測圖及潰地一筆限表ヲ添付スルニ及ハス

三 郡市町村公共組合ニ於テ工事ヲ施行スルト私人ニ於テ之ヲ施行スルトニ拘ハラズ總テ利害ニ關係アル郡市町村公共組合ノ故障ノ有無ニ關スル意見ヲ質シ其決議書又ハ回答書ヲ添付スヘシ但正當ノ事由ナシテ一ヶ月以上之カ決議又ハ回答ヲ遷延スルトキハ其事由ヲ具シ願書ヲ差出スコトヲ得

第七條 工費償却ノ方法ヲ以テ施行スル工事願書ニハ前條ノ手續ノ外工費償却方法書ヲ添付スヘシ

第八條 第四條第五條ノ土木工事ノ爲メ要スル潰地ニシテ起業者ニ買受ケ上地セントスルモノ又ハ民有地ニ据置カントスルモノハ豫メ起業者へ買受ケノ契約ヲ爲シ工事願書ニ其契約書ノ寫ヲ添付出願シ工事許可ノ上ハ指令ノ日ヨリ六十日以内ニ賣買登記ノ手續ヲ了シ上地ニ係ル分ハ上地願出スヘク民有地据置ニ係ル分ハ其旨届出ツヘシ

土地所有者ヨリ直ニ上地スルモノハ起業者ニ於テ土地豫約書ヲ取り工事願書ニ其寫ヲ添付出願シ工事許可ノ上ハ指令ノ日ヨリ六十日以内ニ各所有者ヲシテ質入書入等登記ニ關係アルモノヲ解除シ若クハ債主ノ承諾書ヲ添へ分筆ノ手續ヲ了シタル土地願書ヲ差出サシメ該願書取纏メ當應へ進達スヘシ但當應ニ於テ測量設計ヲ爲シタルモノハ土地豫約書ヲ取ルノ手續ヲ省略シ直ニ工事願書ト共ニ上地願書ヲ差出スコトヲ得(三十二年縣令第二十二號ヲ以テ改正)

第九條 (三十三年縣令第百一號ヲ以テ本條削除)

第三章 土木工事施行ニ關スル監督規定

第十條 第四條第五條ノ工事施行ヲ出願スルモノアルトキ其設計實地ニ適セスト認ムルカ若クハ他ニ障害ヲ及ホス虞アルカ又ハ施設ヲ要セスト認ムルトキハ其設計ヲ伸縮又ハ變更シ或ハ許可セサルコトアルヘシ

第十一條 地方稅ヲ以テ補助シタル堤防道路橋梁ノ修繕工事ノ竣功期限ハ特ニ命令シタルモノハ外指令ノ日ヨリ三ヶ月以内トス但天災其他正當ノ理由ニ依リ期限内竣功シ難キモノト認ムルトキハ相當ノ延期ヲ與フルコトアルヘシ

第十二條 地方稅ヲ以テ補助スル堤防ノ修繕工事ヲ施行セントスルモノハ左ノ期日以内ニ願出ツヘシ該期日ヲ經過シ到達シタル願書ハ採用セサルモノトス但道路修繕工事ノ出願期限ハ別ニ定ム

ル所ニ依ル

一 通常工事

十月一日ヨリ同月二十日マテ

一 臨時工事

破壊ノ日ヨリ三十日以内

第十三條 地方税ヲ以テ補助シタル工事ニシテ指定ノ竣功期限内ニ竣功セサルトキ若クハ許可ノ設計ニ違背シ不適當ト認メタルトキ又ハ仕立方粗悪ナルトキハ其工事中ナルト竣功後トヲ問ハス全部若クハ一部ノ改造ヲ命スルカ又ハ全部若クハ一部ニ對スル地方税ノ補助ヲ取消シ若クハ補助金額ヲ減スヘシ

第十四條 地方税ヲ以テ補助シタル工事ハ着手中ナルト竣功後ナルトヲ問ハス出來形検査以前ニ於テ災害等ニ因リ工用品又ハ既成工事ノ滅失若クハ毀損スルコトアルモ其損失ニ對シテハ補助セサルモノトス

但出來形精算帳ヲ以テ届出後三十日ヲ經過シ工事竣功ノ證據アル場合ニ於テハ事情ニ依リ更ニ其損失ニ係ル全部又ハ幾部分ヲ補助スルコトアルヘシ

第十五條 地方税ヲ以テ補助シタル工事竣功シタルトキハ出來形精算帳ヲ製シ竣功期日後三十日以内ニ其許可ヲ受ケタル官廳へ届出ツヘシ

第十六條 地方税ヲ以テ補助セサル工事ニシテ官廳ノ許可ヲ受ケ施行シタルモノハ竣功ノ上出來

形調書ヲ製シ竣功期日後三十日以内ニ其許可ヲ受ケタル官廳へ届出ツヘシ但當該官廳ニ於テ其出來形ヲ以テ當初ノ設計ニ違背シ不都合ト認ムルトキハ改造ヲ命スルコトアルヘシ

第十七條 明治二十年六月縣令第五十六號市町村土木施行順序其他本規則ニ抵觸スル從前ノ令達指令ハ總テ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

●縣令第二十六號 (明治三十一年三月二十六日)

明治二十九年十月本縣令第七十三號土木施行規則第六條第三ハ富士川安倍川大井川天龍川ニ適用セ

●甲第十八號 (明治二十九年十月十六日)

郡役所 市役所 町村役場

明治二十九年十月縣令第七十三號土木施行規則取扱手續左之通定ム

土木施行規則取扱手續

第一條 土木施行規則第四條第一ノ工事ヲ出願セントスルモノハ別紙第一號第二號書式ニ依リ願書ヲ調製差出スヘシ

第二條 土木施行規則第四條第二第三第四及第五條ノ工事ヲ出願セントスル者ハ別紙第三號乃至第五號書式ニ依リ願書ヲ調製差出スヘシ

第三條 土木施行規則第六條第七條ニ依リ工事出願ノ際願書ニ添付スヘキ設計書及潰地一筆限取調表ハ別紙第六號乃至第八號書式實測圖及設計圖ハ別紙第九號第十號雜形工費償却方法書ハ別紙第十一號書式ニ依リ調製スヘシ

第四條 土木施行規則第八條ニ依リ差出スヘキ土地願書ハ別紙第十二號書式ニ依リ調製スヘシ
第五條 土木施行規則第十五條ノ工事出來形精算帳ハ別紙第十三號同規則第十六條ノ工事出來形調書第十四條ノ書式ニ依リ調製スヘシ

第六條 新築變更工事ヲ出願スルトキハ其工事ノ區域ヲ明瞭ナラシムル爲工事施行ノ位置境又ハ方線ハ堅牢ノ標杭巾杭ヲ打立置クヘシ
第七條 従前ノ訓令等ニシテ本訓令ニ抵觸スルモノハ總テ廢止ス(別冊ハ別ニ配付ス)

(別冊零ス)

●縣令第三十三號 (明治三十一年四月二十八日)

明治二十七年二月縣令第四號土木費及市町村土木補助費支辨規則左ノ通改正ス

土木費及市町村土木補助費支辨規則(本則類別中數回ノ加除改正アルヲ以テ三十五年十月末日現在ノモノヲ掲ク)

第一條 道路ヲ分ツテ左ノ五類トス

第一類

東 海 道

田方郡錦田村山中新田縣界ヨリ濱名郡白賀須町白須賀縣界ニ至ル

縣 廳 往 還

靜岡市札ノ辻ヨリ縣廳ニ至ル
全市江川町國道ヲ分岐シ鷗橋ヲ經左折壞ニ沿ヒ縣廳ニ至ル
靜岡停車場ヨリ全市江川町東海道ニ至ル

靜岡停車場往還

第二類

下 田 街 道

田方郡三島町東海道ヨリ分岐シ賀茂郡下田町市街地入口ニ至ル

熱 海 街 道

田方郡中郷村大場下田街道ヨリ分岐シ全郡熱海町泉縣界ニ至ル

佐 野 往 還

田方郡三島町東海道ヨリ分岐シ駿東郡小泉村平松停車場ニ至ル

三 島 往 還

駿東郡沼津町東海道ヨリ分岐シ田方郡韭山村原木ニ至リ下田街道ニ接續ス

沼 津 往 還

駿東郡原里村川島田甲州街道ヨリ分岐シ全郡足柄村竹ノ下縣界ニ至ル

足 柄 街 道

富士郡吉原町東海道ヨリ分岐シ全郡上井出村根原縣界ニ至ル

甲 州 街 道

庵原郡興津町中宿東海道ヨリ分岐シ全郡内房村縣界ニ至ル

甲 州 街 道

庵原郡内房村内房地内

甲 州 街 道

富士郡大宮町ニ於テ甲州街道ヲ分岐シ全郡芝富村ニ至ル

土 木 土木及工費

清水街道	安倍郡入江町東海道ヨリ分岐シ 全郡清水町市街地入口ニ至ル
燒津街道	志太郡藤枝町東海道ヨリ分岐シ燒津停車場ヲ經テ 全郡燒津村北新田ニ至リ靜濱街道ニ接續ス
横須賀街道	志太郡青島村南新屋東海道ヨリ分岐シ相良横須賀ヲ經テ 磐田郡中泉町中泉ニ至リ東海道ニ接續ス
信州街道	榛原郡相良町相良横須賀街道ヨリ分岐シ掛川森ヲ經テ 周智郡奥山村奥領家縣界ニ至ル
堀之内街道	小笠郡西方村堀之内停車場ヨリ 全郡池新田村池新田横須賀街道ニ至ル
森横須賀街道	周智郡飯田村陸實信州街道ヨリ分岐シ袋井停車場ヲ經テ 磐田郡上淺羽村淺羽横須賀街道ニ至ル
姫街道	濱名郡濱松町東海道ヨリ分岐シ氣賀三ヶ日ヲ經テ 引佐郡西濱名村本坂縣界ニ至ル
三信街道ノ内	引佐郡氣賀町氣賀街道ヨリ分岐シ 全郡鎮玉村田澤縣界ニ至ル
掛塚街道	濱名郡天神町村向宿東海道ヨリ分岐シ 全郡掛塚村掛塚市街地入口ニ至ル
御殿場街道	駿東郡御殿場停車場ヨリ 全郡御厨町新橋足柄街道ニ至ル
佐野街道	駿東郡佐野停車場ヨリ 全郡小泉村佐野甲州街道ニ至ル
沼津街道	駿東郡沼津停車場ヨリ 全郡沼津町東海道ニ至ル

岩淵停車場 往還	庵原郡岩淵停車場ヨリ 全郡富士川村岩淵東海道ニ至ル
興津停車場 往還	庵原郡興津停車場ヨリ 全郡興津町中宿東海道ニ至ル
江尻停車場 往還	庵原郡江尻停車場ヨリ 全郡江尻町東海道ニ至ル
藤枝停車場 往還	志太郡藤枝停車場ヨリ 全郡青島村前嶋横須賀街道ニ至ル
鳴田停車場 往還	志太郡鳴田停車場ヨリ 全郡島田町東海道ニ至ル
掛川停車場 往還	小笠郡掛川停車場ヨリ 全郡掛川町東海道ニ至ル
中泉停車場 往還	磐田郡中泉停車場ヨリ 全郡中泉町中泉東海道ニ至ル
濱松停車場 往還	濱名郡濱松停車場ヨリ 全郡濱松町東海道ニ至ル
舞坂停車場 往還	濱名郡舞坂停車場ヨリ 全郡篠原村馬郡東海道ニ至ル
新所街道	濱名郡新所村新所ヨリ 全郡全村梅田縣界ニ至ル
二俣東街道	磐田郡見付町東海道ヨリ分岐シ 全郡二俣町二俣ニ至ル
三州街道	引佐郡西濱名村三ヶ日姫街道ヨリ分岐シ 全郡全村平山宇利崎縣界ニ至ル

土木及工費

二俣西街道
 濱名郡濱松町東海道ヨリ分岐シ
 全郡二俣町二俣ニ至ル

江尻往還
 庵原郡江尻町ヨリ
 安倍郡清水町ニ至ル

静岡兵營往還
 静岡市札ノ辻縣廳往還ヨリ右折シ舊追手門ヲ入り
 陸軍兵營門前ヲ通過シ衛成病院ニ至ル
 全往還ヲ左折シ舊四ツ足門ヲ入り全病院ニ至ル
 右兩線路ヲ接續スル中塚沿ノ道路

三島往還
 駿東郡長泉村下土狩ヨリ
 田方郡三島町東海道ニ至ル

笠井街道
 濱名郡蒲村植松東海道ヨリ分岐シ
 全郡笠井町笠井ニ至ル

天龍川往還
 天龍川停車場ヨリ濱名郡和田村橋羽
 東海道ニ至ル

沼津往還
 駿東郡沼津町東海道ヨリ分岐シ
 全郡靜浦村江ノ浦ニ至ル

甲州街道
 駿東郡大岡村ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡須走村縣界ニ至ル

新宿往還
 駿東郡清水村新宿ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡長泉村土狩ニ於テ甲州街道ニ接續ス

原停車場往還
 駿東郡原町東海道ヨリ分岐シ
 全郡原停車場ニ至ル

假定第二類
 富士郡芝富村ヨリ
 全郡柚野村上稻子縣界ニ至ル

甲州街道ノ内

第三類

甲州街道ノ内
 庵原郡富士川村岩淵ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡内房村内房ニ至ル

今井往還
 富士郡元吉原村今井ヨリ
 全郡吉永村富士岡根方街道ニ至ル

久能街道
 安倍郡清水町市街地出口ヨリ久能山下ヲ經テ
 静岡市東海道ニ至ル

安倍街道
 静岡市出口ヨリ
 安倍郡玉川村落合ニ至ル

伊達方往還
 小笠郡東山口村伊達方東海道ヨリ分岐シ
 全郡西方村堀ノ内停車場ニ至ル

修善寺街道
 田方郡修善寺村修善寺下田街道ヨリ分岐シ
 全郡全村修善寺ニ至ル

蕨科街道ノ内
 安倍郡服織村山崎新田ヨリ
 全郡中蕨科村富澤ニ至ル

朝比奈街道
 志太郡燒津村燒津北ヨリ
 全郡朝比奈村宮嶋ニ至ル

川崎往還ノ内
 榛原郡川崎町靜波ヨリ
 全郡金谷町金谷ニ至ル

半場往還ノ内
 磐田郡蒲川村蒲川町組ヨリ
 全郡全村縣界ニ至ル

嶋田往還
 志太郡嶋田町東海道ヨリ分岐シ
 全郡全町向谷ニ至ル

土木及工費

内浦街道
 田方郡内浦村三津ヨリ
 全郡田中村御門ニ至ル
 庵原郡庵原村伊佐布ヨリ
 全郡全村吉原ニ至ル
 賀茂郡稻梓村箕作下田街道ヨリ分岐シ
 全郡全村相玉及全郡松崎村松崎ヨリ全郡中川村小杉原ニ至ル
 賀茂郡下田町ヨリ
 全郡南中村ニ至ル及全郡岩科地内
 田方郡田中村大仁下田街道ヨリ分岐シ
 全郡中大見村冷川ニ至ル及全郡伊東村松原ヨリ全村鎌田ニ至ル
 磐田郡中泉町地内
 周智郡山梨町上山梨ヨリ
 磐田郡三川村山田ニ至ル
 志太郡島田町地内
 磐田郡見付町ヨリ
 全郡向笠村向笠竹ノ内ニ至ル
 駿東郡六合村小山停車場ヨリ
 全郡全郡落合ニ至ル
 富士郡吉原町ヨリ
 全郡須津村ニ至ル
 榛原郡相良町ヨリ
 全郡萩間村女神ニ至ル
 金相良 往還ノ内
 根方街道ノ内
 御殿場 往還ノ内
 小山 往還ノ内
 見付 往還ノ内
 山梨 往還ノ内
 川崎 往還ノ内
 島田 往還ノ内
 二俣 往還ノ内
 山梨 往還ノ内
 掛塚 往還ノ内
 中泉 往還ノ内
 伊東街道ノ内
 南街道ノ内
 南街道ノ内
 松崎 往還ノ内
 稻梓 往還ノ内
 兩河内 往還ノ内
 辻 往還ノ内
 内浦街道

長瀬 往還ノ内
 南條 往還ノ内
 北三街道ノ内
 島田 往還ノ内
 伊久美 往還ノ内
 松崎 往還ノ内
 宮ヶ原 往還ノ内
 橋ヶ原 往還ノ内
 西ヶ崎 往還ノ内
 瀬戸谷東街道
 御前崎 往還
 鷺津 往還
 新居 往還
 三島町 往還
 三島町 往還
 大場 往還
 大場 往還
 原木 往還
 原木 往還
 南條 往還
 南條 往還
 田方郡南條停車場ヨリ
 全郡南條山村下田街道ニ至ル
 田方郡原木停車場ヨリ
 全郡南條山村下田街道ニ至ル
 田方郡大場停車場ヨリ
 全郡中郷村熱海街道ニ至ル
 田方郡三島町停車場ヨリ
 全郡東海道ニ至ル
 濱名郡吉津村鷺津停車場ヨリ
 全郡新居町新居東海道ニ至ル
 榛原郡地頭方村ニ於テ横須賀街道ヲ分岐シ
 全郡御前崎村ニ至ル
 濱名郡和田村橋ヶ原ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡中郷村西ヶ崎ニ至リ二俣西街道ニ接続ス
 志太郡藤枝町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡稻葉村稻葉堀ノ内ニ於テ瀬戸谷街道ニ接続ス
 榛原郡地頭方村ニ於テ横須賀街道ヲ分岐シ
 全郡御前崎村ニ至ル
 濱名郡吉津村鷺津停車場ヨリ
 全郡新居町新居東海道ニ至ル
 田方郡三島町停車場ヨリ
 全郡東海道ニ至ル
 田方郡大場停車場ヨリ
 全郡中郷村熱海街道ニ至ル
 田方郡原木停車場ヨリ
 全郡南條山村下田街道ニ至ル
 田方郡南條停車場ヨリ
 全郡南條山村下田街道ニ至ル

河津街道
 小松往還
 宮口往還
 見井往還
 笠井往還
 追分往還
 奥山往還
 金山往還
 横岡往還
 瀬戸谷街道内
 横須賀往還内
 掛塚往還内
 上野往還内
 雄踏街道内
 二俣往還内
 熊二往還内
 藤枝往還内
 堀内往還内

賀茂郡上河津村下佐賀野ニ於テ下田街道ヲ分岐シ
 全郡下河津村濱ニ至ル
 濱名郡小野田村小松ニ於テ二俣西街道ヲ分岐シ
 引佐郡鹿玉村宮口ニ至リ阿多古街道ニ接續ス
 磐田郡富岡村賀茂東ニ於テ二俣東街道ヲ分岐シ
 全郡池田村ニ至リ中泉笠井往還ニ接續ス
 濱名郡三方原村三方原追分ヨリ
 引佐郡伊井谷村伊井谷ニ至ル
 榛原郡金谷町金谷ヨリ
 全郡五和村横岡ニ至ル
 志太郡青島村志太ヨリ全郡稻葉村宮原ヲ經テ
 全郡瀬戸ノ谷村瀧澤及瀬戸谷ノ内ニ至ル
 小笠郡笠原村山崎ヨリ
 磐田郡袖浦村東平松ニ至ル
 富士郡大宮町ニ於テ甲州街道ヲ分岐シ
 全郡上野村ニ至ル
 濱名郡濱松町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡淺場村ノ内ニ至ル
 磐田郡下阿多古村地内
 志太郡青島村ニ於テ横須賀街道ヲ分岐シ
 全郡大洲村善左衛門ニ至ル

假定第三類

稻取往還
 松崎往還
 宮ヶ原往還
 小山下街道
 竹ノ下街道
 須山往還
 小走往還
 根方街道内
 北街道
 薬科街道内
 島田往還
 勝間田往還
 川崎往還内
 島崎往還内
 相良往還内
 相谷往還内
 相良往還
 堀内往還
 静波往還
 堀内往還

賀茂郡稻取村稻取ヨリ
 全郡下河津村濱ニ至ル
 賀茂郡松崎町ヨリ仁科村濱ヲ經テ
 那賀ニ至ル及全村一色ヨリ全村大澤里字宮ヶ原ニ至ル
 駿東郡六合村小山停車場ヨリ
 全郡足柄村竹ノ下足柄街道ニ至ル
 駿東郡六合村小山ヨリ
 全郡須走村ニ至ル
 富士郡須津村界ヨリ
 駿東郡沼津町ニ至ル
 静岡市横内町ヨリ
 庵原郡袖師村嶺ニ至ル
 安倍郡中藪科村富澤ヨリ
 全郡清澤村晝居渡ニ至ル
 志太郡島田町ヨリ榛原郡初倉村湯日ヲ經テ
 全郡勝間田村ニ至ル
 榛原郡初倉村ヨリ
 榛原郡川崎町ニ至ル
 榛原郡萩間村女神ヨリ
 全郡金谷町金谷ニ至ル
 小笠郡南山村高橋ヨリ
 全郡横地村西横地ニ至ル
 榛原郡川崎町静波ヨリ
 小笠郡西方村堀ノ内ニ至ル

土木及工費

横須賀 往還
堀ノ内
中泉 往還ノ内
掛塚 往還ノ内
濱 街 道
燒津 往還
堀ノ内 往還
中泉 往還
福田 往還
二窪 往還
水窪 往還
浦目 往還
園目 往還
中井 往還
笠井 往還
袋井 往還
福田 往還
山梨 往還
二森 往還
侯 往還

小笠原郡大坂村大坂ヨリ
全郡平田村下平川ニ至ル
磐田郡中泉町中泉ヨリ
全郡掛塚町ニ至ル
安倍郡長田村石部ヨリ志太郡東益津村燒津村小川村和田村靜濱村吉
永村榛原郡吉田村ヲ經テ全郡川崎町ニ至リ横須賀街道ニ接続ス
志太郡燒津停車場ニ於テ燒津街道ヲ分岐シ
全郡小川村大富村ヲ經相川村ニ至リ横須賀街道ニ接続シ
榛原郡吉田村ニ於テ同街道ヲ分岐シ
全郡坂部村ニ至リ藤枝堀ノ内往還ニ接続ス
磐田郡中泉町中泉ヨリ
全郡福島村福田ニ至ル
磐田郡二窪町二窪ヨリ龍川村横山ヲ經テ
全郡山香村大井ニ至ル
磐田郡浦川村浦川ヨリ
三河國北設樂郡園目縣界ニ至ル
磐田郡井通村源平新田ヨリ全郡池田村ヲ經テ
濱名郡笠井町笠井ニ至ル
磐田郡山名町袋井ヨリ
全郡福島村福田ニ至ル
磐田郡三川村山田ヨリ
磐田郡野部村上野部ニ至ル
周智郡森町森ヨリ
磐田郡敷地村ニ至リ山梨二窪往還ニ接続ス

二侯 往還ノ内
熊 往還ノ内
阿多古 街道
雄踏 街道ノ内
鷺津 往還
片濱 往還
下河津 往還
網代 街道
辻河内 往還ノ内
雨河内 往還ノ内
葉梨 往還
見付 往還ノ内
山梨 往還ノ内
笠井 往還
二侯 往還
和 往還
三方ヶ原 往還
二氣 往還
賀 往還

磐田郡二侯町地内全郡下阿多古村ノ内ヨリ
全郡熊村ニ至ル
濱名郡曳馬村上島ヨリ引佐郡鹿玉村宮口ヲ經テ
磐田郡上阿多古村西藤平落合ニ至ル
濱名郡淺場村ノ内ヨリ
全郡雄踏村山崎ニ至ル
濱名郡吉津村鷺津停車場ヨリ
全郡白須賀町白須賀ニ至ル
賀茂郡下田町ヨリ
全郡下河津村濱ニ至ル
田方郡田中村三福ヨリ
全郡網代村ニ至ル
庵原郡辻村ヨリ庵原村伊佐布及全村吉原ヨリ
全郡雨河内村土ニ至ル
志太郡藤枝町ヨリ
全郡葉梨村西方字竹ノ花ニ至ル
磐田郡向笠村向笠竹ノ内ヨリ
周智郡山梨町上山梨ニ至ル
濱名郡笠井町笠井ヨリ
磐田郡二窪地内二窪町西街道ニ至ル
濱名郡和田村安間新田ヨリ
全郡三方ヶ原村字追分ニ至ル
濱名郡赤佐村地内ニ於テ二窪西街道ヲ分岐シ
引佐郡金指町ヲ經テ全郡氣賀町氣賀ニ至ル

伊東 往還
熱海 街道
根方 街道
御殿場 往還ノ内
小山 往還ノ内
上野 往還ノ内
由比 街道
内房 街道
川根 街道
藤ノ内 往還ノ内
堀ノ内 往還ノ内
掛坂 往還
大坂 往還
熊川 往還
二俣 往還
領家 往還
見付 往還
横須賀 往還
湯ヶ島 往還

田方郡伊東村ニ於テ伊東街道ヲ分岐シ
全郡熱海町熱海ニ至リ熱海街道ニ接続ス
駿東郡金岡村根方街道ヨリ分岐シ
全郡長泉村下土狩ニ於テ甲州街道ニ接続ス
駿東郡御厨町御殿場ヨリ全郡高根村北郷村管沼村ヲ經テ
六合村落合ニ至ル及全郡六合村小山停車場ヨリ神奈川縣界ニ至ル
富士郡上野村界ヨリ
全郡白糸村ニ至リ上井出猪ノ頭往還ニ接続ス
庵原郡山比町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
全郡内房村ニ至リ甲州街道ニ接続ス
安倍郡藪科街道終点ヨリ全郡清澤村ヲ經テ
志太郡東川根村上藤川ニ至ル
榛原郡初倉村坂部村勝間田村ヲ經テ
全郡裁間村ニ至リ堀ノ内相良往還ニ接続ス
小笠原郡上内田村ニ於テ信州街道ヲ分岐シ全郡佐東村上方村ヲ經テ
大坂村ニ至リ横須賀街道ニ接続ス
磐田郡熊村二俣熊往還終点ヨリ引佐郡鎮玉村澁川ニ至リ
澁川東黒田往還ニ接続ス
磐田郡二俣町二俣ヨリ光明村ヲ經テ
周智郡犬居村領家ニ至リ信州街道ニ接続ス
磐田郡見付町東海道ヨリ分岐シ
全郡上淺羽村ニ至リ森横須賀往還ニ接続ス
賀茂郡仁科村大澤里ヨリ田方郡上狩野村湯ヶ島ニ至リ
下田街道ニ接続ス

川島 根田 往還
川根 街道
南條 往還ノ内
長瀬 往還ノ内
浦部 往還
中川 往還
島田 往還ノ内
伊久美 往還ノ内
相良 往還
池新田 往還
吉原 往還
田子浦 往還
掛川 往還
横須賀 往還
橋羽 往還
淺羽 往還
新宿 往還
德倉 往還
北參街道ノ内

志太郡島田町向谷ヨリ
全郡大長村神座ニ至ル
榛原郡五和村横岡ヨリ
全郡上川根村千頭ニ至ル
田方郡川西村古奈ヨリ長瀬ニ至リ
内浦街道ニ接続ス
磐田郡浦川村浦川字町組ヨリ
全郡佐久間村中部ニ至ル
志太郡大津村大草ヨリ
全郡千葉山ニ至ル
榛原郡和良町ニ於テ横須賀街道ヲ分岐シ
小笠原郡池新田村ニ至リ再ヒ横須賀街道ニ接続ス
富士郡吉原町ニ於テ東海道ヲ分岐シ全郡島田村ヲ經
田子浦村ニ至リ鈴川浦原往還ニ接続ス
小笠原郡掛川町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
全郡笠原村ニ至リ横須賀街道ニ接続ス
濱名郡河輪村ニ於テ掛塚街道ヲ分岐シ
全郡和田村天龍川停車場ニ至ル
磐田郡上淺羽村淺名ニ於テ横須賀街道ヲ分岐シ
全郡東淺羽村ニ至リ横須賀掛塚往還ニ接続ス
駿東郡清水村新宿ニ於テ東海道ヲ分岐シ
全郡德倉ニ至リ沼津原木往還ニ接続ス
引佐郡鎮玉村澁川ヨリ
愛知縣界ニ至ル

見野付 往還
市野付 往還
笠井塚 往還
富塚 往還
笠井 往還
金指 往還
掛川 往還
袋井 往還
二俣 往還
飯田 往還
犬居 往還
鈴川 往還
蒲原 往還
手越 往還
石部 往還
江浦 往還
四日市 往還
見付 往還
井通 往還
御前崎 往還
堀川 往還
掛川 往還
堀掛 往還
堀掛 往還

濱名郡中ノ町村富田ニ於テ中泉笠井往還ヲ分岐シ
全郡市野村ニ至リ和田三方ケ原往還ニ接続ス
濱名郡笠井町笠井ヨリ全郡中郡村有玉村曳馬村須ノ木澤村ヲ經
富塚村ニ至ル
濱名郡笠井町笠井ヨリ美島村小野田村平貴村ヲ經
引佐郡都田村ニ至リ二俣氣賀往還ニ接続ス
小笠郡垂木村ニ於テ信州街道ヲ分岐シ
全郡和山岡村周智郡宇刈村山梨町磐田郡今井村向笠村大藤村岩田村
濱名郡豐西村ヲ經笠井町ニ至ル
磐田郡山名町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
今井村ヲ經三川村ニ至リ山梨二俣往還ニ接続ス
周智郡飯田村ニ於テ森横須賀往還ヲ分岐シ
全郡園田村一宮村ヲ經磐田郡光明村ニ至リ二俣領家往還ニ接続ス
富士郡元吉原村鈴川停車場ヨリ全郡田子浦村ヲ經
庵原郡蒲原町ニ至リ東海道ニ接続ス
安倍郡長田村手越ヨリ全郡石部ニ至ル
駿東郡靜浦村江ノ浦ニ於テ沼津靜浦往還ヲ分岐シ
田方郡江間村ヲ經菲山村四日市ニ至リ下田街道ニ接続ス
磐田郡見付町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
全郡井通村一言ヲ經全村森下ニ至リ東海道ニ接続ス
榛原郡御前崎村ヨリ地頭方村堀ノ新田ニ至リ
横須賀街道ニ接続ス
小笠郡佐東村ニ於テ掛川大坂往還ヲ分岐シ
全郡三保村ニ至リ横須賀街道ニ接続ス
小笠郡西山口村ニ於テ東海道ヲ分岐シ
小笠郡西方村ニ至リ伊達方堀ノ内往還ニ接続ス

南街道ノ内
稻崎 往還ノ内
松崎 往還ノ内
伊東街道ノ内
瀬戸谷街道ノ内
横須賀 往還ノ内
掛塚 往還ノ内
追分 往還ノ内
奥山 往還ノ内
中里 往還
浮島 往還
原島 往還
三島 往還
大平 往還

賀茂郡南中村ヨリ
全郡岩科村ニ至ル及全村ヨリ松崎町ニ至ル
賀茂郡稻崎村相玉ヨリ
全郡中川村小杉原ニ至ル
田方郡中大見村冷川ヨリ
全郡伊東村鎌田ニ至ル
志太郡瀬戸谷村瀬戸谷ノ内及全村瀧澤ヨリ
全郡伊久美村伊久美ニ至ル
磐田郡抽浦村東平松ヨリ
全郡掛塚町掛塚ニ至ル
引佐郡伊井谷村伊井谷ノ内ヨリ
全郡奥山村奥山ニ至ル
富士郡須津村中里ニ於テ根方街道ヲ分岐シ
元吉原村ニ至リ國道ニ接続ス
駿東郡原町ニ於テ東海道ヲ分岐シ
全郡浮島村ニ至リ根方街道ニ接続ス
田方郡三島町停車場ヨリ中郷村ヲ經
駿東郡大平村ニ至リ沼津原木街道ニ接続ス
富士郡岩松村松岡ヨリ
全郡鷹岡村入山瀬ニ至ル
志太郡相川村上新田ヨリ
全郡吉永村吉永ニ至ル

第四類

岩松 往還
鷹岡 往還
相川 往還
吉永 往還

土木及工費

下田 往還ノ内
 岩殿 往還ノ内
 下賀茂 往還ノ内
 妻良 往還ノ内
 濱松 往還ノ内
 都筑 往還ノ内
 大見 往還ノ内
 長田 往還ノ内
 朝比奈 往還ノ内
 金谷 往還ノ内
 初倉 往還ノ内
 森 往還ノ内
 麻機 街道

賀茂郡下田町ヨリ
 全郡朝日村大賀茂ニ至ル
 賀茂郡三濱村妻良地内
 濱名郡濱松町ヨリ
 全郡和地村ニ至ル
 田方郡中大見村八幡ニ於テ伊東街道ヲ分岐シ
 全郡柳澤ニ至ル
 安倍郡長田村手越ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 南越科村收ヶ谷ニ至ル
 榛原郡金谷町地内
 榛原郡五和村志戸呂ヨリ
 全郡大代ニ至ル
 静岡市出口ヨリ安倍郡安東村ヲ經テ
 全郡麻機村北ニ至ル

假定第四類

下賀茂 往還ノ内
 妻良 往還ノ内
 下小野 往還
 子浦 往還
 志都呂 街道

賀茂郡南中村下賀茂ニ於テ南街道ヲ分岐シ
 全郡三濱村界ニ至ル
 賀茂郡南上村下小野ニ於テ南街道ヲ分岐シ
 全郡三濱村子浦ニ至ル
 濱名郡篠原村ニ於テ東海道ヲ分岐シ
 全郡神久呂村志都呂ニ至リ雄踏街道ニ接続ス

修善寺 往還
 戸田 往還
 須山 往還
 佐野 往還
 本市場 往還
 鷹岡 往還
 上井出 往還
 猪ノ頭 往還
 高松 往還
 廣野 往還
 掛川 往還
 倉真 往還
 堀ノ内 往還
 土方 往還
 犬居 往還
 氣多 往還
 新津 往還
 新所 往還
 三ヶ日 往還
 濱松 往還
 都築 往還
 知波多 往還

田方郡修善寺村修善寺ヨリ
 全郡戸田村戸田ニ至ル
 駿東郡小泉村佐野ヨリ
 全郡須山村ニ至ル
 富士郡加島村本市場ヨリ
 全郡鷹岡村ニ至ル
 富士郡上井出村上井出ヨリ白糸村内野ヲ經テ
 同郡上井山村猪ノ頭ニ至ル
 安倍郡大里村高松ヨリ
 全郡長田村廣野ニ至ル
 小笠郡掛川町ヨリ
 全郡倉真村ニ至ル
 小笠郡西方村堀之内ヨリ
 全郡土方村下土方ニ至ル
 周智郡犬居村堀之内ヨリ
 全郡氣多村氣多ニ至ル
 濱名郡新所村新所ヨリ
 全郡吉津村鷺津停車場ニ至ル
 濱名郡新所村新所ヨリ
 引佐郡西濱名村三ヶ日ニ至ル
 濱名郡和地村ヨリ全郡北庄内村堀江ヲ經テ
 引佐郡東濱名村都築ニ至ル
 引佐郡東濱名村都築ヨリ
 濱名郡知波多村ニ至ル

土木及工費

濱松 往還
 中田島 往還
 庄内 往還
 氣賀 往還
 原田 往還
 原田 往還
 東黒田 往還
 下田 往還ノ内
 岩殿 往還ノ内
 大見 往還ノ内
 鈴川 往還
 松岡 往還
 中井 往還
 大井 往還
 宮口 往還
 濫川 往還
 美和 街道
 安倍東街道
 藥科 街道
 朝比奈 街道

濱名郡濱松町ヨリ
 全郡白脇村中田島ニ至ル
 濱名郡北庄内村堀江ヨリ
 引佐郡氣賀町ニ至ル
 小笠郡原田村寺島ヨリ
 全郡原田村大和田ニ至ル
 引佐郡鎮玉村濫川ヨリ
 全郡伊平村東黒田三信街道ニ至ル
 賀茂郡朝日村大賀茂ヨリ
 全郡南上村岩殿ニ至リ南街道ニ接続ス
 田方郡中大見村柳瀬ヨリ
 全郡上大見村貴僧坊ニ至ル
 富士郡元吉原村鈴川ヨリ田子浦村加島村ヲ經
 岩松村松岡ニ至リ東海道ニ達ス
 磐田郡佐久間坂村部ヨリ
 全郡山香村大井ニ至ル
 引佐郡龜玉村宮口ヨリ都田村瀧澤ヲ經
 全郡鎮玉村濫川ニ至ル
 安倍郡服織村山崎新田ニ於テ藥科街道ヲ分岐シ
 全郡美和村與左衛門新田ヲ經テ全村足久保ニ至ル
 安倍郡北賤機村ニ於テ安倍街道ヲ分岐シ全郡麻機村千代田村及庵原
 郡西奈村ヲ經安倍郡有度村ニ至リ東海道ニ接続ス
 安倍郡服織村ニ於テ藥科街道ヲ分岐シ全郡南藥科村ヲ經
 志太郡朝比奈村ニ至リ朝比奈街道ニ接続ス

奥山 往還
 久留米木
 掛川 往還
 黒俣 往還
 金谷 往還
 森 往還
 長比奈 往還
 朝比奈 往還
 金谷 往還
 初倉 往還
 四日町 往還
 韭山 往還
 三津 往還
 江ノ浦 往還
 吉奈 街道
 御殿場 往還
 須山 往還
 大宮 往還
 内房 往還
 浦川 往還
 戸口 往還

引佐郡鎮玉村東久留米木ヨリ
 全郡奥山村奥山ニ至ル
 小笠郡西郷村上西郷ニ於テ掛川倉真往還ヲ分岐シ
 全郡原泉村黒俣ニ至ル
 榛原郡五和村ニ於テ金谷横岡往還ヲ分岐シ
 全村志戸呂ニ至ル及全村大代ヨリ小笠郡原泉村ニ至リ掛川黒俣往還
 ニ接続ス
 安倍郡南藥科村牧ヶ谷ヨリ
 全村ニ於テ藥科朝比奈街道ニ接続ス
 榛原郡金谷町ヨリ全郡初倉村ニ至リ
 島田川崎街道ニ接続ス
 田方郡韭山村四日町ニ於テ下田街道ヲ分岐シ
 全村韭山ニ至ル
 田方郡内浦村三津ヨリ
 駿東郡靜浦村江ノ浦ニ至ル
 田方郡上狩野村門野原ニ於テ下田街道ヲ分岐シ
 全村吉奈ニ至ル
 駿東郡原里村川島田ニ於テ足柄街道ヲ分岐シ
 全村保土澤板妻ヲ經テ須山村ニ至ル
 富士郡大宮町大宮ヨリ全郡富丘村大中里大宮町安居山沼久保芝富村
 羽餅長貫ヲ經
 庵原郡内房村ニ至リ甲州街道ニ接続ス
 磐田郡浦川村町組ヨリ
 全郡山香村戸口ニ至リ二俣水窪往還ニ接続ス

中泉 往還
 稗原 往還
 稻取 往還
 伊東 往還
 三津 往還
 小下田 往還
 船原 往還
 天龍川 往還
 西岸 往還
 内房 往還
 上井山 往還
 柚野 往還
 子ノ瀬 往還
 一ノ瀬 往還

第五類

假定第五類

吉佐美 道
 岩科 道
 宇久須 道

盤田郡天龍村ニ於テ中泉掛塚往還ヲ分岐シ
 全郡柚浦村稗原ニ至リ橋須賀掛塚往還ニ接続ス
 賀茂郡稻取村稻取ヨリ奈良本八幡野吉田ヲ經テ
 田方郡伊東村ニ至リ伊東街道ニ接続ス
 田方郡内浦村三津ヨリ古字戸田土肥ヲ經テ
 西豆村小下田ニ至リ賀茂郡界ニ達ス
 田方郡中狩野村下船原ニ於テ下田街道ヲ分岐シ
 上船原ニ至ル
 濱名郡赤佐村ニ於テ氣賀二俣往還ヲ分岐シ
 磐田郡下阿多古村渡ヶ島ヲ經龍川村横山ニ至リ二俣水窪往還ニ接続ス
 富士郡芝富村ニ於テ甲州街道ヲ分岐シ
 全郡柚野村ヲ經上野村ニ至リ上野往還ニ接続ス
 富士郡芝富村ニ於テ甲州街道ヲ分岐シ
 全郡柚野村ヲ經テ山梨縣界ニ至ル
 賀茂郡南上村ニ於テ南街道ヲ分岐シ
 全郡三瀨村子浦ニ至ル
 賀茂郡朝日村吉佐美ニ於テ南街道ヲ分岐シ
 竹麻村湊長津呂妻良子浦ヲ經岩科村ニ至リ南街道ニ接続ス
 賀茂郡仁科村瀨ヨリ田子安良里ヲ經テ
 宇久須村宇久須ニ至リ田方郡界ニ達ス

土肥 道
 八幡野 道
 冷川 道
 御殿木 道
 十里木 道
 湯ノ奥 道
 兩河内 道
 井川 道
 大川 道
 梅ヶ島 道
 笹戸谷 道
 笹戸谷 道
 伊久美 道
 三家倉山 道

田方郡土肥村土肥ヨリ
 中狩野村上船原ニ至ル
 田方郡對馬村八幡野ヨリ
 中大見村冷川ニ至ル
 駿東郡御厨町御殿場ヨリ玉穗村印野村ヲ經テ
 須山村十里木ニ至ル
 富士郡今泉村今泉ヨリ一色神戶今宮ヲ經テ
 吉永村桑崎ニ至リ駿東郡須山村十里木ニ至ル
 富士郡上井出村猪ノ頭ヨリ
 全郡全縣界ニ至ル
 庵原郡兩河内村土ヨリ
 河内大平ヲ經テ縣界ニ至ル
 安倍郡玉川村落合ヨリ
 井川村井川ヲ經テ田代ニ至ル
 安倍郡清澤村晝居渡藁科街道終点ヨリ
 大川村日向ヲ經テ大間ニ至ル
 安倍郡北殿機村油島ニ於テ安倍街道ヲ分岐シ
 大河内村ヲ經梅ヶ島村縣界ニ至ル
 志太郡笹間村笹間上ヨリ
 志太郡笹間村笹間上ヨリ
 志太郡伊久身村伊久美ヨリ
 笹間村笹間下ヲ經テ笹間上ニ至ル
 榛原郡下川根村家山ヨリ
 大日山ヲ經周智郡三倉村ニ至ル

土木及工費

上中	大	伊	千	浦	大	中	水	下	稻	平	奧	久	石	水	氣	中	浦	熊	熊	橫
河	里	久	葉	川	部	井	窪	河	津	山	山	留	留	窪	多	ノ	川	川	山	山
津	木	美	山	嶺	窪	窪	窪	津	梓	道	道	女	女	窪	窪	野	道	道	道	道
道	宮	山	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
<p>磐田郡龍川村横山ヨリ 熊村熊ニ至ル 磐田郡熊川上縣界ニ至ル 富士郡上井出村人穴ニ於テ甲州街道ヲ分岐シ 全郡全縣界ニ至ル 周智郡氣多村氣田ヨリ 全郡奥山村奥領家水窪ニ至ル 磐田郡下阿多古村石神ヨリ 引佐郡鎮玉村東久留女木ニ至ル 引佐郡奥山村奥山ヨリ 全郡西濱名村平山ニ至ル 賀茂郡稻梓村落合ニ於テ下田街道ヲ分岐シ 全郡下河津村細地ニ至リ下田河津往還ニ接続ス 周智郡奥山村芋堀ヨリ 磐田郡佐久間村中部ニ至ル 磐田郡龍川村大嶺ヨリ全村白倉ヲ經 全郡浦川村浦川ニ至ル 志太郡大津村千葉山ヨリ 全郡伊久美村伊久美ニ至ル 富士郡大宮町ヨリ吉永村瀬古辻ニ至リ 今泉十里木道ニ接続ス 賀茂郡中川村ニ於テ稻梓松崎往還ヲ分岐シ 全郡上河津村梨本ニ至リ下田街道ニ接続ス</p>																				

第二條 河川ヲ別ツテ左ノ三類トス

小	甲	吉	土	犬	大	天	富	狩	太	伊	那	大	大	興
州	奈	奈	肥	居	井	龍	士	野	田	東	賀	見	津	津
道	道	道	道	道	道	川	川	川	川	川	川	川	川	川
道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
<p>駿東郡六合村ニ於テ御殿場小山往還ヲ分岐シ 全郡北郷村明神峠ニ至リ山梨縣界ニ達ス 田方郡上狩野村吉奈ヨリ 全郡土肥村土肥ニ至ル 周智郡大居村堀ノ内字平尾ニ於テ信州街道ヲ分岐シ 全郡和泉平熊切村砂川大時花島田河内ヲ經榛原郡中川根村下長尾字 平谷ニ至リ川根街道ニ接続ス</p>														
朝	青	仁	白	原	藁	安	安	藁	原	白	仁	青	朝	朝
比	野	科	田	ノ	科	倍	倍	科	ノ	田	科	野	比	比
奈	川	川	川	谷	川	川	川	川	谷	川	川	川	奈	奈
川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
大	境	川	稻	菊	瀬	大	大	瀬	菊	稻	川	境	大	大
代	川	川	生	川	川	井	井	川	川	生	川	川	代	代
川	川	川	澤	川	川	川	川	川	川	澤	川	川	川	川

土木及工費

湯	坂口	仿	安	第三類	大賀	入	賀	蝶	大	字	河	山	大	馬
日川	谷川	僧川	間川		茂川	間川	茂川	夕野川	賀茂郡	久須川	内川	川	川	場川
勝間	逆	一	都		一	一	大	岩	一	山	立	橫	小	古
田川	宮川	ノ宮川	田川		色川	條川	澤川	科川	ノ瀬川	田川	保川	瀬川	和田川	字川
萩	敷	芳			轉	關	橫	山	船	修	水	中	陰	來
間川	地川	川			石川	田川	川	神川	田川	善寺川	口川	川	野川	光川
												田方郡		

西	和	鍛	宮	中	鮎	須	大	桃	稻	赤	和	稻	由	庵
川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
田方郡	田方郡	田方郡	田方郡	田方郡	田方郡	駿東郡	駿東郡	駿東郡	富士郡	富士郡	富士郡	富士郡		
深	大	糸	水	宮	野	谷	高	中	芝	神	富	三	和	伊
澤川	川	川	神川	川	澤川	川	橋川	川	川	谷川	士大河原	居澤川	瀬川	佐布川
	田方郡		田方郡	田方郡	駿東郡	駿東郡	駿東郡	駿東郡	駿東郡					
西	中	初	烏	木	馬	湯	駒	潤	飢	瀧	廻	破	山	山
川	川	川	川	瀬川	伏川	松川	瀬川	井川	渴川	川	澤川	多打川	切川	神川
田方郡	田方郡													

土木及工費

大澤	花澤	瀧澤	野田澤	葉梨	飯間谷	久住	小坂	水見色	谷	和田	布澤	有無瀨	境	早稻田
川(榛原郡)	川	川	川	川	川	川	川	川(安倍郡)	川(庵原郡)	川(庵原郡)	川	川	川(庵原郡)	川(庵原郡)
澤	東光寺	谷稻葉	谷	枋山	牛妻谷	谷	西河内	長尾	飛石	巴	谷	血流	長尾	梅ヶ谷
川	谷川	川(志太郡)	川	川	川	川(安倍郡)	川	川	川	川(安倍郡)	川(庵原郡)	川	川	川
三栗	菅ヶ谷	谷	大津	岡部	小瀬戸	谷	黒俣	九子	吉田	足久保	山原	小河内	巴	鹽田
川	川	川(志太郡)	川	川	川	川(安倍郡)	川	川	川	川	川	川	川(庵原郡)	川

小侯	仿瀬	三倉	小藪	杉	二俣	氣田	愛	小藪	高松	西ノ谷	龍今寺	小笠	比木	朝生
川	川	川	川(周智郡)	川	川	川(磐田郡)	川	川(磐田郡)	川	川	川	川	川(榛原郡)	川
境	笠子	馬込	水窪	熊切	氣田	水窪	西	阿多古	西大谷	垂木	朝比奈	牛淵	谷	清水
川(濱名郡)	川	川	川(周智郡)	川	川(周智郡)	川(磐田郡)	川	川	川	川	川	川	川(榛原郡)	川
井伊	東笠子	一ノ宮	中	不動	石切	中	今浦	大千瀬	比木	倉真	新野	東大谷	丹野	家山
谷川	川	川	川(周智郡)	川	川	川(磐田郡)	川	川	川(小笠郡)	川	川	川	川	川

神宮寺川	釣橋川	日比澤川
北川	宇利山川	南川
西川	年川	太田川
奧川	山道川	太田川
井田子川	明伏川	谷戸川
川金川	堀坂川	岩谷戸川
山口川	小川	江奈澤川
春山川	水川	長尾川
辨財天川	七通田川	河内川
中津川	大川	

第三條 港灣浪除及海沼沙除ヲ分ツテ左ノ三類トス

第一類

網代港浪除

燒津港浪除

第二類

田方郡熱海町熱海沙除

賀茂郡下河津村見高沙除

駿河國海岸沙除

全國廣沼綠沙除

遠江國海岸湖岸沙除小笠郡沙除ヲ除ク

第三類

伊豆國海岸沙除第一類沙除ヲ除ク

小笠郡海岸沙除

第四條 第一條類別以外ノ道路ト雖トモ交通運輸上之レニ劣ラサル事實アルモノハ更ニ相當ノ類別ニ編入スルコトアルヘシ

第五條 第二條第三條類別以外ノ河川沙除ト雖トモ往昔官營ノ確證アルモノハ更ニ相當ノ類別ニ編入スルコトアルヘシ

第六條 假定類別道路ハ全部成功ノ上ハ勿論幾部分成功ノモノト雖トモ其成功ノ部分ニ限り本類別ニ編入スルモノトス但シ改良工事成功ノ上實況ヲ異ニシ類別ノ變更ヲ必要ト認ムルモノハ更ニ相當ノ類別ニ編入スルコトアルヘシ(二十五年縣令第二十大號ヲ以テ修正)

第七條 第一類道路第一類河川堤防及第一類港灣浪除ノ新築改築變更若クハ維持修繕ノ費用ハ縣ノ負擔トシ縣費ヲ以テ支辨ス但國庫費負擔並ニ從前町村若クハ部落又ハ一人ノ負擔ニ屬スル箇所及水防ハ此限ニアラス

第二類以下ノ道路河川改良ノ爲メニ要スル測量及設計費用ハ縣ノ負擔トス但道路ハ標杭及障害